

富良野市
障がい福祉に関するアンケート調査
結果報告書

令和 8 年 2 月

富良野市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的及び調査方法等	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査対象及び調査方法、回収結果.....	1
2 本調査報告書の基本的な事項	1
(1) 数値の基本的な取り扱いについて	1
II 調査結果	2
1 回答者について	2
(1) 回答者	2
(2) 性別	2
(3) 年齢	2
(4) 手帳の種類	3
(5) 障がい等の種類.....	4
(6) 配偶者の有無	5
(7) 一緒に暮らしている人.....	6
2 日常生活について	8
(1) 日常生活について.....	8
(2) 主な介助者	9
(3) 主な介助者の性別	10
(4) 主な介助者の年齢	11
(5) 主な介助者の健康状態	12
(6) 介助者が介助できない場合の対応	13
(7) 意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具	14
(8) 手話を使ってみたいか	16
3 保健・医療について	17
(1) 現在受けている医療的ケア	17
(2) 通院状況.....	19
(3) 医療を受ける上で困っていること	20
4 教育について	22
(1) 通園、通学の状況.....	22
(2) 現在の通園、通学先.....	23
(3) 望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境.....	24
(4) 学校等での生活を送る上での問題点.....	25
5 生活環境について	26
(1) 現在の暮らし方	26

(2) 将来地域で生活したいか.....	27
(3) 地域で生活するためにあると良い支援.....	28
(4) 1週間の外出の頻度.....	29
(5) 外出する際の主な同伴者.....	30
(6) 外出の目的.....	31
(7) 外出する時に困ること.....	32
6 雇用・就業などについて.....	34
(1) 平日の日中の過ごし方.....	34
(2) 勤務形態.....	36
(3) 今後収入を得る仕事をしたいか.....	37
(4) 仕事に就くために職業訓練などを受けたいか.....	38
(5) 障がい者の就労支援として必要なこと.....	39
障がい福祉サービスなどについて.....	41
(1) 障害支援区分の認定を受けているか.....	41
(2) 介護認定を受けているか.....	42
(3) サービスの利用について.....	43
8 相談相手について.....	47
(1) 悩みや困ったときの相談先.....	47
(2) 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先.....	49
9 権利擁護について.....	51
(1) 共生社会について知っているか.....	51
(2) 市において共生社会が普及していると思うか.....	52
(3) 差別を受けたり嫌な思いをしたりすること.....	53
(4) 差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所.....	54
(5) どのような理由で差別や嫌な思いをしたか.....	56
(6) 障害者差別解消法について.....	58
(7) 成年後見制度について.....	59
10 安心・安全について.....	60
(1) 火事や地震等の緊急時に一人で避難できるか.....	60
(2) ハザードマップや避難場所の確認をしているか.....	61
(3) 家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるか.....	62
(4) 火災や地震等の災害時に困ること.....	63
11 市への要望について.....	65
(1) 富良野市は生活しやすいか.....	65
(2) 今後市にしてほしいと思うこと.....	66

I 調査の概要

1 調査の目的及び調査方法等

(1) 調査目的

令和9年度を初年度とする新たな「障がい者計画」の策定に向け市民の皆さまに本市が取り組むべき課題や障がい福祉に関するお考えを聞かせていただき、新しい計画の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法、回収結果

項目	内容
調査対象	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療受給者証所持者及び特別児童扶養手当受給者、難病交通費申請者、障がい福祉サービス利用者
配布数	1,290 票
調査方法	郵送による回答
調査時期	令和7年10月
調査地区	富良野市内全域
有効回収数	621 票
有効回収率	48.1%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

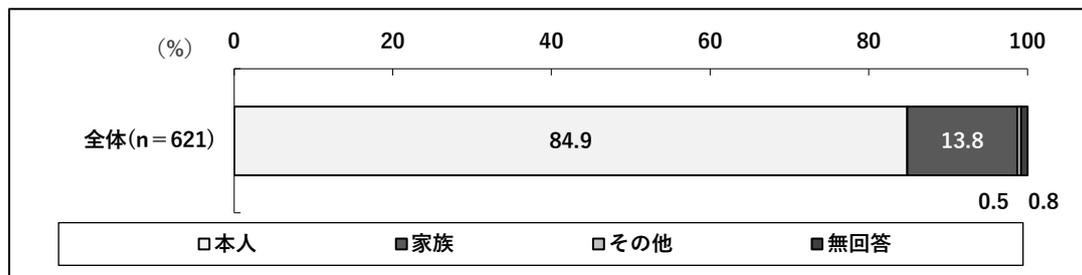
- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 各設問のグラフの母集団の総数は、“n = ○○○”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 回答者が複数の選択肢を回答できる設問については、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- ④ 文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化しています。
- ⑤ 属性別の集計結果であるクロス集計表については、18～19歳が2人と少ないため、20～29歳とあわせて「18～29歳」として集計しています。
- ⑥ 前回調査とは、令和4年3月に実施した「富良野市障がい福祉に関するアンケート調査」である。

II 調査結果

1 回答者について

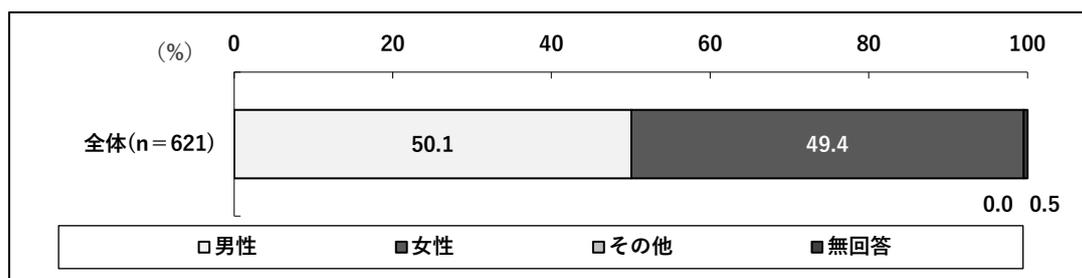
(1) 回答者

本調査の記入者は、「本人」が 84.9%、「家族」が 13.8%、「その他」が 0.5%となっている。



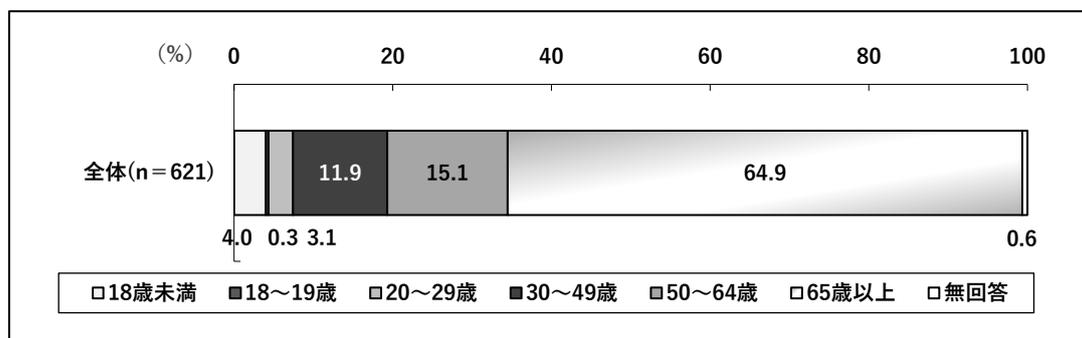
(2) 性別

性別は、「男性」が 50.1%、「女性」が 49.4%となっている。



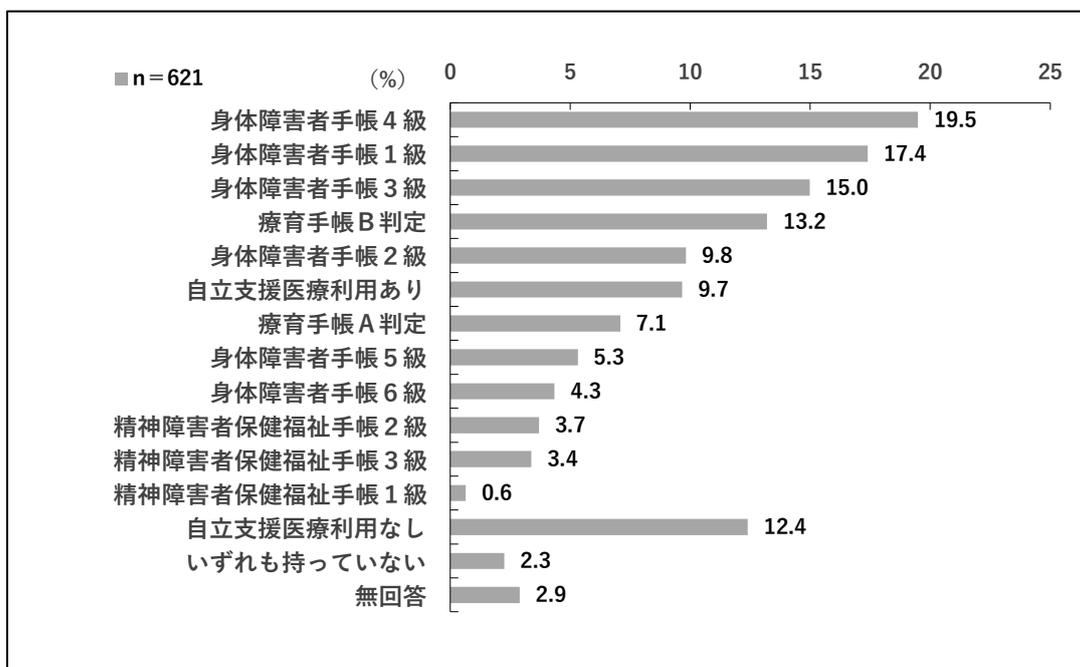
(3) 年齢

回答者の年齢は、「65歳以上」が 64.9%、「50～64歳」が 15.1%、「30～49歳」が 11.9%、「18歳未満」が 4.0%、「20～29歳」が 3.1%、「18～19歳」が 0.3%となっている。



(4) 手帳の種類

手帳の種類については「身体障害者手帳4級」(19.5%)、「身体障害者手帳1級」(17.4%)、「身体障害者手帳3級」(15.0%)、「療育手帳B判定」(13.2%)、「自立支援医療利用なし」(12.4%)、「身体障害者手帳2級」(9.8%)、「自立支援医療利用あり」(9.7%)、「療育手帳A判定」(7.1%)となっている。なお、「いずれも持っていない」は2.3%となっている。



(5) 障がい等の種類

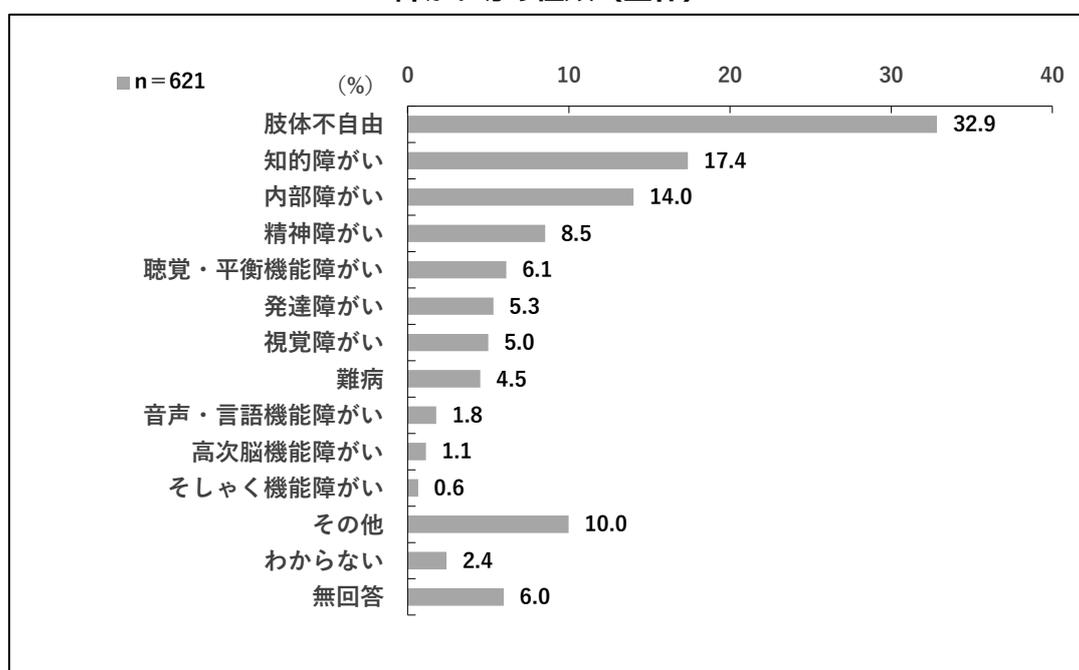
問5 障がい等の種類についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

結果概要

「肢体不自由」が第1位。「知的障がい」、「内部障がい」などが続く。

障がい等の種類については、「肢体不自由」(32.9%)、「知的障がい」(17.4%)、「内部障がい」(14.0%)、「精神障がい」(8.5%)、「聴覚・平衡機能障がい」(6.1%)、「発達障がい」(5.3%)、「視覚障がい」(5.0%)、「難病」(4.5%) などとなっている。

■ 障がい等の種類 (全体) ■



前回調査比較 「肢体不自由」(40.8%)、「知的障がい」(13.5%)、「内部障がい」(9.3%) などの順。

(6) 配偶者の有無

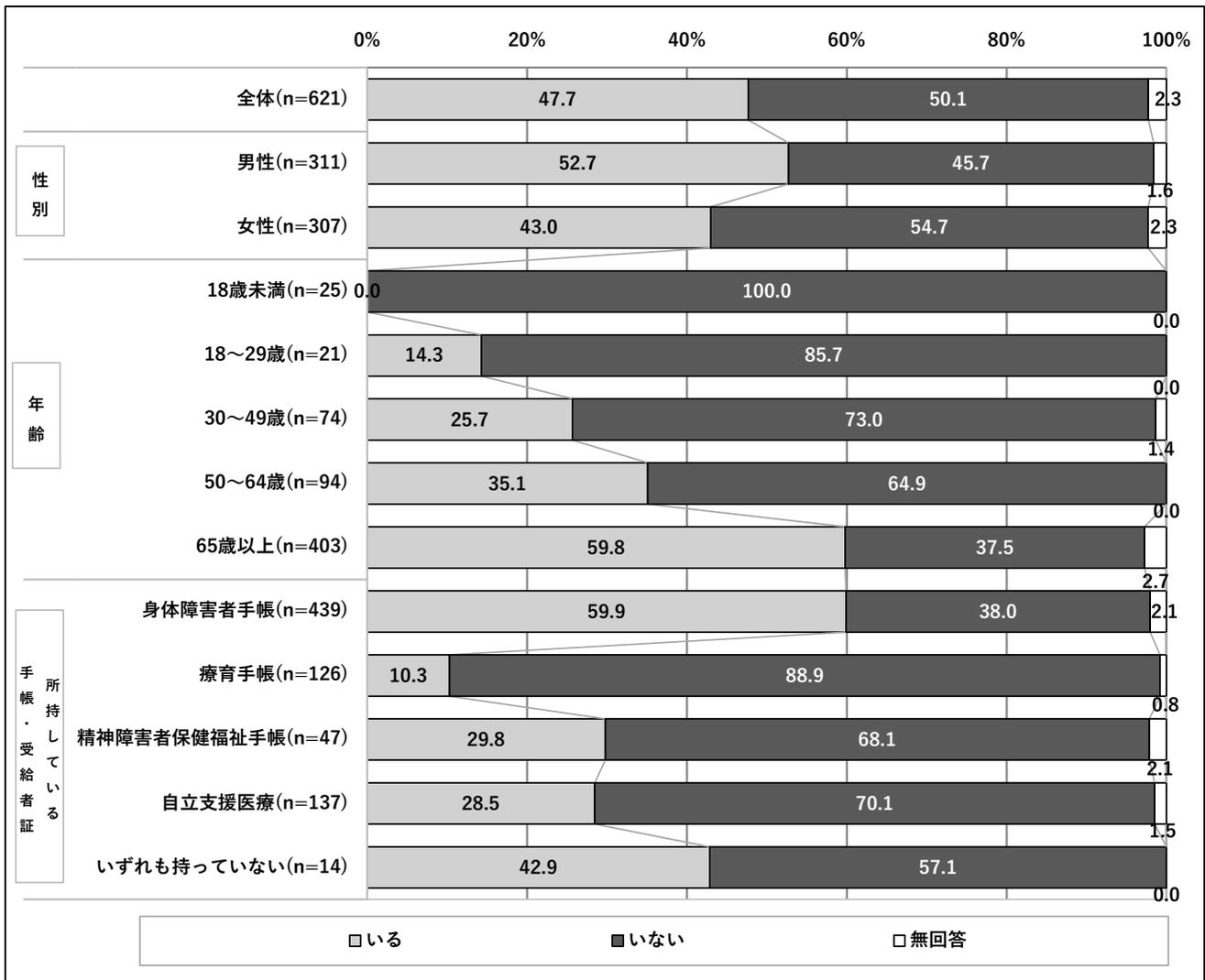
問6 あなたに配偶者はいますか。(1つに○)

結果概要

「いない」が「いる」をやや上回る。

配偶者の有無については、「いない」が50.1%、一方、「いる」が47.7%となっている。
性別で見ると、「いる」の割合は、女性より男性の方が約10ポイント高くなっている。

■ 配偶者の有無 (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「いる」が49.2%、「いない」が46.0%。

(7) 一緒に暮らしている人

問7 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

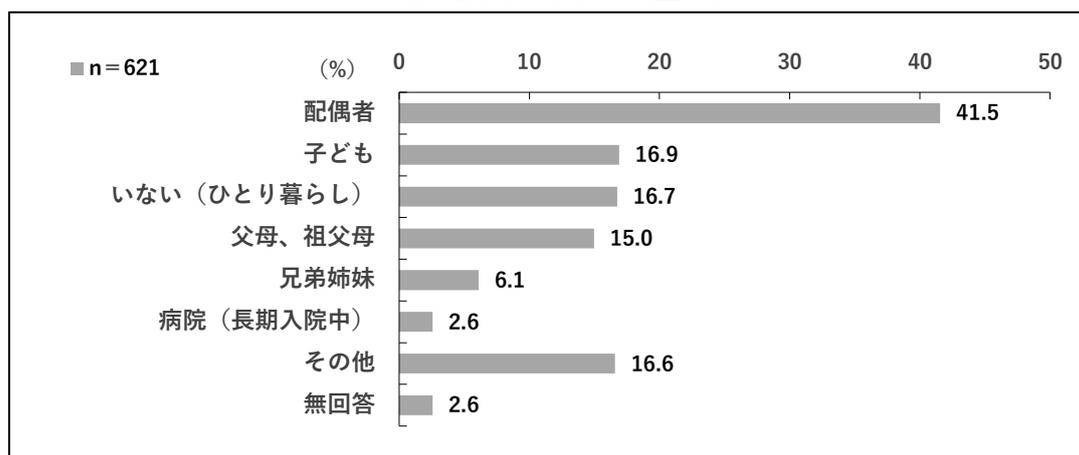
結果概要

「配偶者」が他を大きく引き離して第1位。

一緒に暮らしている人についてたずねたところ、「配偶者」(41.5%)が第1位、次いで「子ども」(16.9%)、「いない(ひとり暮らし)」(16.7%)、「父母、祖父母」(15.0%)、「兄弟姉妹」(6.1%)、「病院(長期入院中)」(2.6%)などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では「配偶者」、療育手帳では「父母、祖父母」、精神障害者保健福祉手帳、いずれも持っていないでは「いない(ひとり暮らし)」、自立支援医療では「その他」がそれぞれ第1位となっており、手帳・受給者証の所持状況によって違いがみられる。

■ 一緒に暮らしている人 (全体) ■



前回調査比較 「配偶者」(42.6%)、「子ども」(21.3%)、「いない(ひとり暮らし)」(16.1%)などの順。

■一緒に暮らしている人（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問7 一緒に暮らしている人							無回答
			父母、祖父母	兄弟姉妹	配偶者	子ども	いない（ひとり暮らし）	病院（長期入院中）	その他	
全体		621 100.0%	93 15.0%	38 6.1%	258 41.5%	105 16.9%	104 16.7%	16 2.6%	103 16.6%	16 2.6%
性別	男性	311 100.0%	54 17.4%	25 8.0%	144 46.3%	49 15.8%	37 11.9%	8 2.6%	55 17.7%	3 1.0%
	女性	307 100.0%	39 12.7%	13 4.2%	114 37.1%	56 18.2%	66 21.5%	8 2.6%	48 15.6%	11 3.6%
年齢	18歳未満	25 100.0%	24 96.0%	13 52.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%
	18～29歳	21 100.0%	14 66.7%	6 28.6%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%	0 0.0%
	30～49歳	74 100.0%	18 24.3%	7 9.5%	17 23.0%	6 8.1%	7 9.5%	0 0.0%	30 40.5%	2 2.7%
	50～64歳	94 100.0%	33 35.1%	9 9.6%	30 31.9%	7 7.4%	20 21.3%	0 0.0%	17 18.1%	0 0.0%
	65歳以上	403 100.0%	4 1.0%	3 0.7%	211 52.4%	90 22.3%	75 18.6%	14 3.5%	50 12.4%	12 3.0%
	所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	31 7.1%	10 2.3%	236 53.8%	93 21.2%	76 17.3%	12 2.7%	44 10.0%
	療育手帳	126 100.0%	56 44.4%	27 21.4%	7 5.6%	3 2.4%	7 5.6%	2 1.6%	52 41.3%	2 1.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	12 25.5%	4 8.5%	12 25.5%	8 17.0%	13 27.7%	1 2.1%	9 19.1%	0 0.0%
	自立支援医療	137 100.0%	29 21.2%	13 9.5%	32 23.4%	21 15.3%	20 14.6%	3 2.2%	44 32.1%	4 2.9%
	いずれも持っていない	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%	1 7.1%	6 42.9%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%

2 日常生活について

(1) 日常生活について

問8 あなたは、日常生活で次のことをどのようにしていますか。

①～⑫の生活動作についてそれぞれお答えください。(それぞれ1つに○)

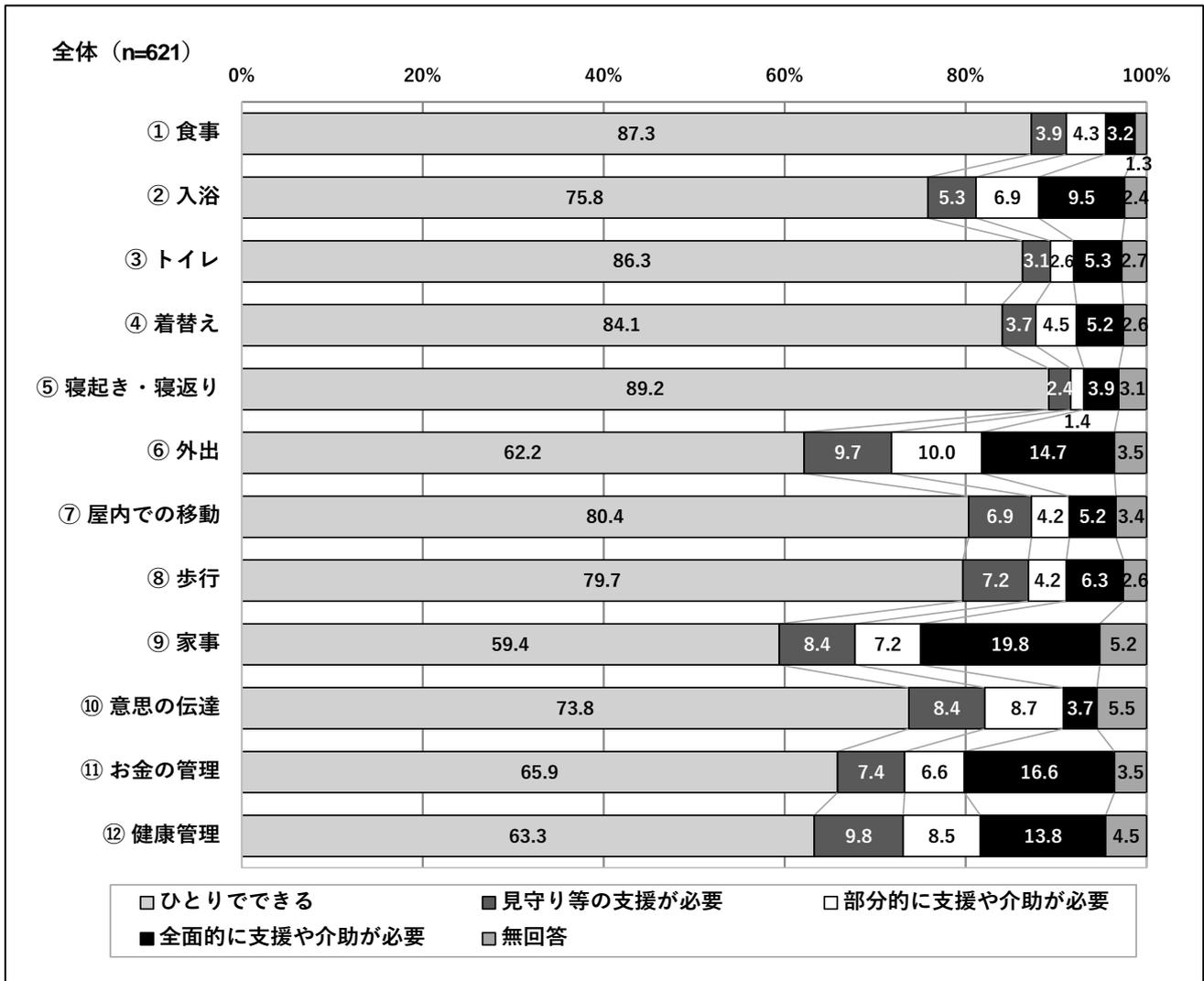
結果概要

介助の必要性が高い項目は、「家事」、「外出」、「健康管理」。

日常生活における介助の必要性については、以下のとおりとなっている。

⑨家事、⑥外出、⑫健康管理、⑪お金の管理では比較的介助の必要性が高い行動となっている。

■ 日常生活について ■



前回調査比較

介助の必要性が高い項目は、「外出」、「家事」、「健康管理」。

(2) 主な介助者

※問 8-1 から問 8-5 までは、問 8 で「2. 見守り等の支援が必要」「3. 部分的に支援や介助が必要」「4. 全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きます。

問 8-1 あなたの主な介助者（支援者）はどなたですか。（1つに○）

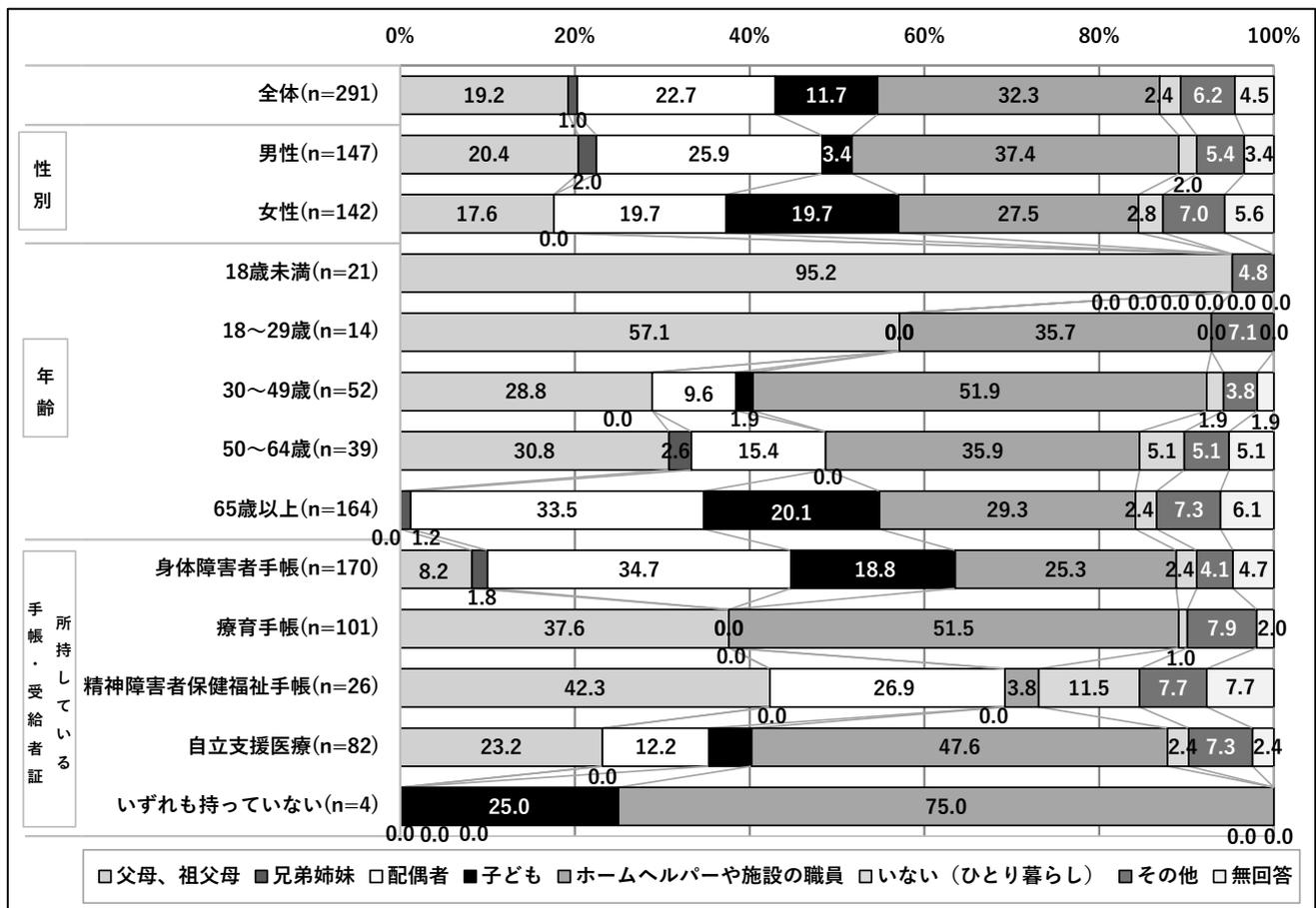
結果概要

「ホームヘルパーや施設の職員」が3割強を占める。

問 8 で「2. 見守り等の支援が必要」「3. 部分的に支援や介助が必要」「4. 全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった人（291 人・全体の 46.8%）に、主な介助者についてたずねたところ、「ホームヘルパーや施設の職員」が 32.3%、「配偶者」が 22.7%、「父母、祖父母」が 19.2%、「子ども」が 11.7%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では「配偶者」、療育手帳、自立支援医療、いずれも持っていないでは「ホームヘルパーや施設の職員」、精神障害者保健福祉手帳では「父母、祖父母」がそれぞれ第 1 位となっている。

■ 主な介助者（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 「ホームヘルパーや施設の職員」（28.0%）、「配偶者」（26.8%）がともに3割弱を占める。

(3) 主な介助者の性別

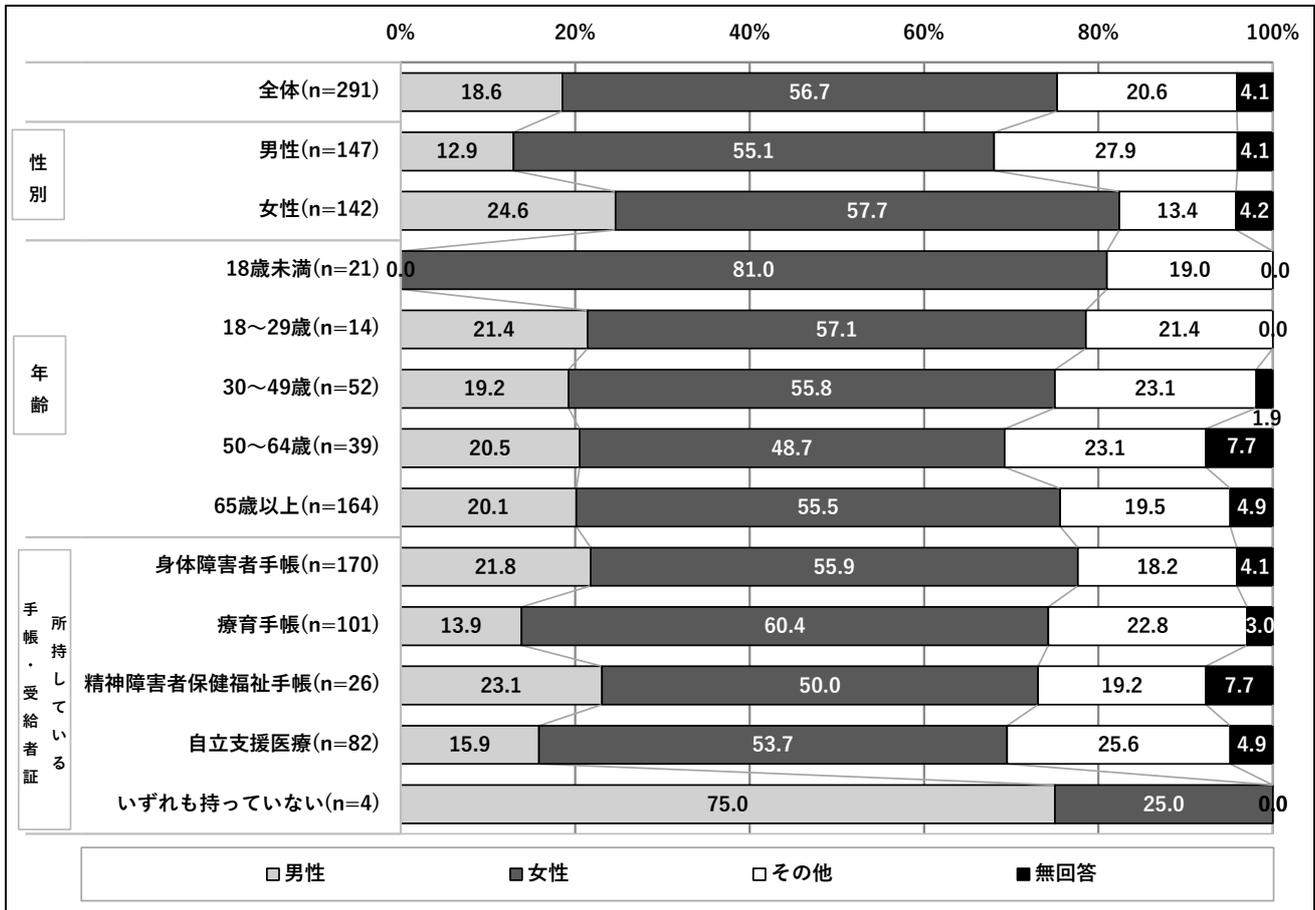
※問 8-1 から問 8-5 までは、問 8 で「2. 見守り等の支援が必要」「3. 部分的に支援や介助が必要」「4. 全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きます。
問 8-2 あなたを介助（支援）してくれる方の性別はどちらですか。（1つに○）

結果概要

「女性」が6割弱、「男性」が2割弱を占める。

主な介助者の性別については、「女性」が56.7%、「男性」が18.6%となっている。
年齢で見ると、18歳未満では「女性」が81.0%と他の年齢層よりも高くなっている。

■ 主な介助者の性別（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 「女性」が約6割（60.3%）、男性が2割台半ば（25.8%）。

(4) 主な介助者の年齢

※問 8-1 から問 8-5 までは、問 8 で「2. 見守り等の支援が必要」「3. 部分的に支援や介助が必要」「4. 全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きます。

問 8-3 あなたを介助（支援）してくれる方の年齢はおいくつですか。（あてはまるものすべてに○）

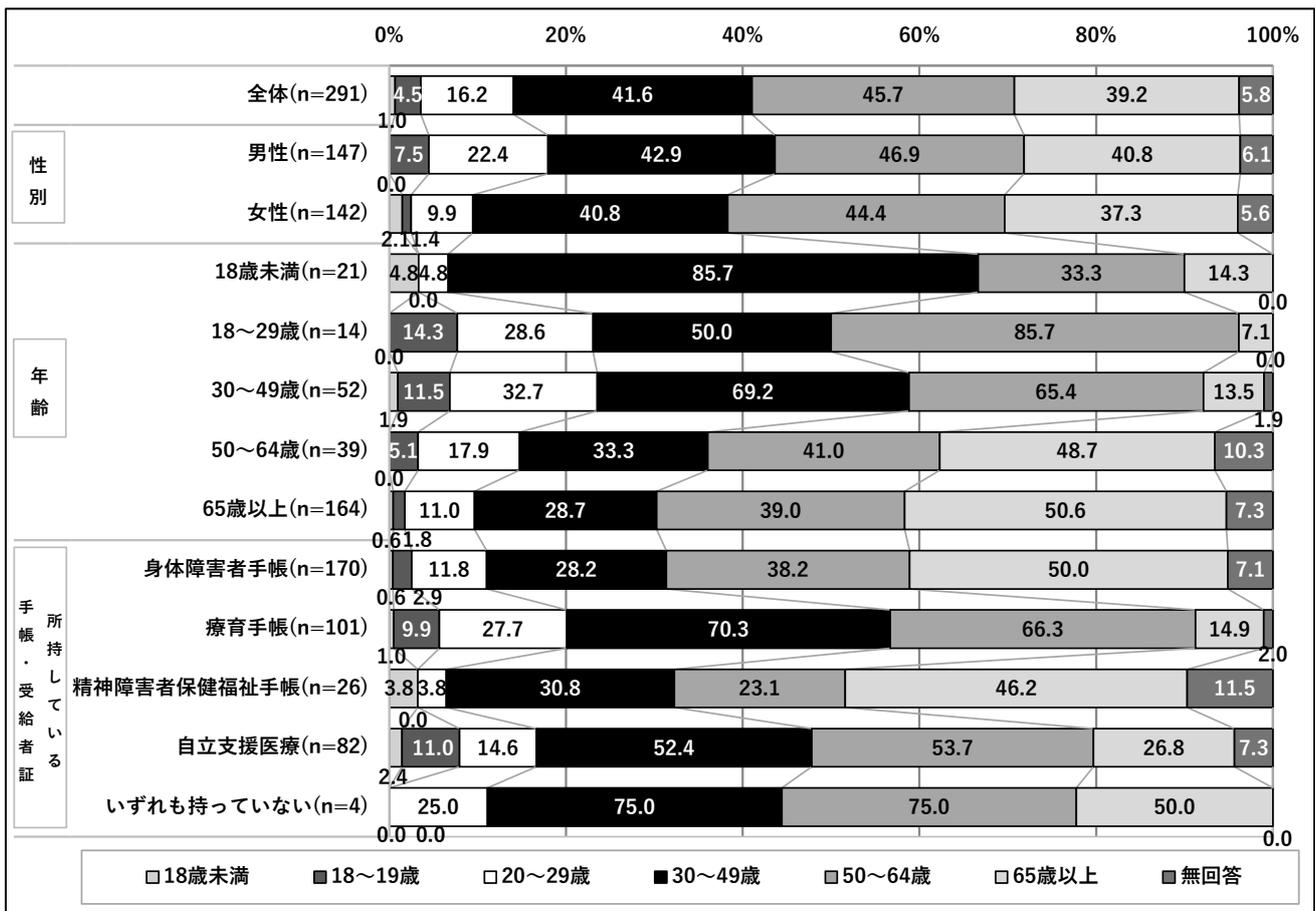
結果概要

「50～64 歳」が 5 割弱、「30～49 歳」、「65 歳以上」が約 4 割を占める。

主な介助者の年齢は、「50～64 歳」（45.7%）が最も多く、以下「30～49 歳」（41.6%）、「65 歳以上」（39.2%）、「18～29 歳」（16.2%）、「18～19 歳」（4.5%）、「18 歳未満」（1.0%）となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳では他の属性よりも主な介助者が高齢化している傾向がうかがえる。

■ 主な介助者の年齢（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 「65 歳以上」が 3 割強（32.0%）、「30～49 歳」が 2 割強（22.2%）。

(5) 主な介助者の健康状態

※問 8-1 から問 8-5 までは、問 8 で「2. 見守り等の支援が必要」「3. 部分的に支援や介助が必要」「4. 全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きます。

問 8-4 あなたを介助（支援）してくれる方の健康状態はいかがですか。（1つに○）

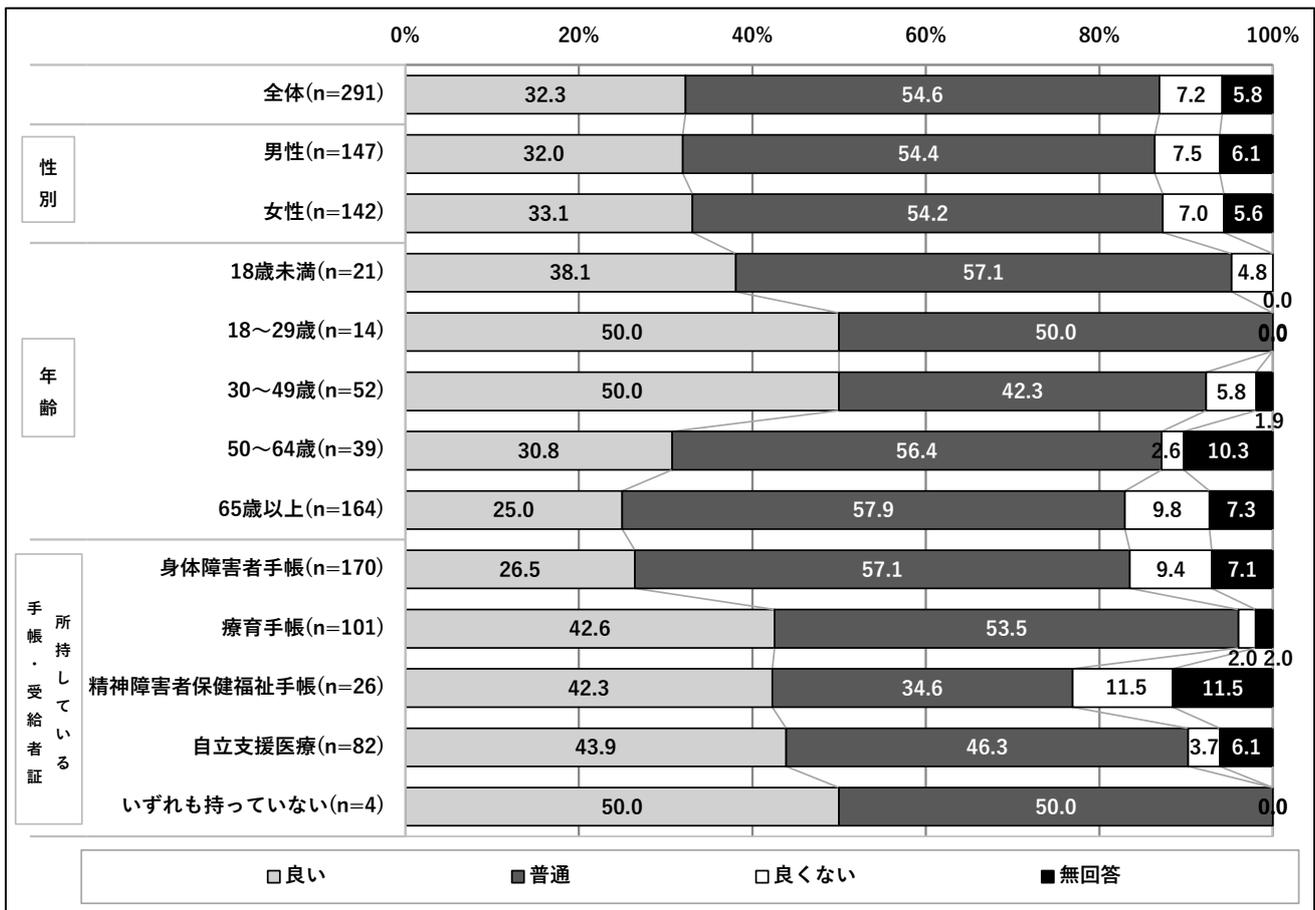
結果概要

「普通」が 5 割台半ば、「良い」が 3 割強を占める。

主な介助者の健康状態については、「普通」が 54.6%、「良い」が 32.3%、「良くない」が 7.2%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「良くない」が 1 割強を占めている。

■ 主な介助者の健康状態（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 「普通」が 4 割強（43.4%）、「良い」が 3 割台半ば（34.5%）。

(6) 介助者が介助できない場合の対応

※問 8-1 から問 8-5 までは、問 8 で「2. 見守り等の支援が必要」「3. 部分的に支援や介助が必要」「4. 全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きます。
問 8-5 あなたを介助（支援）してくれる方が介助（支援）できない場合はどうしますか。（1つに○）

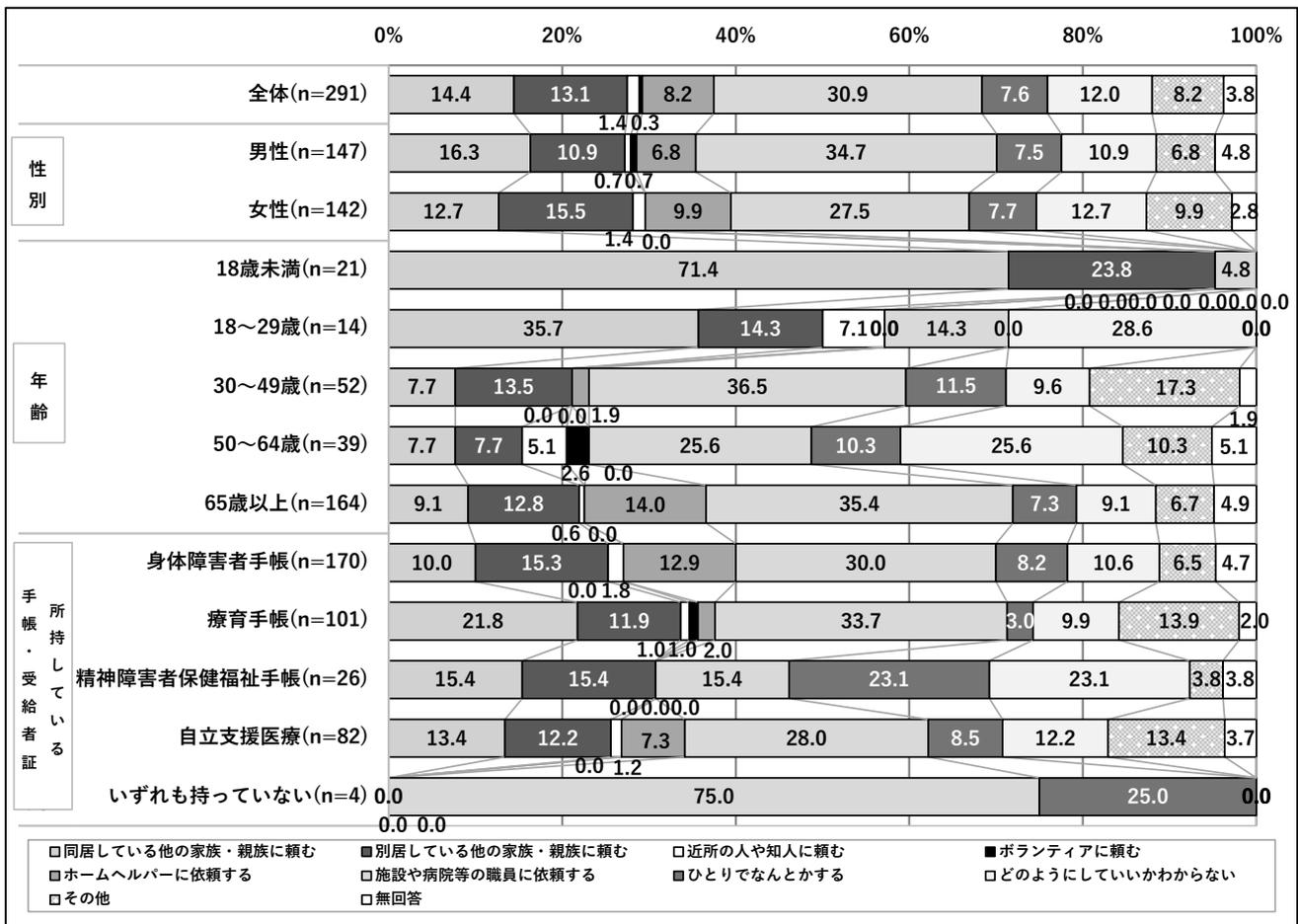
結果概要

「施設や病院等の職員に依頼する」が 3 割を占める。

介助者が介助できない場合の対応については、「施設や病院等の職員に依頼する」（30.9%）が最も多く、以下「同居している他の家族・親族に頼む」（14.4%）、「別居している他の家族・親族に頼む」（13.1%）、「ホームヘルパーに依頼する」（8.2%）、「ひとりでなんとかする」（7.6%）、「近所の人や知人に頼む」（12.0%）、「ボランティアに頼む」（8.2%）などとなっている。

年齢で見ると、29 歳以下では「同居している他の家族・親族に頼む」が他の年齢層よりも高く、18 歳未満では 7 割強を占めている。

■ 介助者が介助できない場合の対応（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 「施設や病院等の職員に依頼する」が 2 割台半ば（24.9%）。

(7) 意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具

問9 あなたは、意思の伝達を図る場合、特別な技術や用具を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

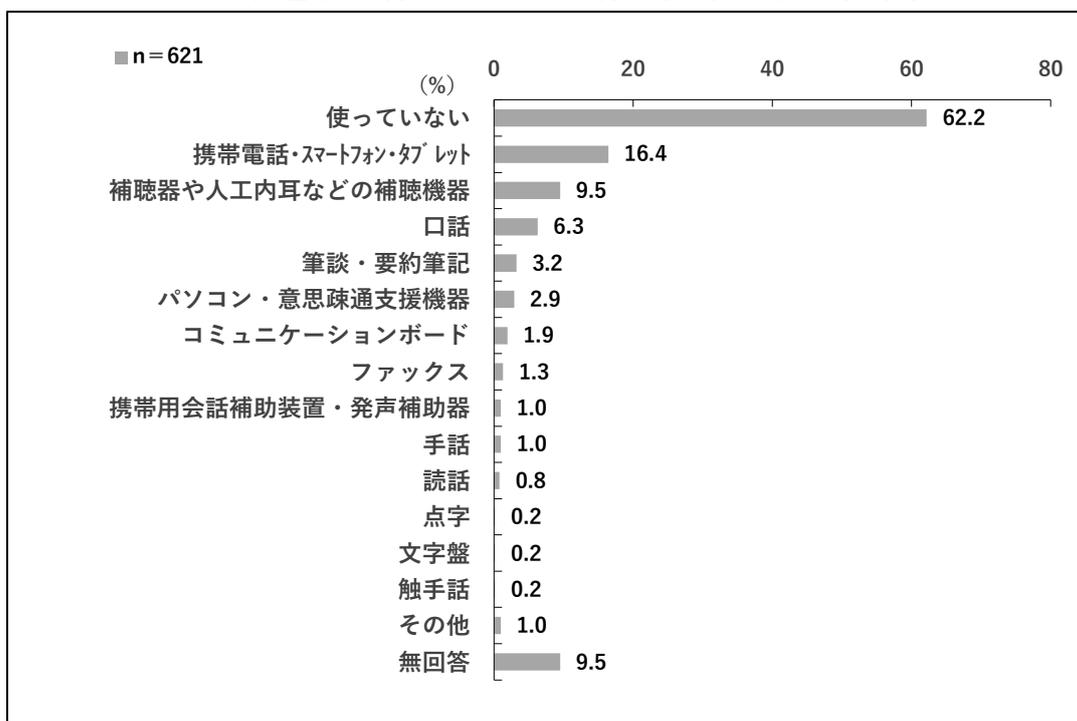
結果概要

「使っていない」が6割強を占める。

意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具は、「使っていない」(62.2%)が第1位、次いで「携帯電話・スマートフォン・タブレット」(16.4%)、「補聴器や人工内耳などの補聴機器」(9.5%)、「口話」(6.3%)、「筆談・要約筆記」(3.2%)、「パソコン・意思疎通支援機器」(2.9%)、「コミュニケーションボード」(1.9%)などとなっている。

いずれの属性でも「使っていない」が第1位となっている。

■ 意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具 (全体) ■



■ 意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具

(全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け) ■

		合計	問9 意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具							
			使っていない	補聴器や人工内耳などの補聴機器	携帯用会話補助装置・発声補助器	携帯電話・スマートフォン・	点字	口話	手話	筆談・要約筆記
全体		621 100.0%	386 62.2%	59 9.5%	6 1.0%	102 16.4%	1 0.2%	39 6.3%	6 1.0%	20 3.2%
性別	男性	311 100.0%	203 65.3%	33 10.6%	4 1.3%	45 14.5%	1 0.3%	19 6.1%	3 1.0%	8 2.6%
	女性	307 100.0%	181 59.0%	26 8.5%	2 0.7%	56 18.2%	0 0.0%	20 6.5%	3 1.0%	12 3.9%
年齢	18歳未満	25 100.0%	18 72.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%
	18～29歳	21 100.0%	13 61.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 19.0%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	1 4.8%
	30～49歳	74 100.0%	53 71.6%	2 2.7%	0 0.0%	11 14.9%	0 0.0%	8 10.8%	3 4.1%	7 9.5%
	50～64歳	94 100.0%	72 76.6%	1 1.1%	0 0.0%	11 11.7%	0 0.0%	5 5.3%	1 1.1%	3 3.2%
	65歳以上	403 100.0%	227 56.3%	53 13.2%	6 1.5%	75 18.6%	1 0.2%	23 5.7%	2 0.5%	8 2.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	256 58.3%	56 12.8%	6 1.4%	82 18.7%	1 0.2%	28 6.4%	6 1.4%	11 2.5%
	療育手帳	126 100.0%	89 70.6%	4 3.2%	0 0.0%	16 12.7%	0 0.0%	10 7.9%	2 1.6%	7 5.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	32 68.1%	2 4.3%	0 0.0%	6 12.8%	0 0.0%	3 6.4%	1 2.1%	4 8.5%
	自立支援医療	137 100.0%	101 73.7%	4 2.9%	0 0.0%	16 11.7%	0 0.0%	7 5.1%	1 0.7%	3 2.2%
	いずれも持っていない	14 100.0%	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
			合計	問9						
			文字盤	パソコン・意思疎通支援機器	ファックス	読話	触手話	コミュニケーションボード	その他	無回答
全体		621 100.0%	1 0.2%	18 2.9%	8 1.3%	5 0.8%	1 0.2%	12 1.9%	6 1.0%	59 9.5%
性別	男性	311 100.0%	0 0.0%	12 3.9%	4 1.3%	2 0.6%	1 0.3%	5 1.6%	5 1.6%	22 7.1%
	女性	307 100.0%	1 0.3%	6 2.0%	4 1.3%	3 1.0%	0 0.0%	7 2.3%	1 0.3%	37 12.1%
年齢	18歳未満	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%
	18～29歳	21 100.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%
	30～49歳	74 100.0%	0 0.0%	2 2.7%	0 0.0%	2 2.7%	0 0.0%	7 9.5%	0 0.0%	2 2.7%
	50～64歳	94 100.0%	0 0.0%	5 5.3%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	2 2.1%	6 6.4%
	65歳以上	403 100.0%	1 0.2%	10 2.5%	7 1.7%	2 0.5%	0 0.0%	3 0.7%	3 0.7%	48 11.9%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	0 0.0%	14 3.2%	8 1.8%	4 0.9%	1 0.2%	6 1.4%	2 0.5%	50 11.4%
	療育手帳	126 100.0%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	2 1.6%	1 0.8%	8 6.3%	1 0.8%	3 2.4%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	0 0.0%	2 4.3%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.3%	2 4.3%	1 2.1%
	自立支援医療	137 100.0%	0 0.0%	3 2.2%	0 0.0%	2 1.5%	1 0.7%	2 1.5%	4 2.9%	7 5.1%
	いずれも持っていない	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(8) 手話を使ってみたいか

問 10 あなたはコミュニケーションの手段として手話を使ってみたいと思いますか。(1つに○)

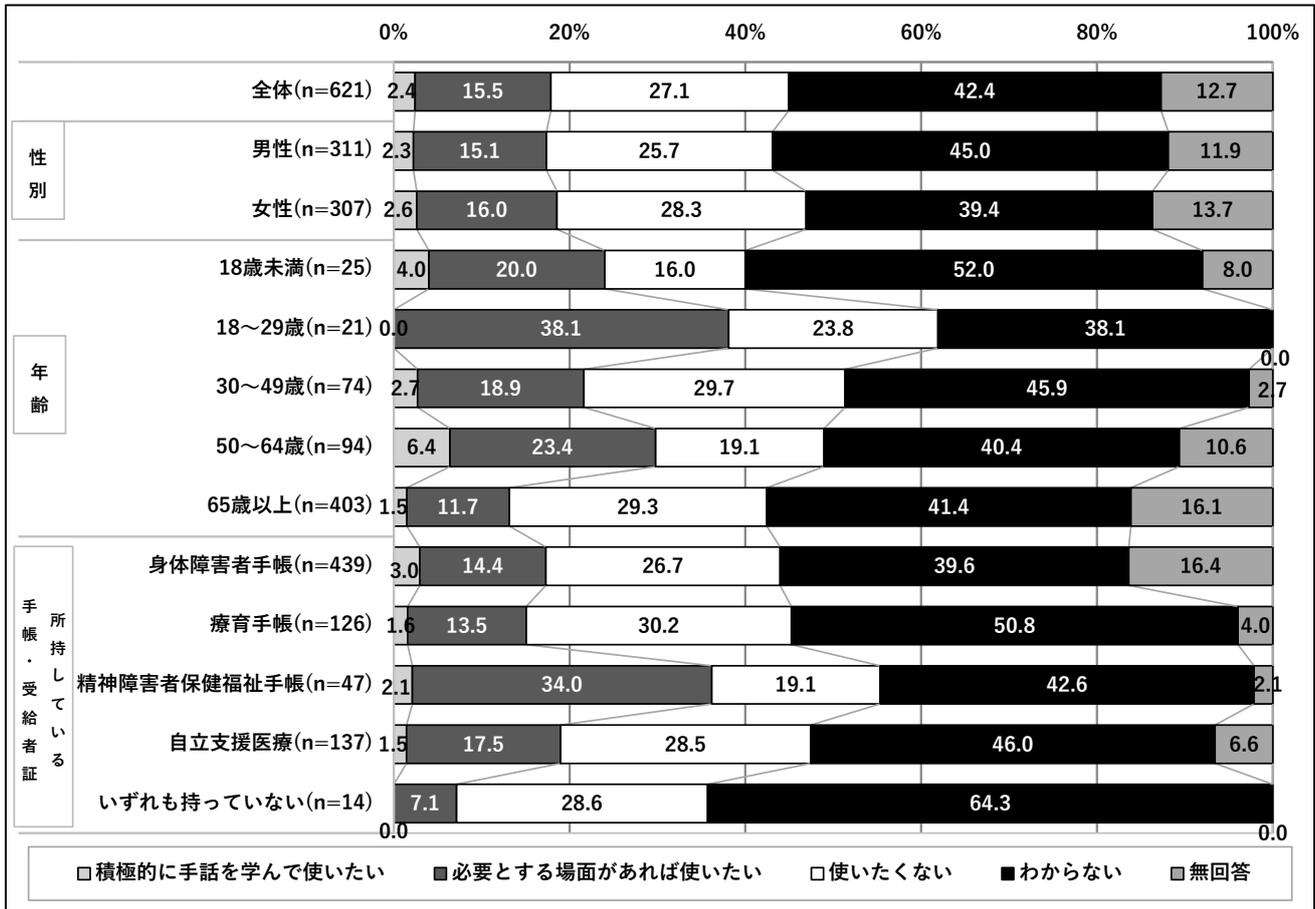
結果概要

「使いたくない」が3割弱を占める。

手話を使ってみたいかについては、「使いたくない」(27.1%)が最も多く、以下「必要とする場面があれば使いたい」(15.5%)、「積極的に手話を学んで使いたい」(2.4%)などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「必要とする場面があれば使いたい」が3割台半ばとなっており、他の属性よりも利用意向が強いことがうかがえる。

■手話を使ってみたいか(全体・性別・年齢・障がい種別)■



3 保健・医療について

(1) 現在受けている医療的ケア

問 11 あなたが現在受けている医療的ケアをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

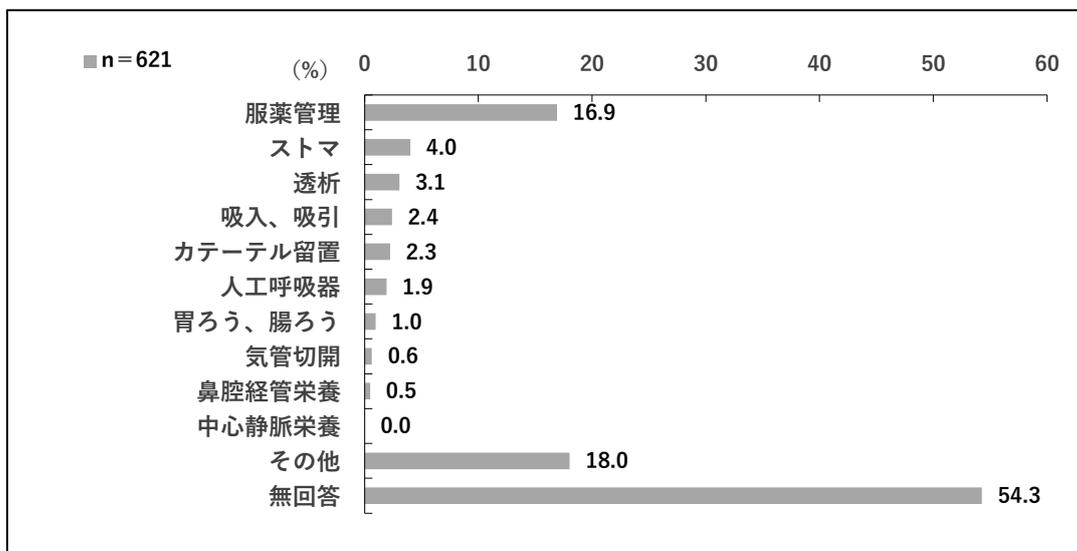
結果概要

「服薬管理」が第1位となっている。

現在受けている医療的ケアは、具体的には「服薬管理」（16.9%）が第1位、次いで「ストマ」（4.0%）、「透析」（3.1%）、「吸入、吸引」（2.4%）、「カテーテル留置」（2.3%）、「人工呼吸器」（1.9%）、「胃ろう、腸ろう」（1.0%）、「気管切開」（0.6%）などとなっている。なお、「その他」は18.0%となっている。

いずれの属性でも、具体的には「服薬管理」が第1位となっている。

■ 現在受けている医療的ケア（全体） ■



前回調査比較 「服薬管理」が第1位（15.4%）。

■現在受けている医療的ケア（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問11 現在受けている医療的ケア							
			気管切開	人工呼吸器	吸入、吸引	胃ろう、腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養	透析	カテーテル留置
全体		621 100.0%	4 0.6%	12 1.9%	15 2.4%	6 1.0%	3 0.5%	0 0.0%	19 3.1%	14 2.3%
性別	男性	311 100.0%	4 1.3%	10 3.2%	8 2.6%	3 1.0%	3 1.0%	0 0.0%	13 4.2%	12 3.9%
	女性	307 100.0%	0 0.0%	2 0.7%	7 2.3%	3 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 2.0%	2 0.7%
年齢	18歳未満	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	18～29歳	21 100.0%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30～49歳	74 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.7%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%
	50～64歳	94 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.3%	1 1.1%
	65歳以上	403 100.0%	4 1.0%	10 2.5%	11 2.7%	4 1.0%	1 0.2%	0 0.0%	14 3.5%	13 3.2%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	4 0.9%	11 2.5%	14 3.2%	6 1.4%	3 0.7%	0 0.0%	19 4.3%	14 3.2%
	療育手帳	126 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	自立支援医療	137 100.0%	0 0.0%	2 1.5%	2 1.5%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.9%	1 0.7%
	いずれも持っていない	14 100.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
			合計	問11						
			ストマ	服薬管理	その他	無回答				
全体		621 100.0%	25 4.0%	105 16.9%	112 18.0%	337 54.3%				
性別	男性	311 100.0%	17 5.5%	51 16.4%	64 20.6%	152 48.9%				
	女性	307 100.0%	8 2.6%	54 17.6%	48 15.6%	182 59.3%				
年齢	18歳未満	25 100.0%	0 0.0%	2 8.0%	2 8.0%	19 76.0%				
	18～29歳	21 100.0%	0 0.0%	2 9.5%	2 9.5%	17 81.0%				
	30～49歳	74 100.0%	0 0.0%	16 21.6%	12 16.2%	41 55.4%				
	50～64歳	94 100.0%	3 3.2%	7 7.4%	18 19.1%	62 66.0%				
	65歳以上	403 100.0%	22 5.5%	78 19.4%	76 18.9%	196 48.6%				
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	25 5.7%	77 17.5%	78 17.8%	219 49.9%				
	療育手帳	126 100.0%	1 0.8%	20 15.9%	21 16.7%	82 65.1%				
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	0 0.0%	12 25.5%	8 17.0%	26 55.3%				
	自立支援医療	137 100.0%	2 1.5%	22 16.1%	27 19.7%	76 55.5%				
	いずれも持っていない	14 100.0%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	8 57.1%				

(2) 通院状況

問 12 あなたの通院状況は次のうち、どれですか。(1つに○)

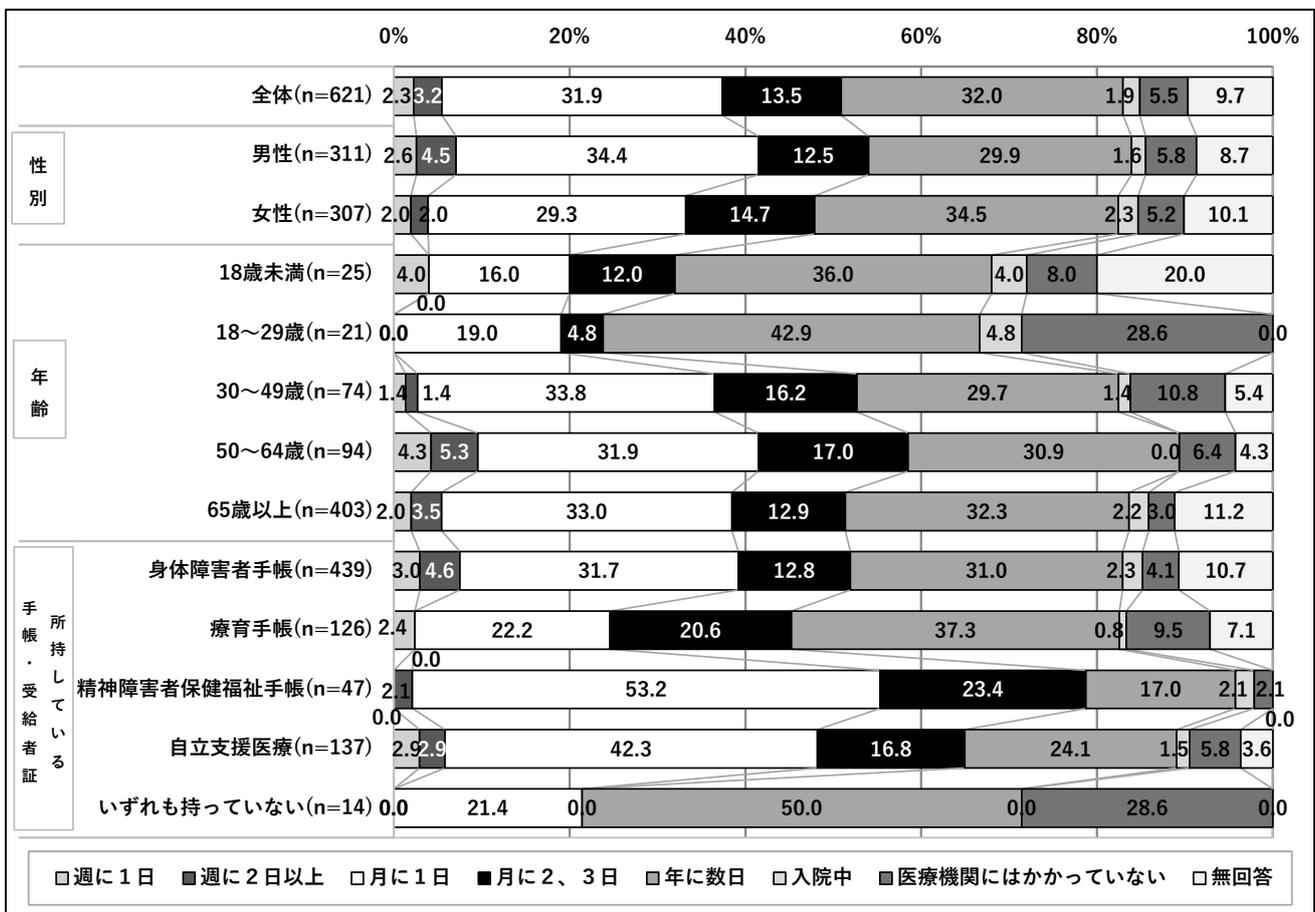
結果概要

「年に数日」が3割強を占める。

通院状況は、「年に数日」(32.0%)が最も多く、以下「月に1日」(31.9%)、「月に2、3日」(13.5%)、「週に2日以上」(3.2%)、「週に1日」(2.3%)、「入院中」(1.9%)となっている。なお、「医療機関にはかかっていない」は5.5%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「月に1日」が5割強となっており、通院の頻度が高い傾向がうかがえる。

■ 通院状況 (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「月に1日」が3割台半ば(35.6%)、「年に数日」が3割弱(26.4%)。

(3) 医療を受ける上で困っていること

問 13 医療を受ける上で、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

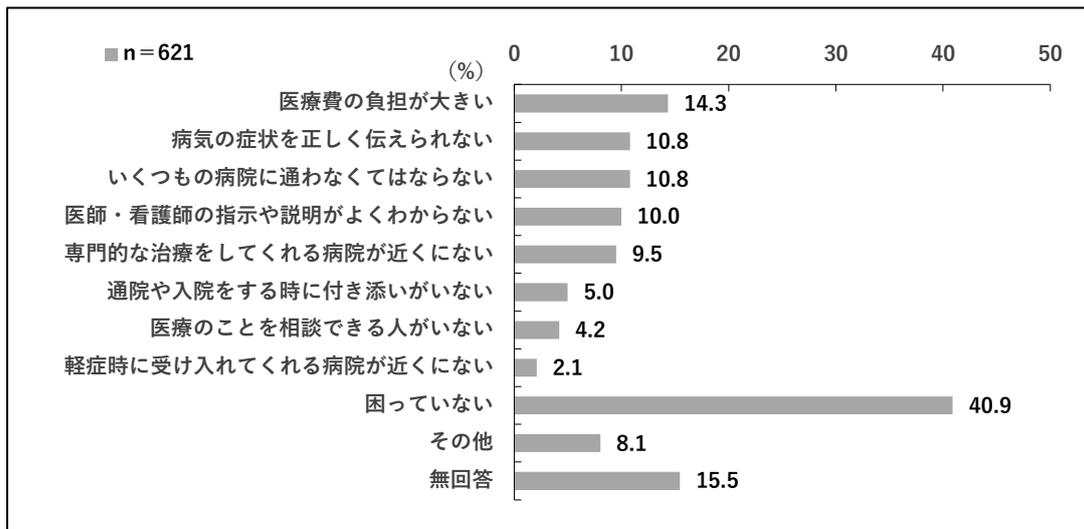
結果概要

「医療費の負担が大きい」が第1位。なお、「困っていない」は約4割となっている。

医療を受ける上で困っていることは、具体的には「医療費の負担が大きい」(14.3%)が第1位、次いで「病気の症状を正しく伝えられない」・「いくつもの病院に通わなくてはならない」(同率 10.8%)、「医師・看護師の指示や説明がよくわからない」(10.0%)、「専門的な治療をしてくれる病院が近くにない」(9.5%)、「通院や入院をする時に付き添いがいない」(5.0%)、「医療のことを相談できる人がいない」(4.2%)、「軽症時に受け入れてくれる病院が近くにない」(2.1%)などとなっている。なお、「困っていない」は40.9%となっている。

年齢で見ると、18歳未満では「専門的な治療をしてくれる病院が近くにない」が第1位となっている。

■ 医療を受ける上で困っていること (全体) ■



前回調査比較 「医療費の負担が大きい」が第1位(14.0%)。「困っていない」は39.6%。

■ 医療を受ける上で困っていること（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問13 医療を受ける上で困っていること							
			通院や入院をする時に付き添いがいない	病気の症状を正しく伝えられない	医師・看護師の指示や説明がよくわからない	専門的な治療をしてくれる病院が近くにない	軽症時に受け入れてくれる病院が近くにない	いくつもの病院に通わなくてはならない	医療費の負担が大きい	医療のことを相談できる人がいない
全体		621 100.0%	31 5.0%	67 10.8%	62 10.0%	59 9.5%	13 2.1%	67 10.8%	89 14.3%	26 4.2%
性別	男性	311 100.0%	9 2.9%	34 10.9%	31 10.0%	26 8.4%	4 1.3%	26 8.4%	47 15.1%	12 3.9%
	女性	307 100.0%	22 7.2%	33 10.7%	31 10.1%	33 10.7%	9 2.9%	41 13.4%	42 13.7%	14 4.6%
年齢	18歳未満	25 100.0%	1 4.0%	6 24.0%	4 16.0%	7 28.0%	0 0.0%	4 16.0%	3 12.0%	0 0.0%
	18～29歳	21 100.0%	1 4.8%	3 14.3%	2 9.5%	3 14.3%	1 4.8%	0 0.0%	3 14.3%	1 4.8%
	30～49歳	74 100.0%	1 1.4%	15 20.3%	13 17.6%	10 13.5%	2 2.7%	6 8.1%	12 16.2%	6 8.1%
	50～64歳	94 100.0%	6 6.4%	8 8.5%	7 7.4%	13 13.8%	3 3.2%	11 11.7%	22 23.4%	8 8.5%
	65歳以上	403 100.0%	21 5.2%	35 8.7%	36 8.9%	26 6.5%	7 1.7%	46 11.4%	49 12.2%	11 2.7%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	22 5.0%	35 8.0%	35 8.0%	41 9.3%	7 1.6%	47 10.7%	53 12.1%	12 2.7%
	療育手帳	126 100.0%	8 6.3%	28 22.2%	24 19.0%	12 9.5%	1 0.8%	8 6.3%	20 15.9%	7 5.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	3 6.4%	7 14.9%	5 10.6%	7 14.9%	4 8.5%	11 23.4%	13 27.7%	6 12.8%
	自立支援医療	137 100.0%	6 4.4%	19 13.9%	16 11.7%	14 10.2%	5 3.6%	20 14.6%	27 19.7%	8 5.8%
	いずれも持っていない	14 100.0%	0 0.0%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%
		合計	問13							
			困っていない	その他	無回答					
全体		621 100.0%	254 40.9%	50 8.1%	96 15.5%					
性別	男性	311 100.0%	137 44.1%	28 9.0%	37 11.9%					
	女性	307 100.0%	116 37.8%	22 7.2%	57 18.6%					
年齢	18歳未満	25 100.0%	5 20.0%	2 8.0%	5 20.0%					
	18～29歳	21 100.0%	13 61.9%	1 4.8%	0 0.0%					
	30～49歳	74 100.0%	35 47.3%	7 9.5%	8 10.8%					
	50～64歳	94 100.0%	34 36.2%	10 10.6%	12 12.8%					
	65歳以上	403 100.0%	166 41.2%	30 7.4%	69 17.1%					
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	183 41.7%	32 7.3%	76 17.3%					
	療育手帳	126 100.0%	60 47.6%	6 4.8%	11 8.7%					
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	8 17.0%	10 21.3%	3 6.4%					
	自立支援医療	137 100.0%	54 39.4%	12 8.8%	13 9.5%					
	いずれも持っていない	14 100.0%	9 64.3%	1 7.1%	0 0.0%					

4 教育について

(1) 通園、通学の状況

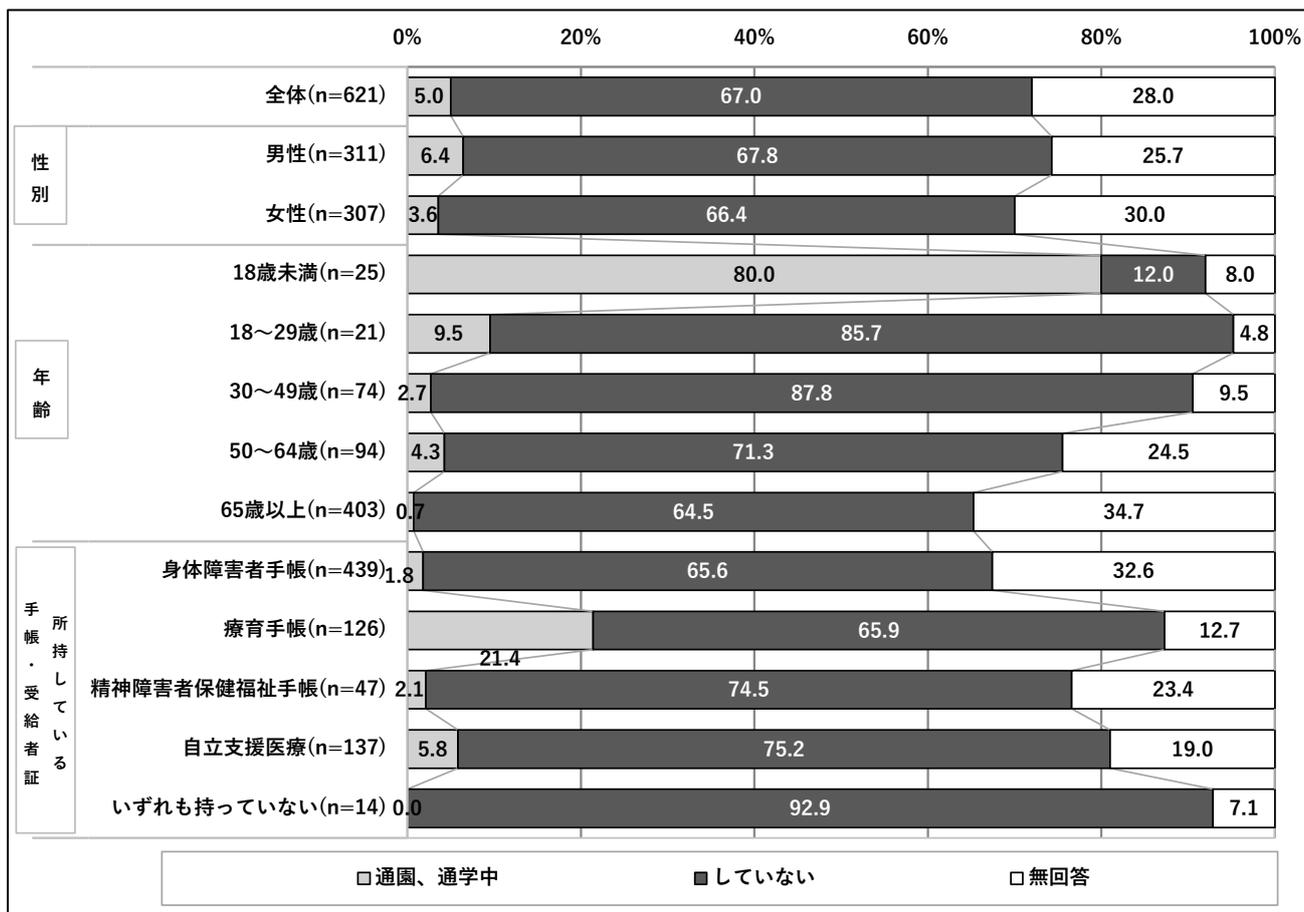
問 14 あなたは現在、通園、通学をしていますか。(1つに○)

結果概要

「していない」が7割強を占める。

通園、通学の状況については、「していない」が67.0%、「通園、通学中」が5.0%となっている。
所持している手帳・受給者証でみると、療育手帳では「通園、通学中」が2割強となっており、他の属性より高くなっている。

■ 通園、通学の状況（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 「していない」が6割強（64.1%）。

(2) 現在の通園、通学先

※問 14-1 から問 14-3 は、問 14 で「1. 通園、通学中」と答えた方にお聞きます。

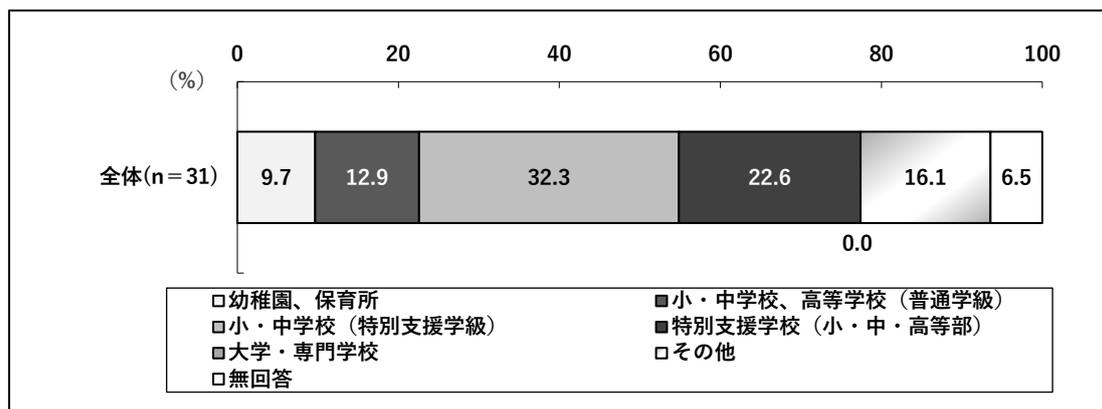
問 14-1 あなたが通園、通学しているところは、次のうちどこですか。(1つに○)

結果概要

「小・中学校（特別支援学級）」が3割強、「特別支援学校（小・中・高等部）」が2割強を占める。

問 14 で「1. 通園、通学中」と答えた人（31人・全体の5.0%）に、現在の通園、通学先をたずねたところ、「小・中学校（特別支援学級）」（32.3%）が最も多く、以下「特別支援学校（小・中・高等部）」（22.6%）、「小・中学校、高等学校（普通学級）」（12.9%）、「幼稚園、保育所」（9.7%）となっている。

■ 現在の通園、通学先（全体） ■



前回調査比較 「小・中学校（特別支援学級）」が7割弱（66.7%）、「特別支援学校（小・中・高等部）」が3割弱（27.8%）。

(3) 望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境

※問 14-1 から問 14-3 は、問 14 で「1. 通園、通学中」と答えた方にお聞きます。

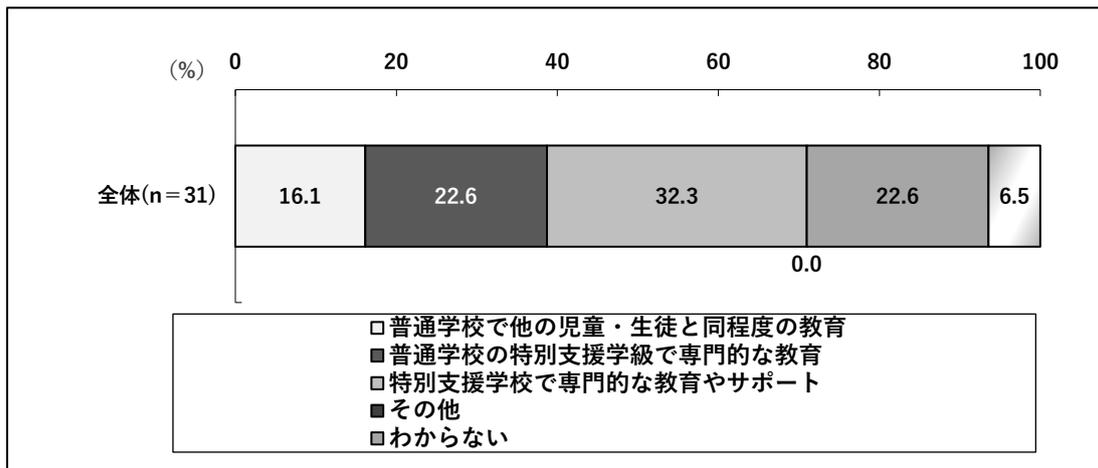
問 14-2 障がいのある児童・生徒の就学環境として望ましいと思うものは、次のどれですか。(1つに○)

結果概要

「特別支援学校で専門的な教育やサポート」が3割強、「普通学校の特別支援学級で専門的な教育」が2割強を占める。

問 14 で「1. 通園、通学中」と答えた人に、望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境についてたずねたところ、「特別支援学校で専門的な教育やサポート」(32.3%) が最も多く、以下「普通学校の特別支援学級で専門的な教育」(22.6%)、「普通学校で他の児童・生徒と同程度の教育」(16.1%) となっている。なお、「わからない」は 22.6%となっている。

■ 望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境 (全体) ■



前回調査比較 「特別支援学校で専門的な教育やサポート」が4割台半ば(44.4%)、「普通学校の特別支援学級で専門的な教育」が4割弱(38.9%)。

(4) 学校等での生活を送る上での問題点

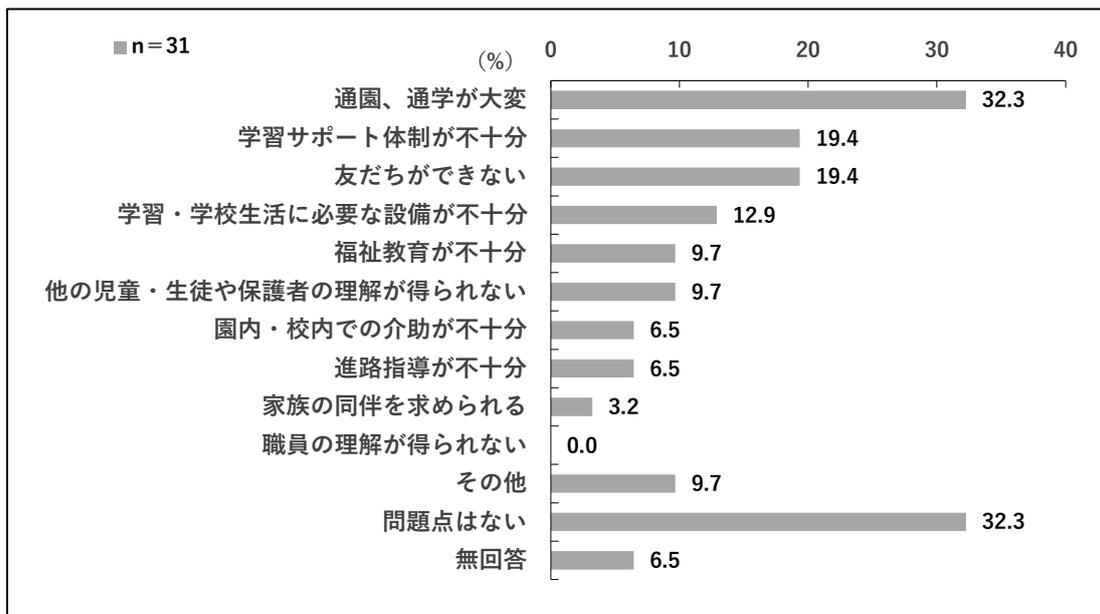
※問 14-1 から問 14-3 は、問 14 で「1. 通園、通学中」と答えた方にお聞きします。
問 14-3 学校等での生活を送る上での問題点はありますか。(あてはまるものすべてに○)

結果概要

「通園、通学が大変」が第1位。「学習サポート体制が不十分」、「友だちができない」などが続く。

学校等での生活を送る上での問題点については、具体的には「通園、通学が大変」(32.3%)が第1位、次いで「学習サポート体制が不十分」・「友だちができない」(同率 19.4%)、「学習・学校生活に必要な設備が不十分」(12.9%)、「福祉教育が不十分」・「他の児童・生徒や保護者の理解が得られない」(同率 9.7%)、「園内・校内での介助が不十分」・「進路指導が不十分」(同率 6.5%)となっている。なお、「問題点はない」は 32.3%となっている。

■ 学校等での生活を送る上での問題点 (全体) ■



前回調査比較 「通園、通学が大変」(38.9%)、「学習サポート体制が不十分」、「友だちができない」(同率 33.3%)などの順。

5 生活環境について

(1) 現在の暮らし方

問 15 あなたは現在どのように暮らしていますか。(1つに○)

結果概要

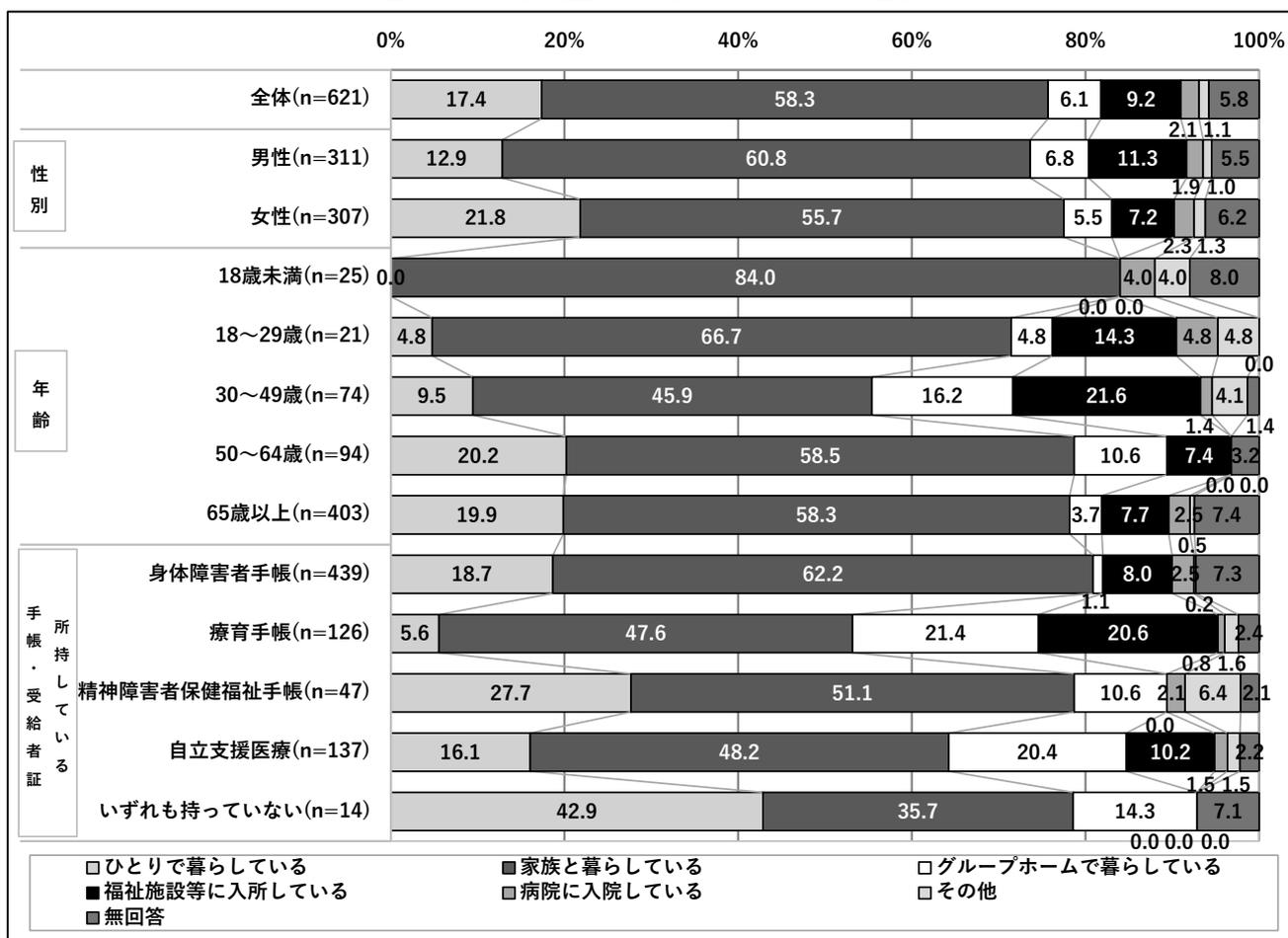
「家族と暮らしている」が6割弱を占める。

現在の暮らし方については、「家族と暮らしている」(58.3%)が最も多く、以下「ひとりで暮らしている」(17.4%)、「福祉施設等に入所している」(9.2%)、「グループホームで暮らしている」(6.1%)、「病院に入院している」(2.1%)となっている。

年齢でみると、50歳以上では「ひとりで暮らしている」がいずれも約2割を占めている。また、30歳から64歳では「グループホームで暮らしている」は2割弱となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、療育手帳では4割強が施設等で暮らしていることがうかがえる。

■現在の暮らし方(全体・性別・年齢・障がい種別)■



前回調査比較 「家族と暮らしている」が約6割(59.9%)。

(2) 将来地域で生活したいか

※問 15-1 と問 15-2 は、問 15 で「4. 福祉施設等に入所している」「5. 病院に入院している」と答えた方にお聞きします。

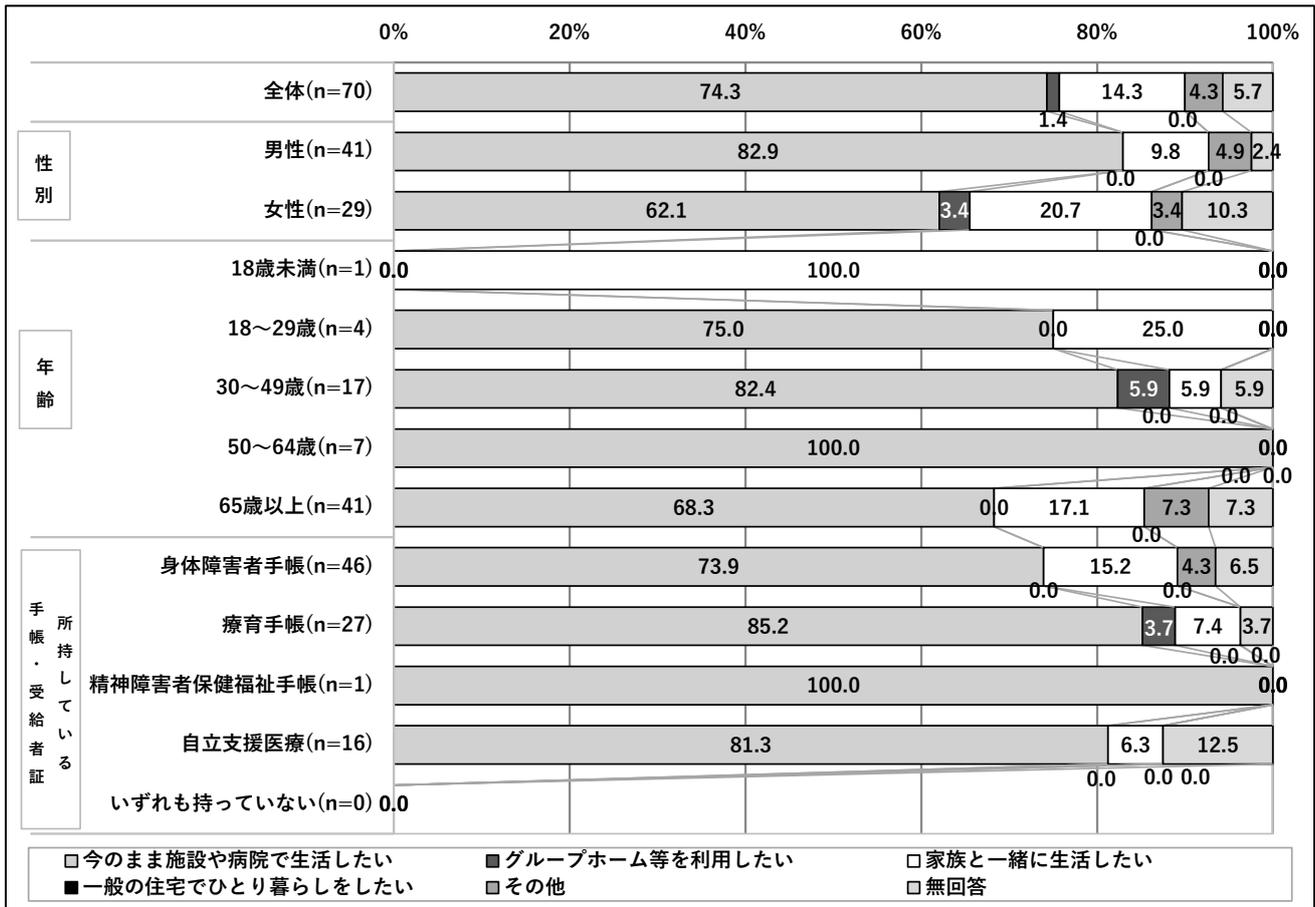
問 15-1 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(1つに○)

結果概要

「今のまま施設や病院で生活したい」が7割台半ばを占める。

問 15 で「4. 福祉施設等に入所している」「5. 病院に入院している」と答えた人(70人・全体の11.3%)に、将来地域で暮らしたいかたずねたところ、「今のまま施設や病院で生活したい」(74.3%)が最も多く、以下「家族と一緒に生活したい」(14.3%)、「グループホーム等を利用したい」(1.4%)となっている。

■ 将来地域で生活したいか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「今のまま施設や病院で生活したい」が6割(60.0%)。

(3) 地域で生活するためにあると良い支援

※問 15-1 と問 15-2 は、問 15 で「4. 福祉施設等に入所している」「5. 病院に入院している」と答えた方にお聞きします。

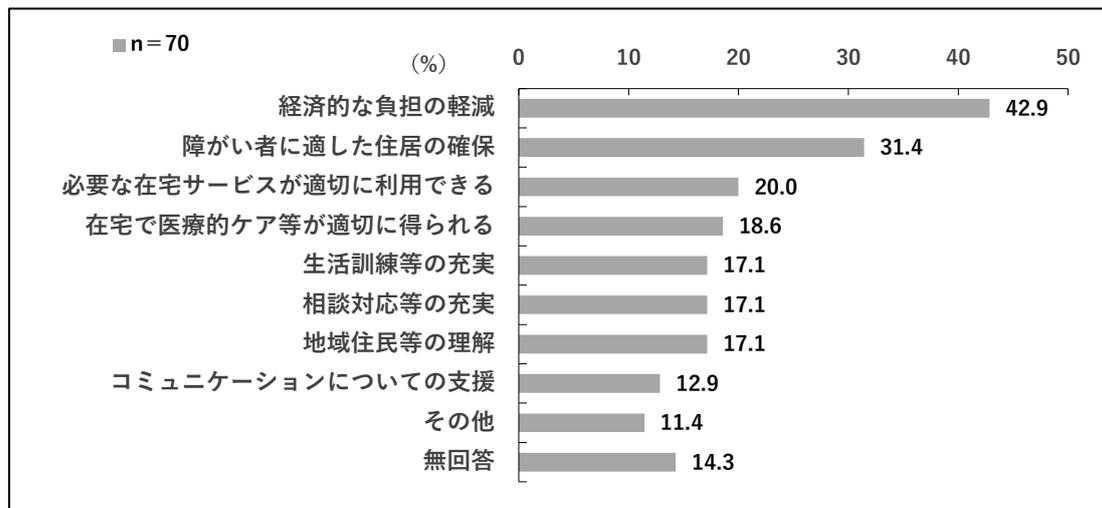
問 15-2 地域で生活するためには、どのような支援があれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

結果概要

「経済的な負担の軽減」が第1位。「障がい者に適した住居の確保」、「必要な在宅サービスが適切に利用できる」などが続く。

問 15 で「4. 福祉施設等に入所している」「5. 病院に入院している」と答えた人に、地域で生活するためにあれば良い支援についてたずねたところ、「経済的な負担の軽減」(42.9%) が第1位、次いで「障がい者に適した住居の確保」(31.4%)、「必要な在宅サービスが適切に利用できる」(20.0%)、「在宅で医療的ケア等が適切に得られる」(18.6%)、「生活訓練等の充実」・「相談対応等の充実」・「地域住民等の理解」(同率 17.1%)、「コミュニケーションについての支援」(12.9%) などとなっている。

■ 地域で生活するためにあると良い支援 (全体) ■



前回調査比較 「経済的な負担の軽減」(30.8%)、「障がい者に適した住居の確保」(27.7%)、「在宅で医療的ケア等が適切に得られる」・「必要な在宅サービスが適切に利用できる」(同率 23.1%) などの順。

(4) 1週間の外出の頻度

問 16 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(1つに○)

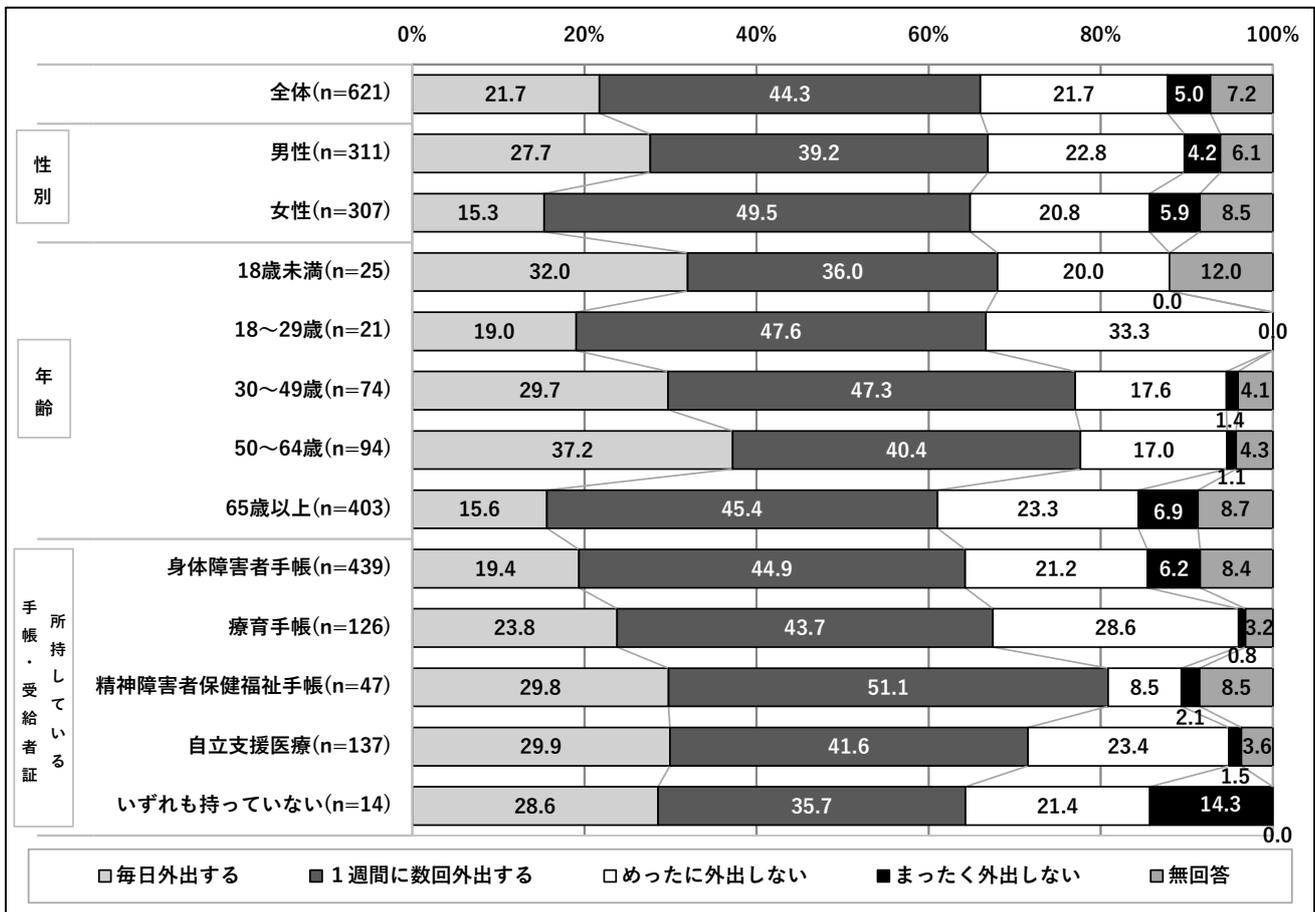
結果概要

「1週間に数回外出する」が4割強を占める。

1週間の外出の頻度については、「1週間に数回外出する」が44.3%、「毎日外出する」・「めったに外出しない」が21.7%（同率）、「まったく外出しない」が5.0%となっている。

性別で見ると、総じて、男性よりも女性の外出頻度が低くなっている。

■ 1週間の外出の頻度（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 「1週間に数回外出する」が4割弱（37.6%）。

(5) 外出する際の主な同伴者

問 17 あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。(1つに○)

結果概要

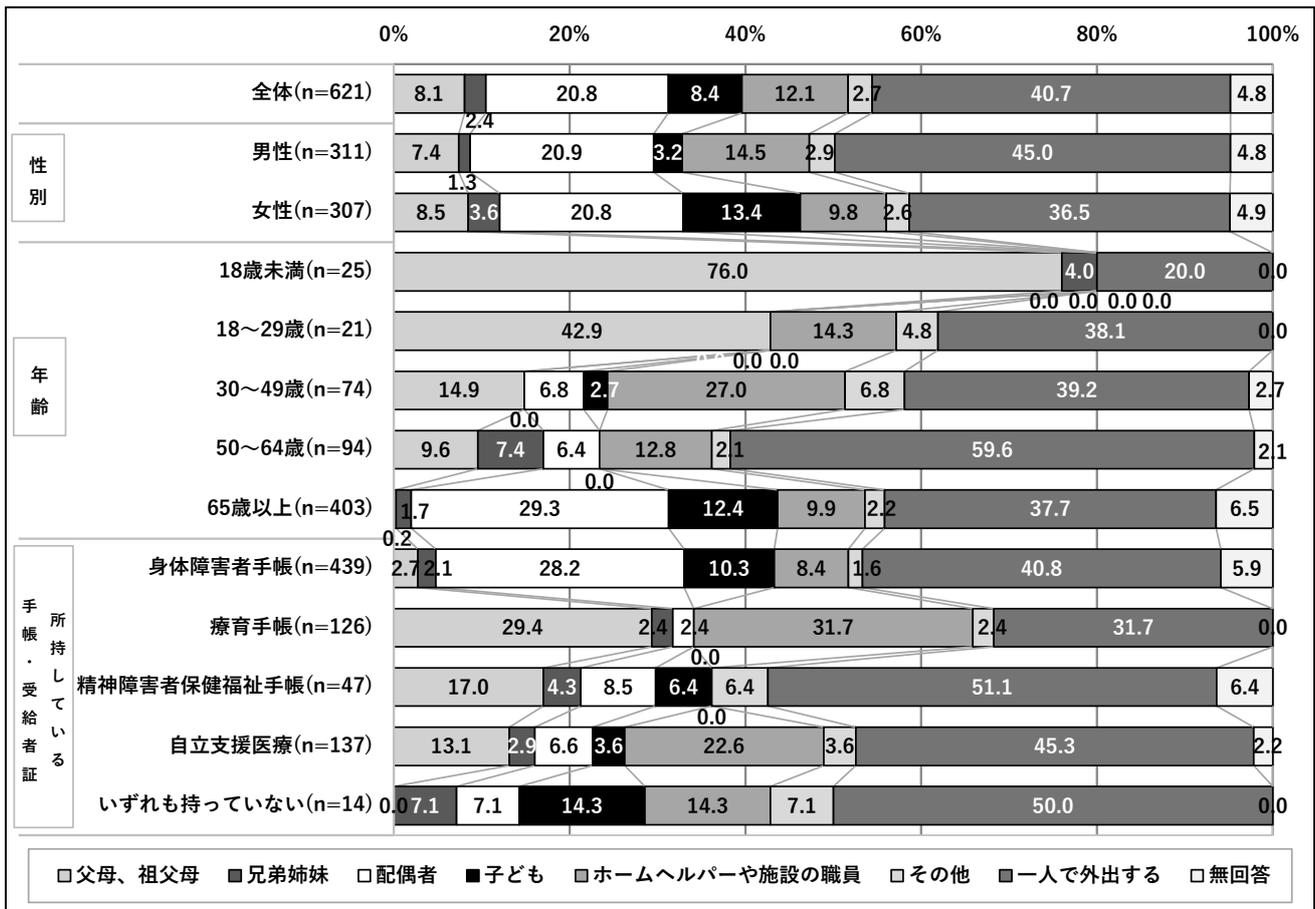
「一人で外出する」が約4割を占める。

外出する際の主な同伴者については、「一人で外出する」(40.7%)が最も多く、以下「配偶者」(20.8%)、「ホームヘルパーや施設の職員」(12.1%)、「子ども」(8.4%)、「父母、祖父母」(8.1%)、「兄弟姉妹」(2.4%)となっている。

年齢で見ると、年齢層が低くなるほど「父母、祖父母」の割合が高くなる傾向がみられる。

所持している手帳・受給者証で見ると、療育手帳では「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が他の属性より高くなっている。

■ 外出する際の主な同伴者 (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「一人で外出する」が4割弱(36.5%)。

(6) 外出の目的

問 18 あなたはどのような目的で外出することが多いですか。(1つに○)

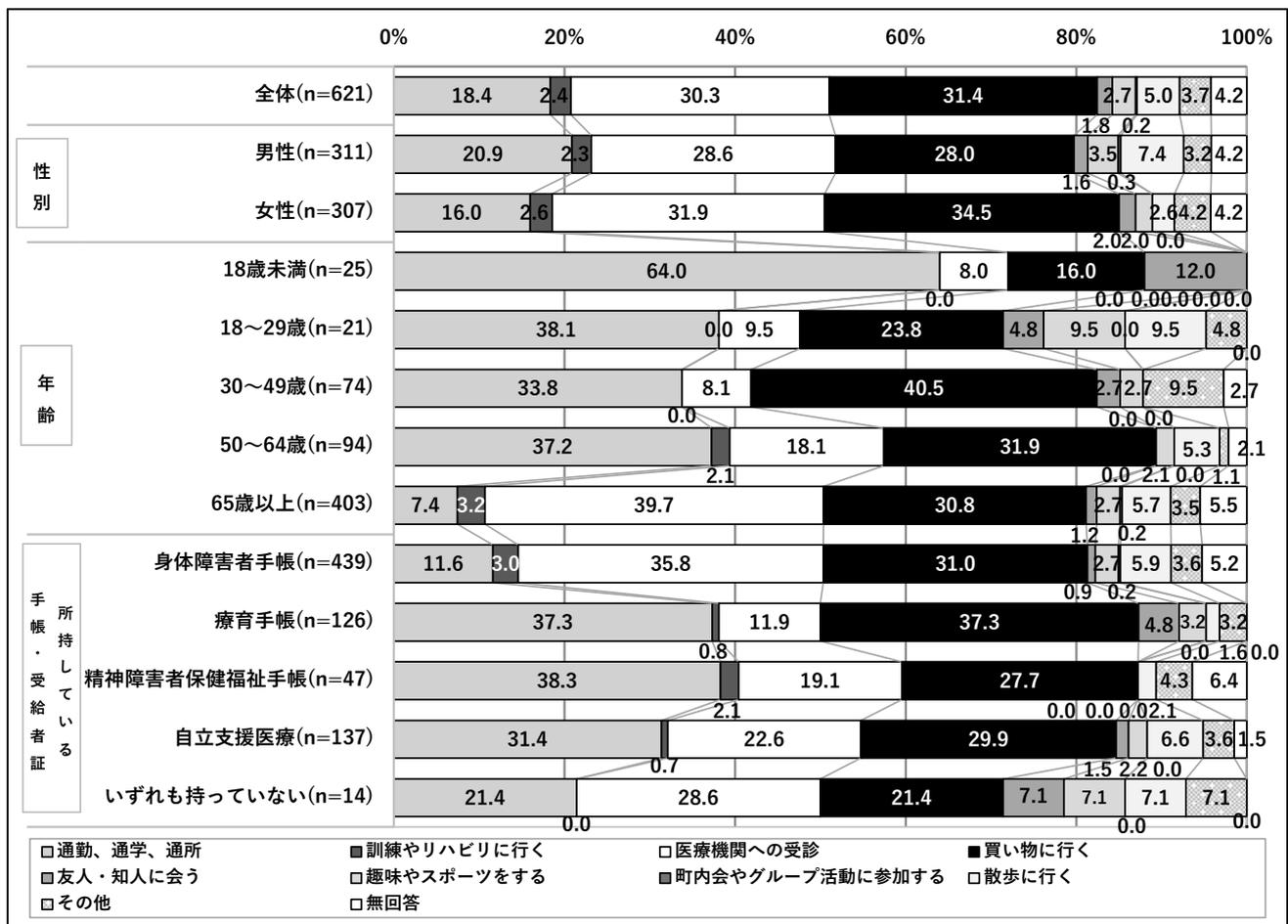
結果概要

「買い物に行く」が3割強を占める。

外出の目的については、「買い物に行く」(31.4%)が最も多く、以下「医療機関への受診」(30.3%)、「通勤、通学、通所」(18.4%)、「散歩に行く」(5.0%)、「趣味やスポーツをする」(2.7%)、「訓練やリハビリに行く」(2.4%)、「友人・知人に会う」(1.8%)、「町内会やグループ活動に参加する」(0.2%)などとなっている。

属性別に「医療機関への受診」の割合をみると、年齢の65歳以上では約4割、所持している手帳・受給者証の身体障害者手帳では3割台半ばとなっており、他の属性より高くなっている。

■ 外出の目的 (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「買い物に行く」(32.5%)、「医療機関への受診」(32.0%)が3割強。

(7) 外出する時に困ること

問 19 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

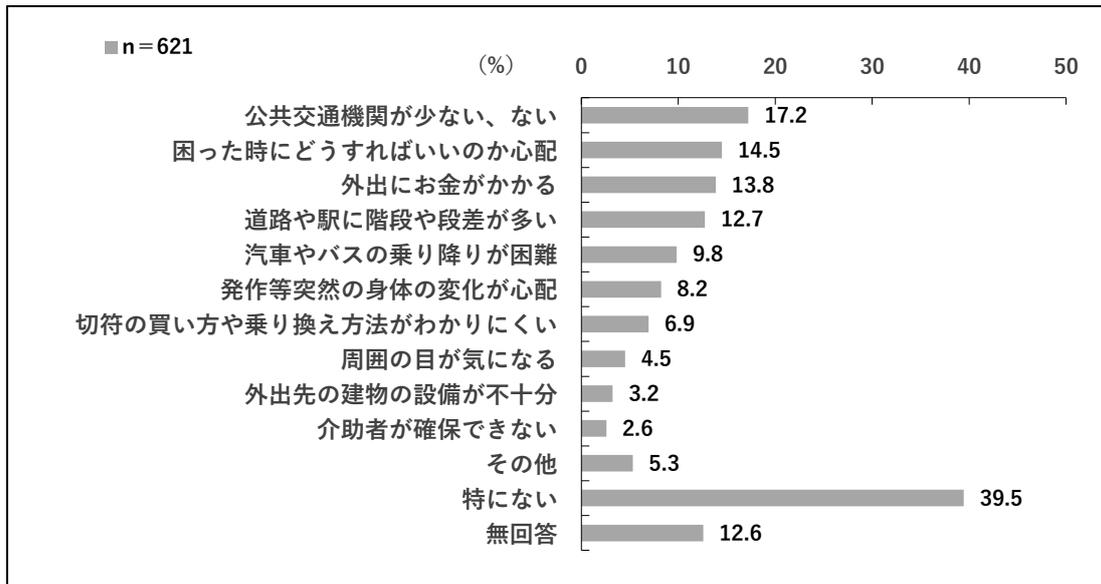
結果概要

「公共交通機関が少ない、ない」が第1位。「列車やバスの乗り降りが困難」、「道路や駅に階段や段差が多い」、「外出にお金がかかる」などが続く。

外出する時に困ることについては、具体的には「公共交通機関が少ない、ない」(17.2%)が第1位、次いで「困った時にどうすればいいのか心配」(14.5%)、「外出にお金がかかる」(13.8%)、「道路や駅に階段や段差が多い」(12.7%)、「自動車やバスの乗り降りが困難」(9.8%)、「発作等突然の身体の変化が心配」(8.2%)、「切符の買い方や乗り換え方法がわかりにくい」(6.9%)、「周囲の目が気になる」(4.5%)、「外出先の建物の設備が不十分」(3.2%)、「介助者が確保できない」(2.6%)などとなっている。なお、「特にない」は39.5%となっている。

年齢で見ると、18歳未満では「困った時にどうすればいいのか心配」が第1位となっている。

■ 外出する時に困ること (全体) ■



前回調査比較 「公共交通機関が少ない、ない」(15.8%)、「列車やバスの乗り降りが困難」(12.8%)、「道路や駅に階段や段差が多い」(12.6%)などの順。

■ 外出する時に困ること（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問19 外出する時に困ること							
			公共交通機関が少ない、ない	自動車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換え方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不十分	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる
全体		621 100.0%	107 17.2%	61 9.8%	79 12.7%	43 6.9%	20 3.2%	16 2.6%	86 13.8%	28 4.5%
性別	男性	311 100.0%	49 15.8%	23 7.4%	29 9.3%	16 5.1%	12 3.9%	7 2.3%	34 10.9%	11 3.5%
	女性	307 100.0%	58 18.9%	38 12.4%	50 16.3%	26 8.5%	8 2.6%	9 2.9%	52 16.9%	16 5.2%
年齢	18歳未満	25 100.0%	8 32.0%	2 8.0%	2 8.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%	5 20.0%	6 24.0%
	18～29歳	21 100.0%	5 23.8%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	2 9.5%	0 0.0%	6 28.6%	3 14.3%
	30～49歳	74 100.0%	15 20.3%	8 10.8%	5 6.8%	10 13.5%	3 4.1%	1 1.4%	16 21.6%	5 6.8%
	50～64歳	94 100.0%	16 17.0%	6 6.4%	15 16.0%	7 7.4%	5 5.3%	4 4.3%	17 18.1%	9 9.6%
	65歳以上	403 100.0%	62 15.4%	44 10.9%	56 13.9%	20 5.0%	10 2.5%	10 2.5%	41 10.2%	4 1.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	72 16.4%	47 10.7%	67 15.3%	23 5.2%	15 3.4%	13 3.0%	46 10.5%	10 2.3%
	療育手帳	126 100.0%	26 20.6%	10 7.9%	9 7.1%	12 9.5%	7 5.6%	2 1.6%	25 19.8%	11 8.7%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	14 29.8%	3 6.4%	2 4.3%	6 12.8%	0 0.0%	1 2.1%	14 29.8%	6 12.8%
	自立支援医療	137 100.0%	26 19.0%	13 9.5%	12 8.8%	12 8.8%	5 3.6%	3 2.2%	29 21.2%	11 8.0%
	いずれも持っていない	14 100.0%	2 14.3%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%	1 7.1%
			合計	問19 外出する時に困ること						
			発作等突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのかわからない	その他	特になし	無回答			
全体		621 100.0%	51 8.2%	90 14.5%	33 5.3%	245 39.5%	78 12.6%			
性別	男性	311 100.0%	16 5.1%	43 13.8%	15 4.8%	146 46.9%	33 10.6%			
	女性	307 100.0%	35 11.4%	46 15.0%	18 5.9%	98 31.9%	45 14.7%			
年齢	18歳未満	25 100.0%	2 8.0%	10 40.0%	6 24.0%	4 16.0%	0 0.0%			
	18～29歳	21 100.0%	1 4.8%	6 28.6%	0 0.0%	8 38.1%	0 0.0%			
	30～49歳	74 100.0%	8 10.8%	13 17.6%	5 6.8%	32 43.2%	3 4.1%			
	50～64歳	94 100.0%	8 8.5%	17 18.1%	10 10.6%	38 40.4%	7 7.4%			
	65歳以上	403 100.0%	32 7.9%	43 10.7%	12 3.0%	162 40.2%	68 16.9%			
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	35 8.0%	53 12.1%	19 4.3%	173 39.4%	66 15.0%			
	療育手帳	126 100.0%	7 5.6%	29 23.0%	12 9.5%	52 41.3%	1 0.8%			
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	8 17.0%	10 21.3%	3 6.4%	14 29.8%	6 12.8%			
	自立支援医療	137 100.0%	15 10.9%	20 14.6%	13 9.5%	58 42.3%	10 7.3%			
	いずれも持っていない	14 100.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	6 42.9%	1 7.1%			

6 雇用・就業などについて

(1) 平日の日中の過ごし方

問 20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(1つに○)

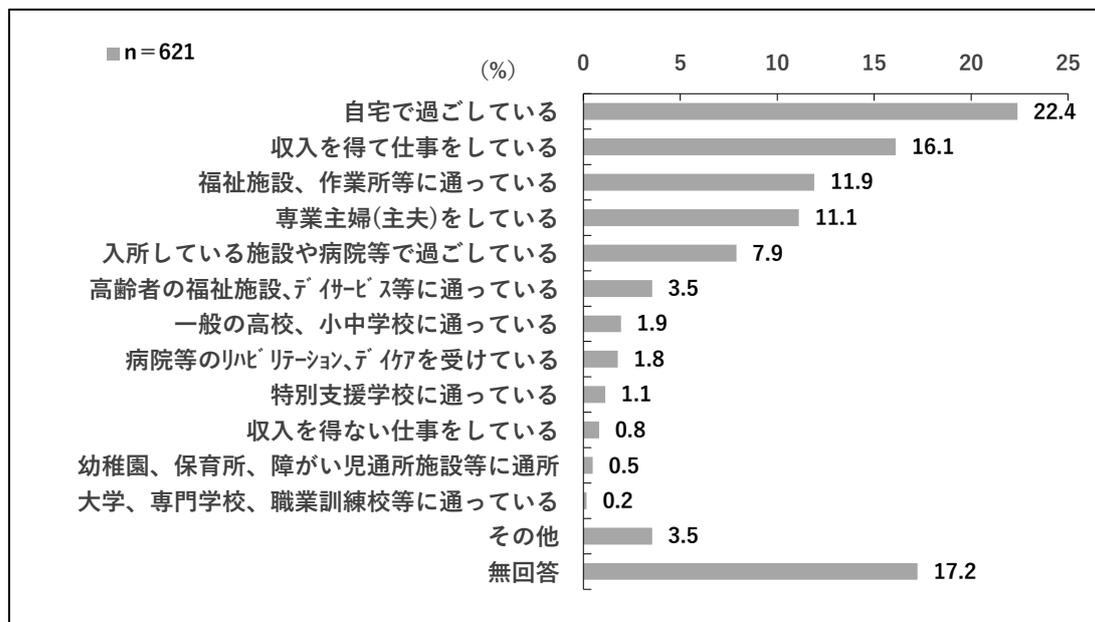
結果概要

「自宅で過ごしている」が第1位。

平日の日中の過ごし方については、「自宅で過ごしている」(22.4%)が第1位、次いで「収入を得て仕事をしている」(16.1%)、「福祉施設、作業所等に通っている」(11.9%)、「専業主婦(主夫)をしている」(11.1%)、「入所している施設や病院等で過ごしている」(7.9%)、「高齢者の福祉施設、デイサービス等に通っている」(3.5%)、「一般の高校、小中学校に通っている」(1.9%)、「病院等のリハビリテーション、デイケアを受けている」(1.8%)、「特別支援学校に通っている」(1.1%)、「収入を得ない仕事をしている」(0.8%)などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では「自宅で過ごしている」、療育手帳、自立支援医療では「福祉施設、作業所等に通っている」、精神障害者保健福祉手帳では「収入を得て仕事をしている」、いずれも持っていないでは「いない(ひとり暮らし)」では「収入を得て仕事をしている」「入所している施設や病院等で過ごしている」(同率)がそれぞれ第1位となっており、手帳・受給者証の所持状況によって違いがみられる。

■ 平日の日中の過ごし方 (全体) ■



前回調査比較 「自宅で過ごしている」が第1位(25.2%)。

■ 平日の日中の過ごし方（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問20 平日の日中の過ごし方							
			収入を得て 仕事をして いる	収入を得な い仕事をして いる	専業主婦 (主夫)をして いる	福祉施設、 作業所等に 通っている	高齢者の福 祉施設、デイ サービス等に 通っている	病院等のリ ハビリテー ション、 デイケアを受 けている	自宅で過 している	入所してい る施設や病 院等で過 している
全体		621 100.0%	100 16.1%	5 0.8%	69 11.1%	74 11.9%	22 3.5%	11 1.8%	139 22.4%	49 7.9%
性別	男性	311 100.0%	63 20.3%	3 1.0%	7 2.3%	37 11.9%	11 3.5%	5 1.6%	83 26.7%	30 9.6%
	女性	307 100.0%	37 12.1%	2 0.7%	62 20.2%	36 11.7%	11 3.6%	6 2.0%	55 17.9%	19 6.2%
年齢	18歳未満	25 100.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	1 4.0%
	18～29歳	21 100.0%	6 28.6%	0 0.0%	1 4.8%	7 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	2 9.5%
	30～49歳	74 100.0%	15 20.3%	0 0.0%	5 6.8%	27 36.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.8%	7 9.5%
	50～64歳	94 100.0%	31 33.0%	0 0.0%	7 7.4%	21 22.3%	3 3.2%	1 1.1%	12 12.8%	7 7.4%
	65歳以上	403 100.0%	47 11.7%	5 1.2%	56 13.9%	18 4.5%	19 4.7%	10 2.5%	118 29.3%	32 7.9%
所持している 手帳・受給者 証	身体障害者手帳	439 100.0%	75 17.1%	4 0.9%	64 14.6%	13 3.0%	13 3.0%	11 2.5%	124 28.2%	31 7.1%
	療育手帳	126 100.0%	11 8.7%	0 0.0%	2 1.6%	49 38.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.2%	16 12.7%
	精神障害者保健福 祉手帳	47 100.0%	12 25.5%	0 0.0%	3 6.4%	10 21.3%	1 2.1%	1 2.1%	11 23.4%	2 4.3%
	自立支援医療	137 100.0%	25 18.2%	0 0.0%	13 9.5%	44 32.1%	1 0.7%	0 0.0%	18 13.1%	13 9.5%
	いずれも持ってい ない	14 100.0%	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%
			合計	問20						
			大学、専門 学校、職業 訓練校等に 通っている	幼稚園、保 育所、障が い児通所施 設等に通所	一般の高 校、小中学 校に通って いる	特別支援学 校に通って いる	その他	無回答		
全体		621 100.0%	1 0.2%	3 0.5%	12 1.9%	7 1.1%	22 3.5%	107 17.2%		
性別	男性	311 100.0%	0 0.0%	1 0.3%	9 2.9%	4 1.3%	15 4.8%	43 13.8%		
	女性	307 100.0%	1 0.3%	2 0.7%	3 1.0%	3 1.0%	7 2.3%	63 20.5%		
年齢	18歳未満	25 100.0%	0 0.0%	3 12.0%	10 40.0%	5 20.0%	2 8.0%	1 4.0%		
	18～29歳	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%		
	30～49歳	74 100.0%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	3 4.1%	9 12.2%		
	50～64歳	94 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.1%	10 10.6%		
	65歳以上	403 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 3.2%	85 21.1%		
所持している 手帳・受給者 証	身体障害者手帳	439 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.2%	12 2.7%	89 20.3%		
	療育手帳	126 100.0%	1 0.8%	3 2.4%	12 9.5%	7 5.6%	5 4.0%	16 12.7%		
	精神障害者保健福 祉手帳	47 100.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.4%	3 6.4%		
	自立支援医療	137 100.0%	1 0.7%	2 1.5%	2 1.5%	0 0.0%	7 5.1%	11 8.0%		
	いずれも持ってい ない	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%		

(2) 勤務形態

※問 20-1 は、問 20 で「1. 会社勤めや自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」と答えた方にお聞きします。

問 20-1 どのような勤務形態で働いていますか。(1つに○)

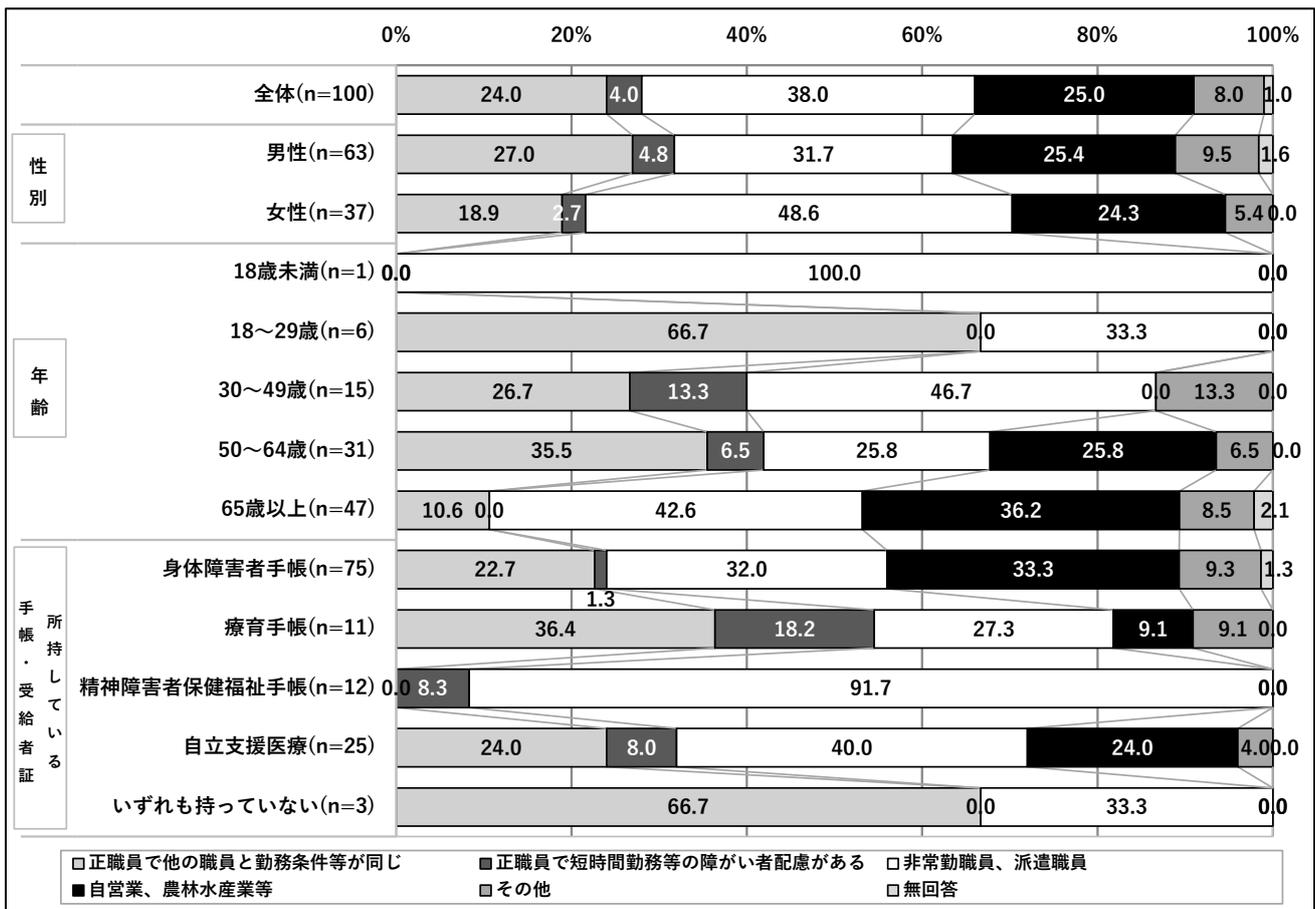
結果概要

「非常勤職員、派遣職員」が4割弱を占める。

問 18 で「1. 会社勤めや自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」と答えた人（100人・全体の16.1%）に、勤務形態についてたずねたところ、「非常勤職員、派遣職員」（38.0%）が最も多く、以下「自営業、農林水産業等」（25.0%）、「正職員で他の職員と勤務条件等が同じ」（24.0%）、「正職員で短時間勤務等の障がい者配慮がある」（4.0%）となっている。

性別で見ると、「正職員で他の職員と勤務条件等が同じ」の割合は、女性より男性の方が約8ポイント高くなっている。

■勤務形態（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較 「自営業、農林水産業等」が3割強（31.7%）。

(3) 今後収入を得る仕事をしたいか

問 21 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(1つに○)

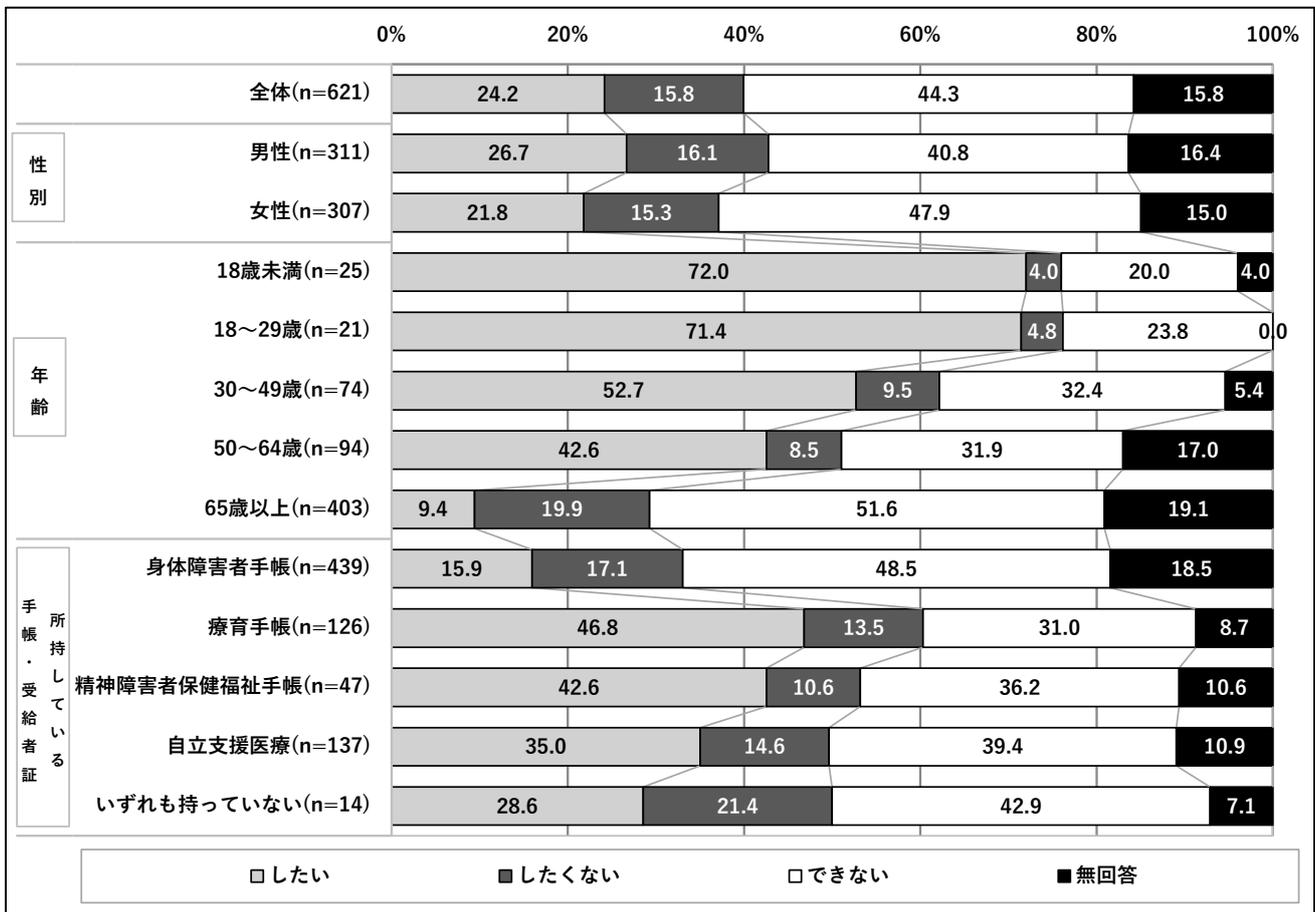
結果概要

「できない」が4割台半ばを占める。

今後収入を得る仕事をしたいかたずねたところ、「できない」が44.3%、「したい」が24.2%、「したくない」が15.8%となっている。

年齢で見ると、年齢層が低いほど「したい」の割合が高くなる傾向がみられる。

■ 今後収入を得る仕事をしたいか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「できない」が5割弱(47.3%)。

(4) 仕事に就くために職業訓練などを受けたいか

※問 21-1 は、問 21 で「1. したい」と答えた方にお聞きします。

問 21-1 収入を得る仕事をするために、職業訓練等を受けたいと思いますか。(1つに○)

結果概要

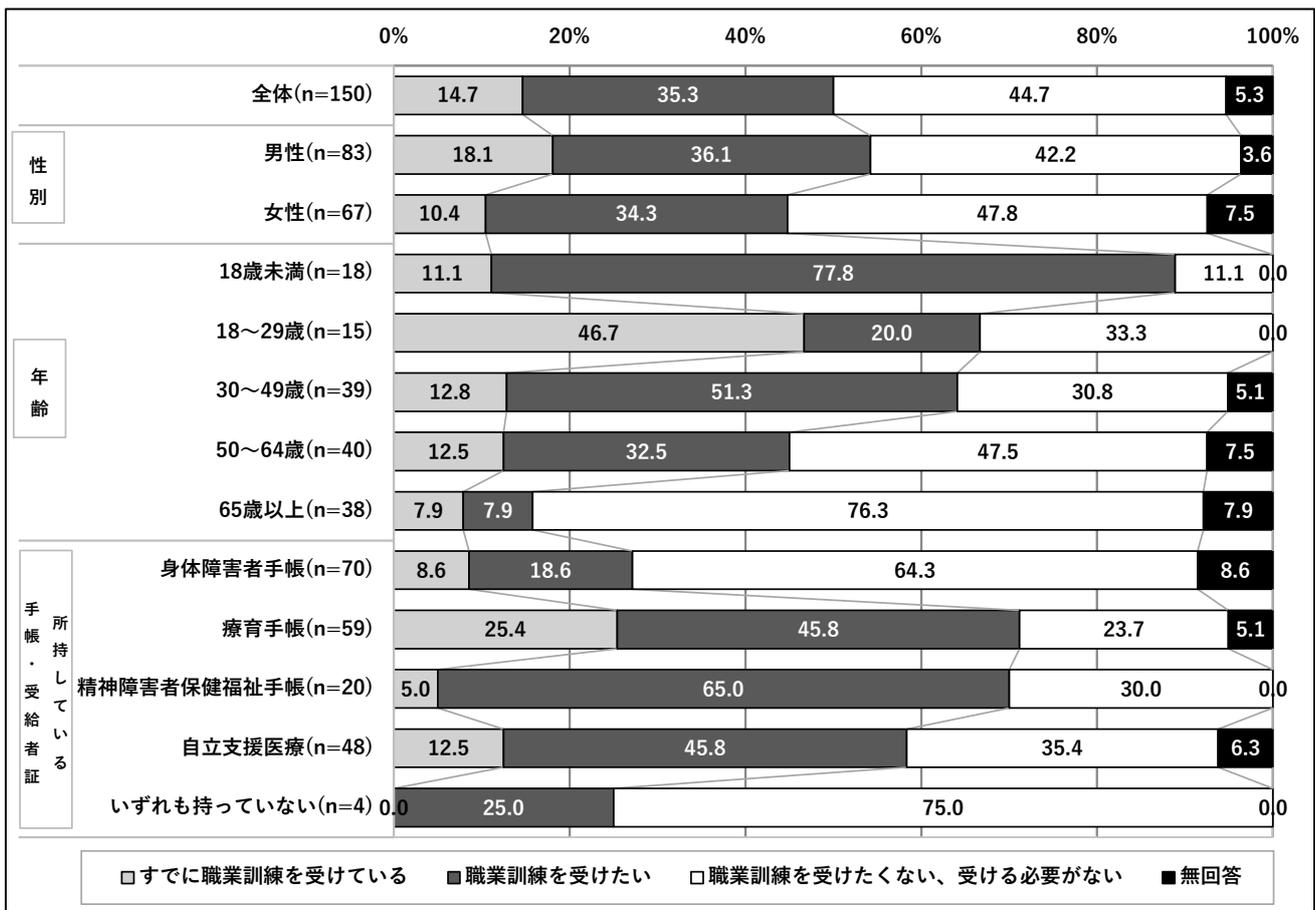
「職業訓練を受けたくない、受ける必要がない」が4割台半ばを占める。

問 21 で「1. したい」と答えた人(150人・全体の24.2%)に、仕事に就くために職業訓練などを受けたいかたずねたところ、「職業訓練を受けたくない、受ける必要がない」(44.7%)が最も多く、以下「職業訓練を受けたい」(35.3%)、「すでに職業訓練を受けている」(14.7%)となっている。

年齢で見ると、年齢層が低いほど「職業訓練を受けたい」の割合が高くなる傾向がみられる。

所持している手帳・受給者証で「職業訓練を受けたい」の割合をみると、精神障害者保健福祉手帳で最も高く、身体障害者手帳で最も低くなっている。

■ 仕事に就くために職業訓練などを受けたいか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が約5割(49.7%)。

（５）障がい者の就労支援として必要なこと

問 22 あなたは障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
 （あてはまるものすべてに○）

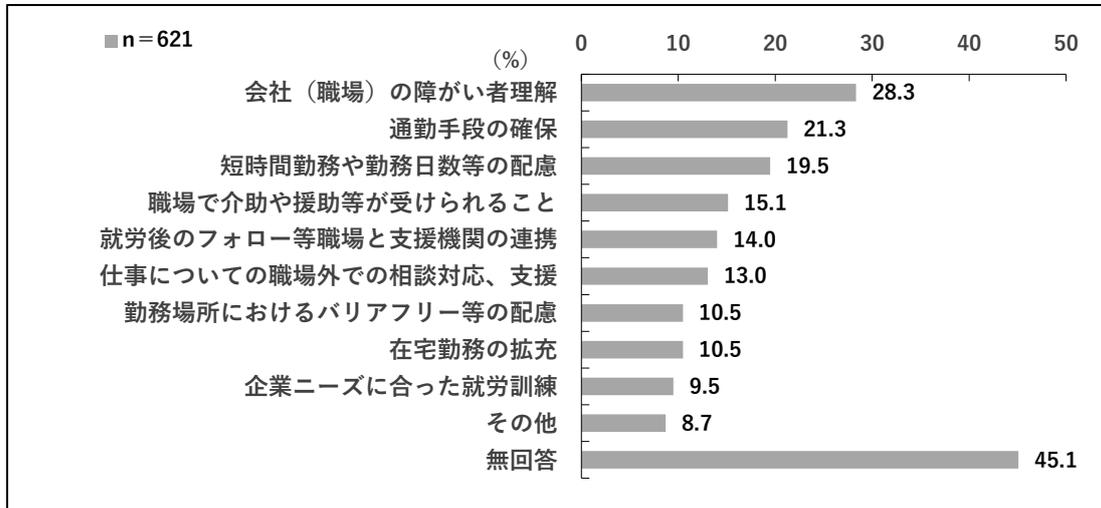
結果概要

「会社（職場）の障がい者理解」が第1位。「通勤手段の確保」、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」、「職場で介助や援助等が受けられること」などが続く。

障がい者の就労支援として必要なことについては、「会社（職場）の障がい者理解」（28.3%）が第1位、次いで「通勤手段の確保」（21.3%）、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」（19.5%）、「職場で介助や援助等が受けられること」（15.1%）、「就労後のフォロー等職場と支援機関の連携」（14.0%）、「仕事についての職場外での相談対応、支援」（13.0%）、「勤務場所におけるバリアフリー等の配慮」・「在宅勤務の拡充」（同率 10.5%）、「企業ニーズに合った就労訓練」（9.5%）などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳、療育手帳、自立支援医療では「会社（職場）の障がい者理解」、精神障害者保健福祉手帳では「通勤手段の確保」・「会社（職場）の障がい者理解」（同率）、いずれも持っていないでは「職場で介助や援助等が受けられること」がそれぞれ第1位となっている。

■ 障がい者の就労支援として必要なこと（全体） ■



前回調査比較 「会社（職場）の障がい者理解」（24.5%）、「通勤手段の確保」（19.6%）、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」（18.5%）などの順。

■ 障がい者の就労支援として必要なこと（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問22 障がい者の就労支援として必要なこと							
			通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	会社（職場）の障がい者理解	職場で介助や援助等が受けられること	就労後のフォロー等職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練
全体		621	132	65	121	65	176	94	87	59
		100.0%	21.3%	10.5%	19.5%	10.5%	28.3%	15.1%	14.0%	9.5%
性別	男性	311	71	32	66	31	89	48	45	32
		100.0%	22.8%	10.3%	21.2%	10.0%	28.6%	15.4%	14.5%	10.3%
	女性	307	61	33	55	33	87	46	42	27
		100.0%	19.9%	10.7%	17.9%	10.7%	28.3%	15.0%	13.7%	8.8%
年齢	18歳未満	25	15	4	15	3	19	14	15	7
		100.0%	60.0%	16.0%	60.0%	12.0%	76.0%	56.0%	60.0%	28.0%
	18～29歳	21	9	3	9	3	15	7	11	7
		100.0%	42.9%	14.3%	42.9%	14.3%	71.4%	33.3%	52.4%	33.3%
	30～49歳	74	23	10	20	15	38	19	14	15
		100.0%	31.1%	13.5%	27.0%	20.3%	51.4%	25.7%	18.9%	20.3%
	50～64歳	94	28	17	30	18	39	27	22	10
		100.0%	29.8%	18.1%	31.9%	19.1%	41.5%	28.7%	23.4%	10.6%
	65歳以上	403	57	31	47	25	64	27	25	20
		100.0%	14.1%	7.7%	11.7%	6.2%	15.9%	6.7%	6.2%	5.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	73	50	73	41	96	44	42	28
		100.0%	16.6%	11.4%	16.6%	9.3%	21.9%	10.0%	9.6%	6.4%
	療育手帳	126	41	12	33	10	60	42	31	19
		100.0%	32.5%	9.5%	26.2%	7.9%	47.6%	33.3%	24.6%	15.1%
	精神障害者保健福祉手帳	47	19	3	15	12	19	9	17	10
		100.0%	40.4%	6.4%	31.9%	25.5%	40.4%	19.1%	36.2%	21.3%
	自立支援医療	137	39	12	34	16	47	23	27	13
		100.0%	28.5%	8.8%	24.8%	11.7%	34.3%	16.8%	19.7%	9.5%
	いずれも持っていない	14	4	2	3	2	4	5	2	3
		100.0%	28.6%	14.3%	21.4%	14.3%	28.6%	35.7%	14.3%	21.4%
		合計	問22							
			仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答					
全体		621	81	54	280					
		100.0%	13.0%	8.7%	45.1%					
性別	男性	311	37	30	133					
		100.0%	11.9%	9.6%	42.8%					
	女性	307	44	24	145					
		100.0%	14.3%	7.8%	47.2%					
年齢	18歳未満	25	12	2	0					
		100.0%	48.0%	8.0%	0.0%					
	18～29歳	21	7	2	0					
		100.0%	33.3%	9.5%	0.0%					
	30～49歳	74	14	13	8					
		100.0%	18.9%	17.6%	10.8%					
	50～64歳	94	24	8	20					
		100.0%	25.5%	8.5%	21.3%					
	65歳以上	403	24	29	250					
		100.0%	6.0%	7.2%	62.0%					
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	37	30	244					
		100.0%	8.4%	6.8%	55.6%					
	療育手帳	126	29	25	13					
		100.0%	23.0%	19.8%	10.3%					
	精神障害者保健福祉手帳	47	16	2	13					
		100.0%	34.0%	4.3%	27.7%					
	自立支援医療	137	32	20	35					
		100.0%	23.4%	14.6%	25.5%					
	いずれも持っていない	14	1	2	4					
		100.0%	7.1%	14.3%	28.6%					

障がい福祉サービスなどについて

(1) 障害支援区分の認定を受けているか

問 23 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(1つに○)

結果概要

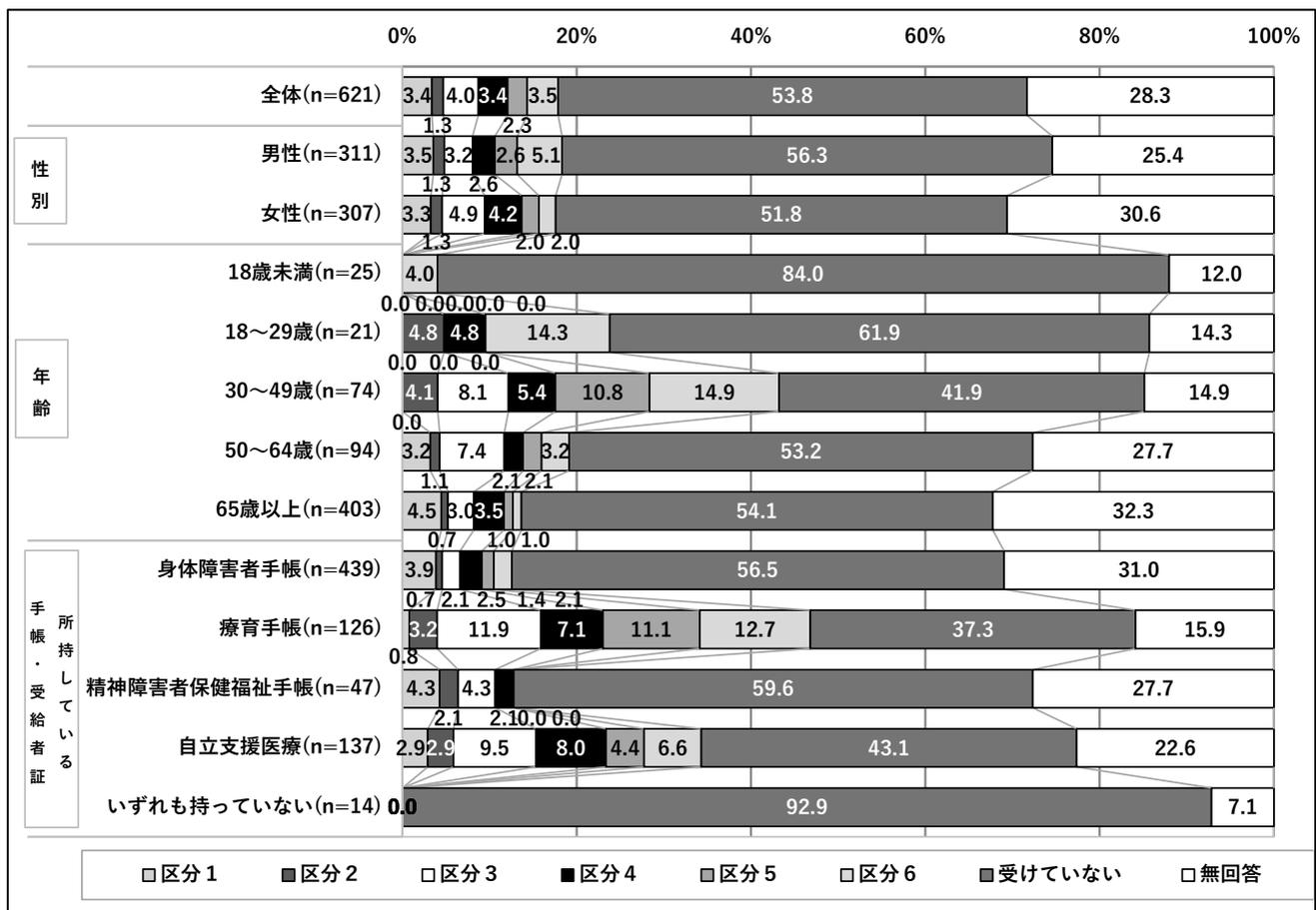
「受けていない」が5割強を占める。

障害支援区分については、「受けていない」(53.8%)が最も多く、次いで「区分3」(4.0%)、「区分6」(3.5%)、「区分1」(3.4%)、「区分4」(3.4%)、「区分5」(2.3%)、「区分2」(1.3%)となっている。

年齢で見ると、30～49歳では障害支援区分の認定を受けている人の割合が高くなっている。

所持している手帳・受給者証で見ると、療育手帳では障害支援区分の認定を受けている人の割合が高くなっている。

■ 障害支援区分の認定を受けているか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「受けていない」が約5割(50.5%)。

(2) 介護認定を受けているか

問 24 あなたは介護認定を受けていますか。(1つに○)

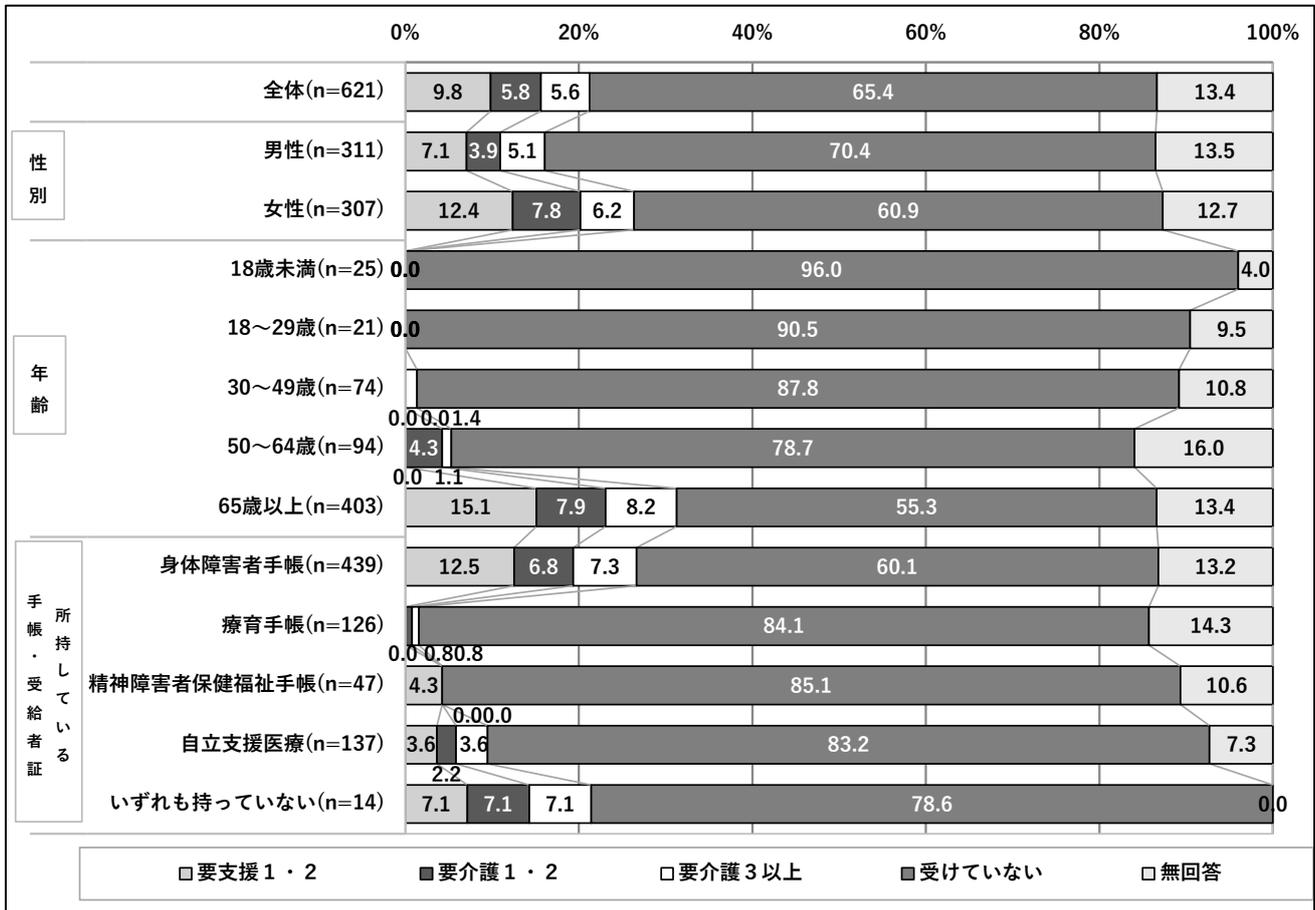
結果概要

「受けていない」が6割台半ばを占める。

介護認定については、「受けていない」(65.4%)が最も多く、以下「要支援1・2」(9.8%)、「要介護1・2」(5.8%)、「要介護3以上」(5.6%)となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では障害支援区分の認定を受けている人の割合が3割弱を占め、他の属性よりも高くなっている。

■ 介護認定を受けているか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「受けていない」が約6割(59.6%)。

(3) サービスの利用について

問 25 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えていますか。

①から⑩のそれぞれについて、「(1) 現在利用しているか」と「(2) 今後利用したいか」の両方に回答してください。なお、介護保険の対象となる方は、介護保険サービスが優先されます。

(それぞれ1つに○)

結果概要

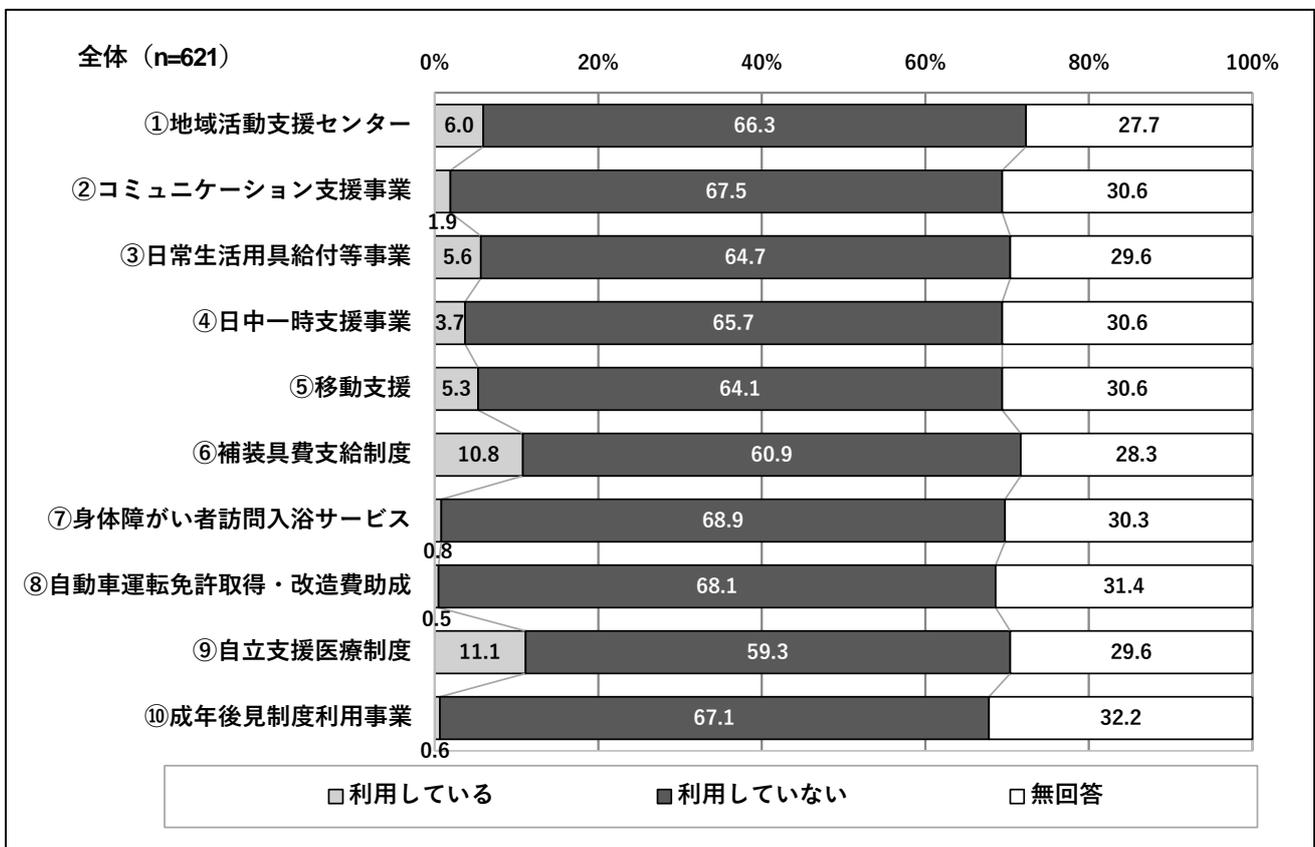
現在の利用状況については、「自立支援医療制度」(11.1%)が最も多い。「補装具費支給制度」(10.8%)、「地域活動支援センター」(6.0%)などが続く。

今後の利用意向については、「移動支援」・「自立支援医療制度」(同率 18.8%)が最も多い。「補装具費支給制度」(17.2%)などが続く。

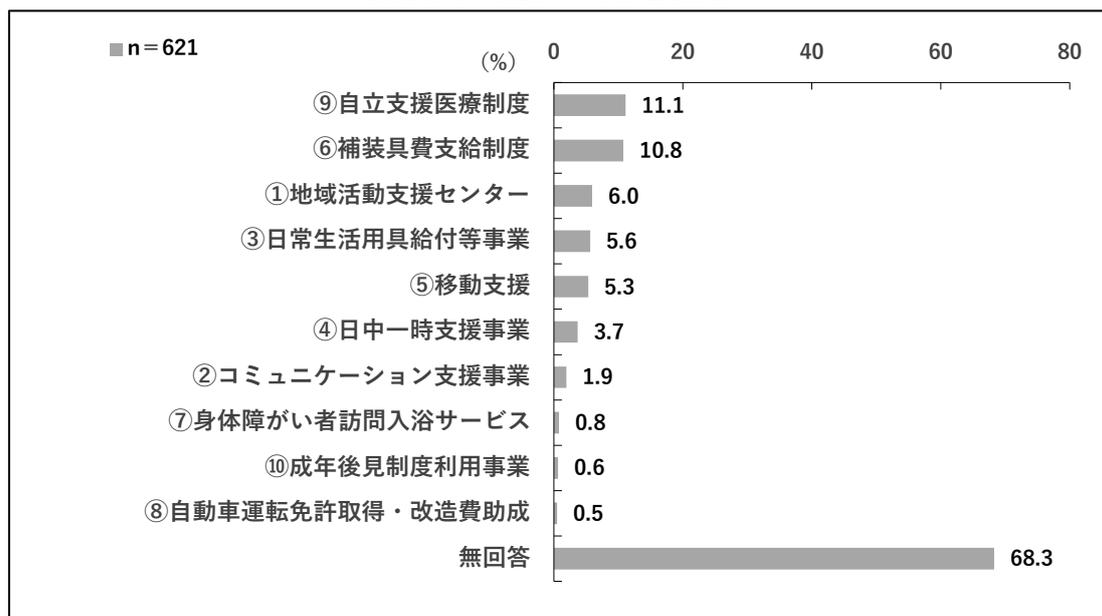
(1) 現在の利用状況

現在、利用しているのは、「自立支援医療制度」(11.1%)が最も多く、以下「補装具費支給制度」(10.8%)、「地域活動支援センター」(6.0%)、「日常生活用具給付等事業」(5.6%)などとなっている。

■ サービスの利用状況について ①～⑩ (全体) ■



「利用している」サービス（降順） ■

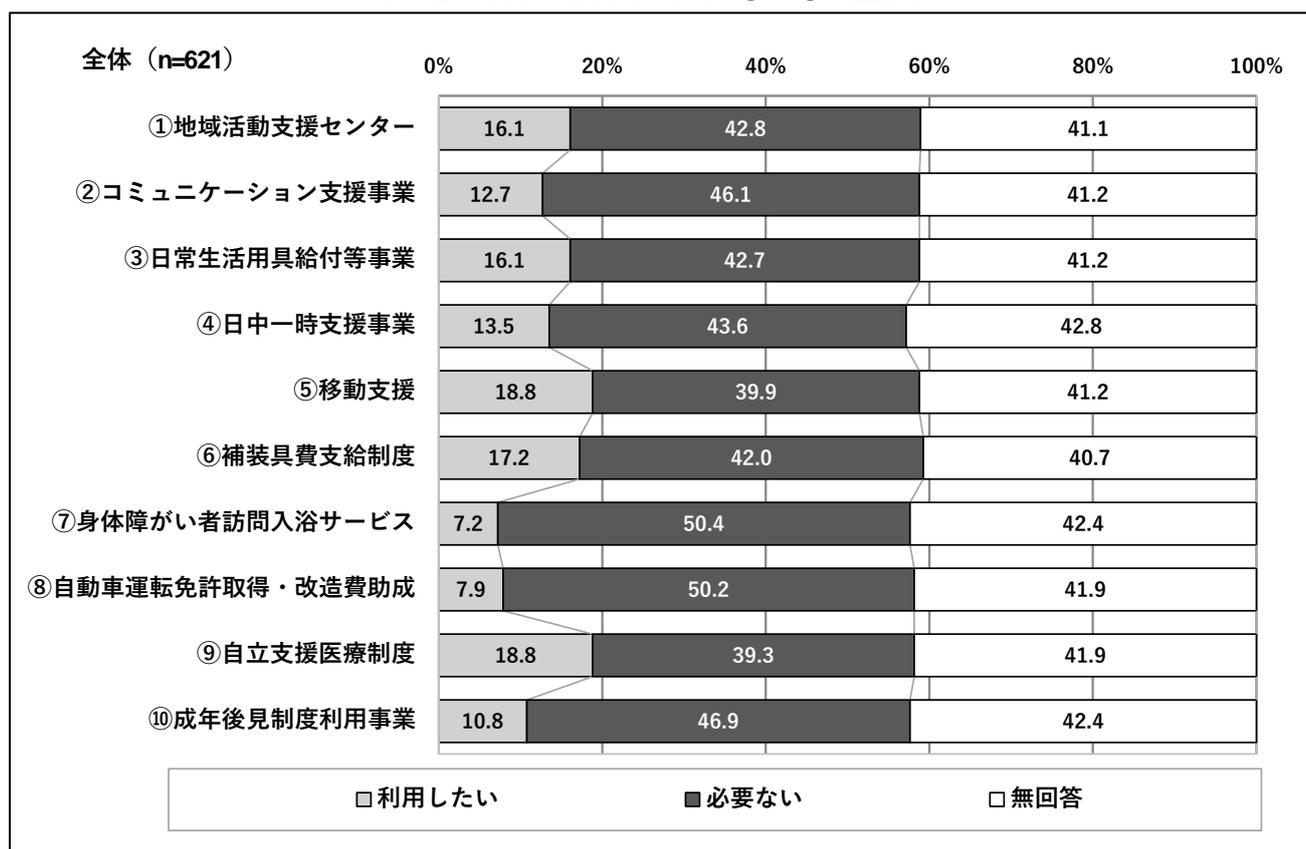


前回調査比較 「相談支援」（10.1%）、「自立支援医療制度」（9.1%）、「補装具費支給制度」（8.4%）。

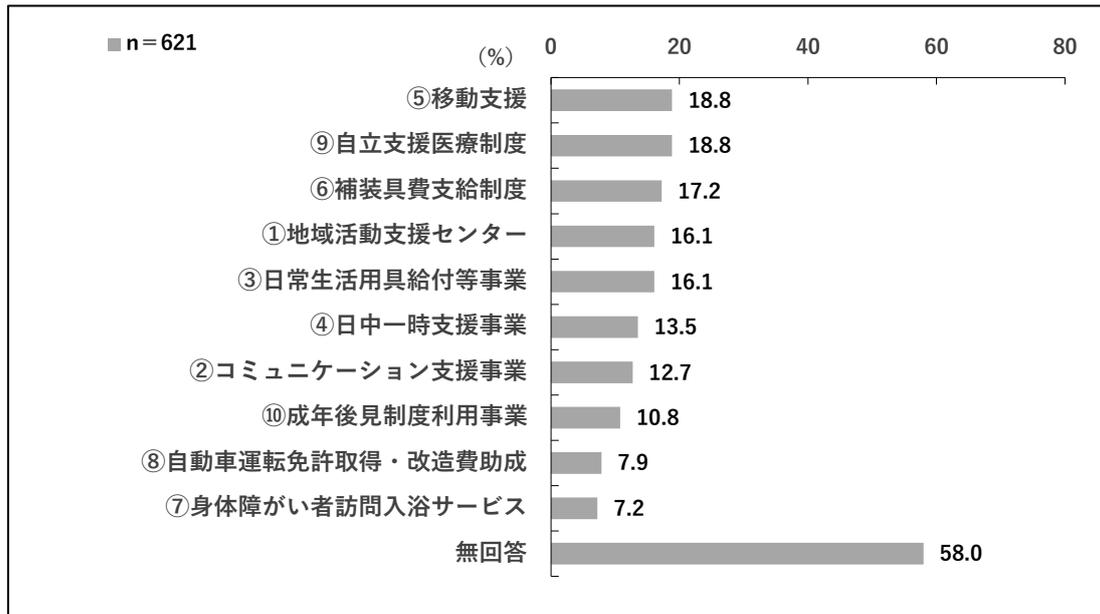
(2) 今後の利用意向

今後、利用したいのは、「移動支援」・「自立支援医療制度」（同率 18.8%）が最も多く、以下「補装具費支給制度」（17.2%）「地域活動支援センター」・「日常生活用具給付等事業」（同率 16.1%）、「日中一時支援事業」（13.5%）などとなっている。

■ サービスの利用意向について ①～⑩（全体） ■



■「利用したい」サービス（降順）■



前回調査比較 「相談支援」（26.2%）、「施設入所支援」・「自立支援医療制度」（同率 16.8%）。

8 相談相手について

(1) 悩みや困ったときの相談先

問 26 あなたは普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

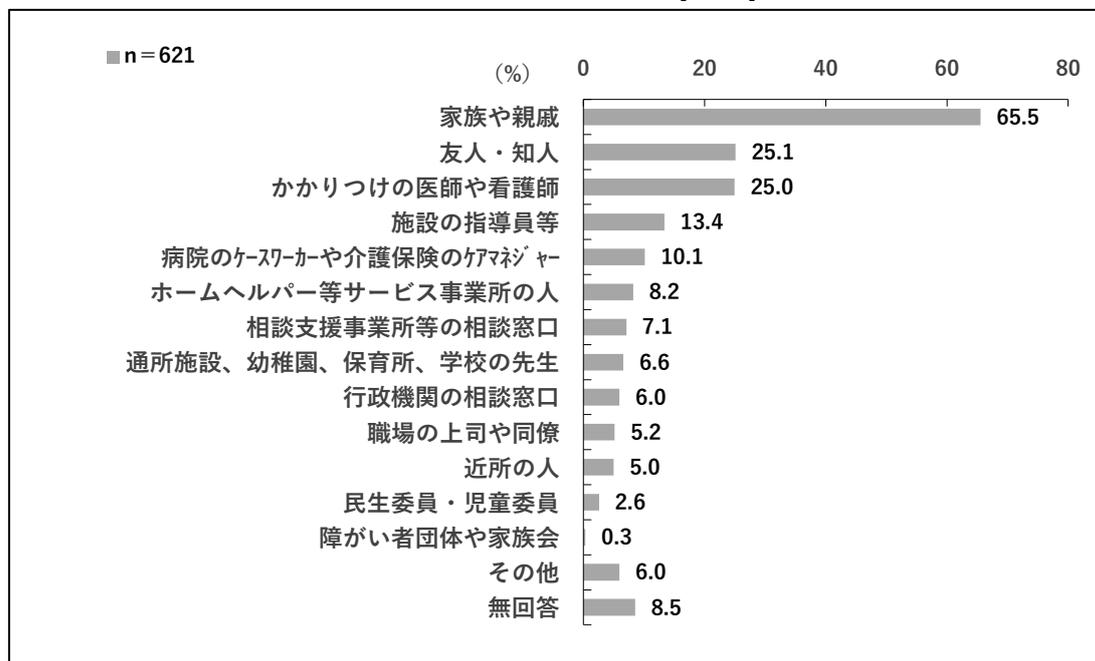
結果概要

「家族や親戚」が他を引き離して第1位。

悩みや困ったときの相談先については、「家族や親戚」(65.5%)が第1位、次いで、「友人・知人」(25.1%)、「かかりつけの医師や看護師」(25.0%)、「施設の指導員等」(13.4%)、「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」(10.1%)、「ホームヘルパー等サービス事業所の人」(8.2%)、「相談支援事業所等の相談窓口」(7.1%)、「通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生」(6.6%)、「行政機関の相談窓口」(6.0%)、「職場の上司や同僚」(5.2%)、「近所の人」(5.0%)、「民生委員・児童委員」(2.6%)、「障がい者団体や家族会」(0.3%)などとなっている。

属性別でも、ほとんどの層で「家族や親戚」が第1位となっているが、所持している手帳・受給者証のいずれも持っていないでは、「友人・知人」が第1位となっている。

■ 悩みや困ったときの相談先(全体) ■



前回調査比較 「家族や親戚」が他を引き離して第1位(68.2%)。

■ 悩みや困ったときの相談先（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問26 悩みや困ったときの相談先							かかりつけの医師や看護師
			家族や親戚	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員等	ホームヘルパー等サービス事業所の人	障がい者団体や家族会	
全体		621 100.0%	407 65.5%	156 25.1%	31 5.0%	32 5.2%	83 13.4%	51 8.2%	2 0.3%	155 25.0%
性別	男性	311 100.0%	193 62.1%	52 16.7%	10 3.2%	17 5.5%	52 16.7%	27 8.7%	1 0.3%	70 22.5%
	女性	307 100.0%	212 69.1%	104 33.9%	21 6.8%	15 4.9%	31 10.1%	24 7.8%	1 0.3%	85 27.7%
年齢	18歳未満	25 100.0%	20 80.0%	11 44.0%	0 0.0%	3 12.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 28.0%
	18～29歳	21 100.0%	16 76.2%	4 19.0%	0 0.0%	5 23.8%	8 38.1%	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%
	30～49歳	74 100.0%	44 59.5%	20 27.0%	3 4.1%	10 13.5%	28 37.8%	4 5.4%	0 0.0%	13 17.6%
	50～64歳	94 100.0%	60 63.8%	29 30.9%	2 2.1%	9 9.6%	14 14.9%	5 5.3%	1 1.1%	35 37.2%
	65歳以上	403 100.0%	266 66.0%	91 22.6%	26 6.5%	5 1.2%	30 7.4%	41 10.2%	0 0.0%	95 23.6%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	305 69.5%	106 24.1%	25 5.7%	8 1.8%	26 5.9%	31 7.1%	1 0.2%	114 26.0%
	療育手帳	126 100.0%	65 51.6%	27 21.4%	1 0.8%	16 12.7%	60 47.6%	13 10.3%	1 0.8%	17 13.5%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	31 66.0%	15 31.9%	1 2.1%	5 10.6%	3 6.4%	2 4.3%	0 0.0%	25 53.2%
	自立支援医療	137 100.0%	79 57.7%	36 26.3%	5 3.6%	11 8.0%	35 25.5%	14 10.2%	1 0.7%	40 29.2%
	いずれも持っていない	14 100.0%	6 42.9%	9 64.3%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%
			合計	問26						
			病院のケースワーカーや介護保険のケアマネ	民生委員・児童委員	通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生	相談支援事業所等の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	無回答	
全体		621 100.0%	63 10.1%	16 2.6%	41 6.6%	44 7.1%	37 6.0%	37 6.0%	53 8.5%	
性別	男性	311 100.0%	30 9.6%	10 3.2%	18 5.8%	20 6.4%	23 7.4%	22 7.1%	28 9.0%	
	女性	307 100.0%	33 10.7%	6 2.0%	22 7.2%	24 7.8%	14 4.6%	15 4.9%	25 8.1%	
年齢	18歳未満	25 100.0%	1 4.0%	0 0.0%	14 56.0%	3 12.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	
	18～29歳	21 100.0%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 14.3%	1 4.8%	
	30～49歳	74 100.0%	3 4.1%	0 0.0%	14 18.9%	12 16.2%	5 6.8%	7 9.5%	3 4.1%	
	50～64歳	94 100.0%	6 6.4%	2 2.1%	6 6.4%	14 14.9%	6 6.4%	8 8.5%	3 3.2%	
	65歳以上	403 100.0%	52 12.9%	14 3.5%	5 1.2%	15 3.7%	25 6.2%	17 4.2%	45 11.2%	
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	53 12.1%	14 3.2%	7 1.6%	19 4.3%	27 6.2%	17 3.9%	46 10.5%	
	療育手帳	126 100.0%	2 1.6%	1 0.8%	33 26.2%	22 17.5%	9 7.1%	12 9.5%	4 3.2%	
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	7 14.9%	2 4.3%	4 8.5%	7 14.9%	4 8.5%	7 14.9%	3 6.4%	
	自立支援医療	137 100.0%	9 6.6%	3 2.2%	20 14.6%	17 12.4%	9 6.6%	17 12.4%	2 1.5%	
	いずれも持っていない	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	

(2) 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先

問 27 あなたは障がいのことや福祉サービス等に関する情報をどこから知ることが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

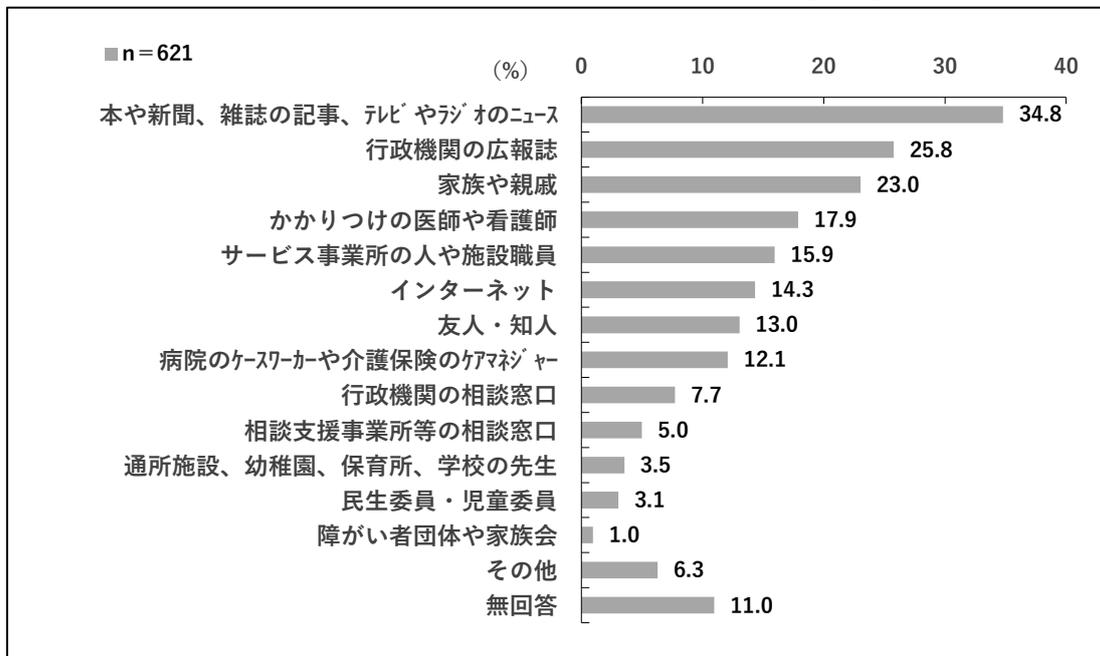
結果概要

「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が第1位。「行政機関の広報誌」、「家族や親戚」などが続く。

障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先については「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」(34.8%)が第1位、次いで「行政機関の広報誌」(25.8%)、「家族や親戚」(23.0%)、「かかりつけの医師や看護師」(17.9%)、「サービス事業所の人や施設職員」(15.9%)、「インターネット」(14.3%)、「友人・知人」(13.0%)、「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」(12.1%)、「行政機関の相談窓口」(7.7%)、「相談支援事業所等の相談窓口」(5.0%)、「通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生」(3.5%)、「民生委員・児童委員」(3.1%)、「障がい者団体や家族会」(1.0%)などとなっている。

所持している手帳・受給者証でも、ほとんどの層で「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が第1位となっているが、療育手帳では「サービス事業所の人や施設職員」が第1位となっている。

■ 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先(全体) ■



前回調査比較 「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」(39.0%)、「行政機関の広報誌」(27.3%)、「家族や親戚」(26.6%)などの順。

■ 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先
(全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け) ■

		合計	問27 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先							
			本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親戚	友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師
全体		621 100.0%	216 34.8%	160 25.8%	89 14.3%	143 23.0%	81 13.0%	99 15.9%	6 1.0%	111 17.9%
性別	男性	311 100.0%	102 32.8%	79 25.4%	41 13.2%	53 17.0%	26 8.4%	56 18.0%	4 1.3%	60 19.3%
	女性	307 100.0%	113 36.8%	81 26.4%	48 15.6%	89 29.0%	55 17.9%	43 14.0%	2 0.7%	51 16.6%
年齢	18歳未満	25 100.0%	5 20.0%	3 12.0%	11 44.0%	5 20.0%	5 20.0%	6 24.0%	1 4.0%	5 20.0%
	18～29歳	21 100.0%	8 38.1%	2 9.5%	11 52.4%	9 42.9%	0 0.0%	8 38.1%	1 4.8%	3 14.3%
	30～49歳	74 100.0%	18 24.3%	9 12.2%	21 28.4%	14 18.9%	5 6.8%	20 27.0%	0 0.0%	10 13.5%
	50～64歳	94 100.0%	36 38.3%	33 35.1%	23 24.5%	15 16.0%	15 16.0%	16 17.0%	1 1.1%	17 18.1%
	65歳以上	403 100.0%	148 36.7%	113 28.0%	23 5.7%	100 24.8%	56 13.9%	49 12.2%	3 0.7%	76 18.9%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	166 37.8%	136 31.0%	53 12.1%	105 23.9%	60 13.7%	45 10.3%	4 0.9%	86 19.6%
	療育手帳	126 100.0%	30 23.8%	12 9.5%	24 19.0%	26 20.6%	10 7.9%	53 42.1%	2 1.6%	10 7.9%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	19 40.4%	12 25.5%	17 36.2%	13 27.7%	8 17.0%	6 12.8%	0 0.0%	13 27.7%
	自立支援医療	137 100.0%	43 31.4%	30 21.9%	26 19.0%	33 24.1%	18 13.1%	34 24.8%	1 0.7%	25 18.2%
	いずれも持っていない	14 100.0%	5 35.7%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	4 28.6%	2 14.3%	0 0.0%	3 21.4%
			合計	問27 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先						
			病院のケースワーカーや介護保険のケアマネ	民生委員・児童委員	通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生	相談支援事業所等の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	無回答	
全体		621 100.0%	75 12.1%	19 3.1%	22 3.5%	31 5.0%	48 7.7%	39 6.3%	68 11.0%	
性別	男性	311 100.0%	33 10.6%	10 3.2%	13 4.2%	17 5.5%	28 9.0%	17 5.5%	31 10.0%	
	女性	307 100.0%	42 13.7%	9 2.9%	8 2.6%	14 4.6%	20 6.5%	22 7.2%	37 12.1%	
年齢	18歳未満	25 100.0%	1 4.0%	0 0.0%	8 32.0%	4 16.0%	3 12.0%	2 8.0%	0 0.0%	
	18～29歳	21 100.0%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	
	30～49歳	74 100.0%	4 5.4%	0 0.0%	7 9.5%	6 8.1%	5 6.8%	13 17.6%	6 8.1%	
	50～64歳	94 100.0%	8 8.5%	1 1.1%	2 2.1%	8 8.5%	5 5.3%	6 6.4%	6 6.4%	
	65歳以上	403 100.0%	61 15.1%	18 4.5%	2 0.5%	13 3.2%	35 8.7%	15 3.7%	55 13.6%	
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	61 13.9%	16 3.6%	3 0.7%	14 3.2%	40 9.1%	13 3.0%	53 12.1%	
	療育手帳	126 100.0%	3 2.4%	1 0.8%	16 12.7%	16 12.7%	9 7.1%	18 14.3%	6 4.8%	
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	7 14.9%	1 2.1%	3 6.4%	5 10.6%	3 6.4%	3 6.4%	4 8.5%	
	自立支援医療	137 100.0%	9 6.6%	3 2.2%	8 5.8%	14 10.2%	10 7.3%	21 15.3%	9 6.6%	
	いずれも持っていない	14 100.0%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	

9 権利擁護について

(1) 共生社会について知っているか

問 28 あなたは、障がいのある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。(1つに○)

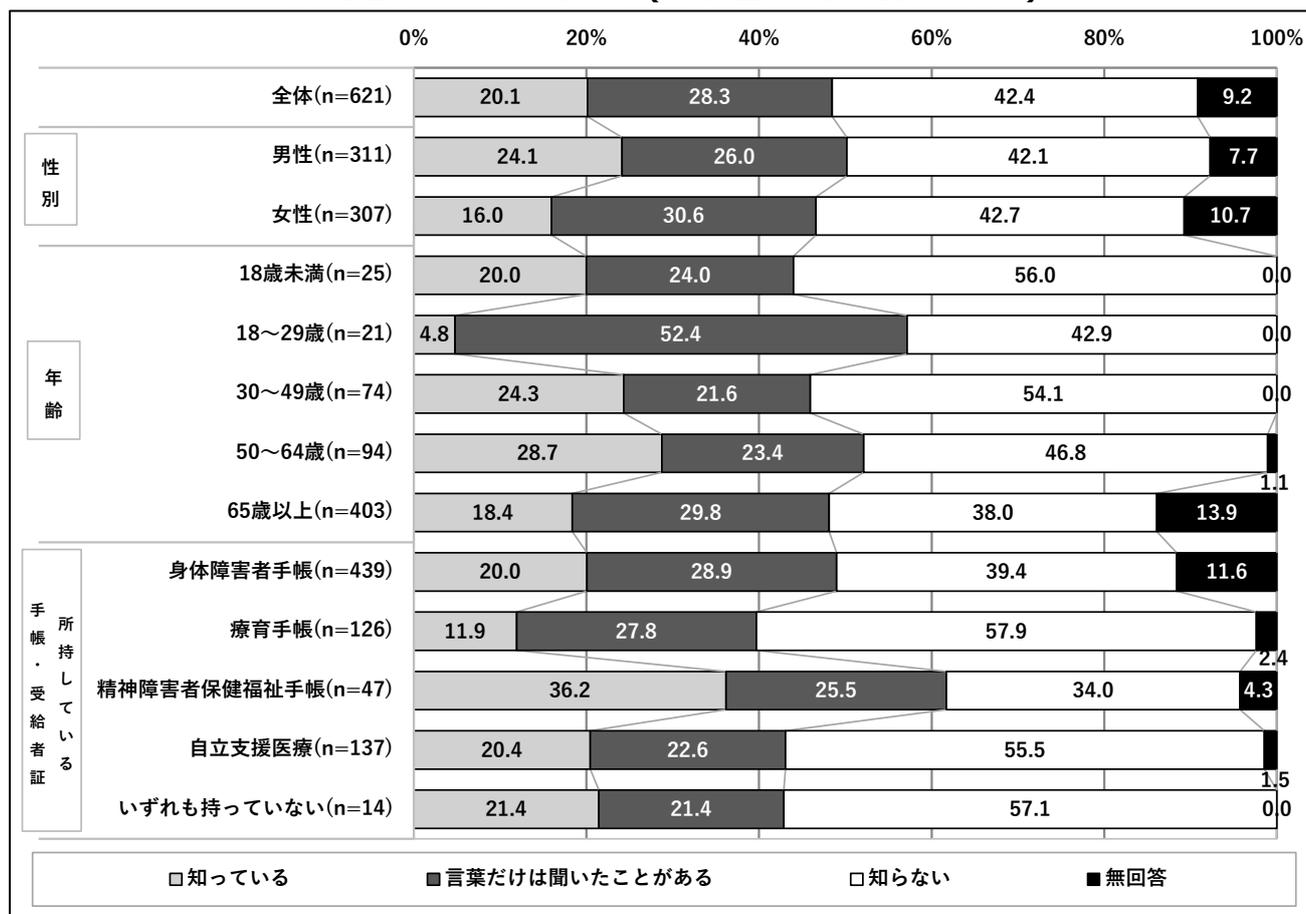
結果概要

「知らない」が4割強を占める。

共生社会について知っているかについては、「知らない」が42.4%、「言葉だけは聞いたことがある」が28.3%、「知っている」が20.1%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「知っている」が4割弱となっており、他の属性よりも認知度が高いことがうかがえる。

■ 共生社会について知っているか(全体・性別・年齢・障がい種別) ■



(2) 市において共生社会が普及していると思うか

問 29 富良野市では、「共生社会」の考え方に基づいて、障がいのある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めています。あなたは、この「障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方が普及していると思いますか。(1つに○)

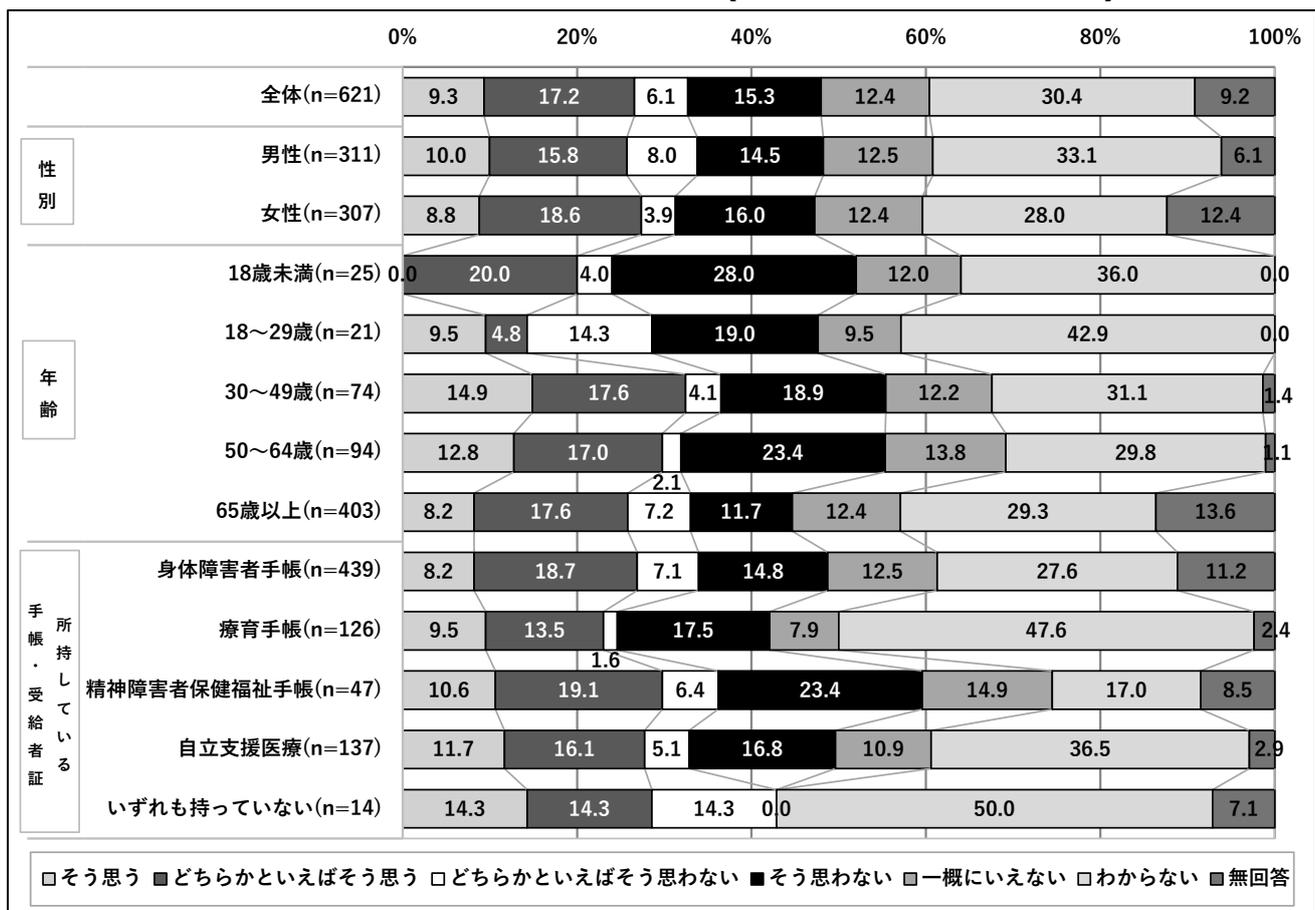
結果概要

“そう思う”が3割弱、一方、“そう思わない”が2割強を占める。

市において共生社会が普及していると思うかについては、「わからない」(30.4%)が最も多く、以下「どちらかといえばそう思う」(17.2%)、「そう思わない」(15.3%)、「一概にいけない」(12.4%)、「そう思う」(9.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(6.1%)となっている。

“そう思う”(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は26.5%、“そう思わない”(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は21.4%となっている。

■市において共生社会が普及していると思うか(全体・性別・年齢・障がい種別)■



(3) 差別を受けたり嫌な思いをしたりすること

問 30 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをすることがありますか。(1つに○)

結果概要

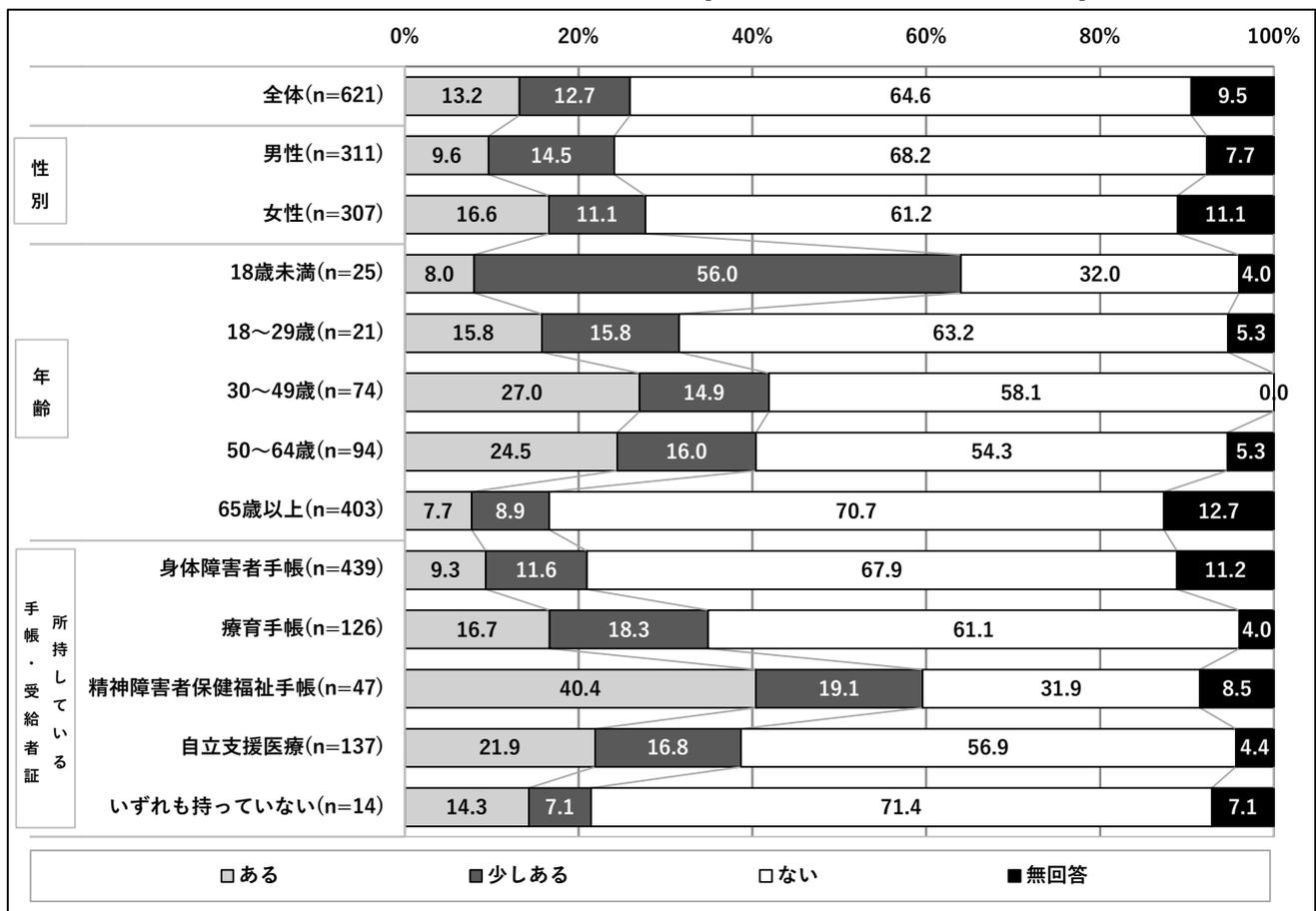
「ない」が6割台半ばを占める。

差別を受けたり嫌な思いをしたりすることについては、「ない」が64.6%、「ある」が13.2%、「少しある」が12.7%となっている。

なお、「ある」と「少しある」をあわせた“ある”の割合は25.9%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、“ある”の割合は精神障害者保健福祉手帳で最も高く、身体障害者手帳で最も低くなっている。

■ 差別を受けたり嫌な思いをしたりすること(全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「ない」が6割台半ば(65.2%)。

(4) 差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所

※問 30-1 から問 30-3 は、問 30 で「1. ある」「2. 少しある」と答えた方にお聞きます。
問 30-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(○は3つまで)

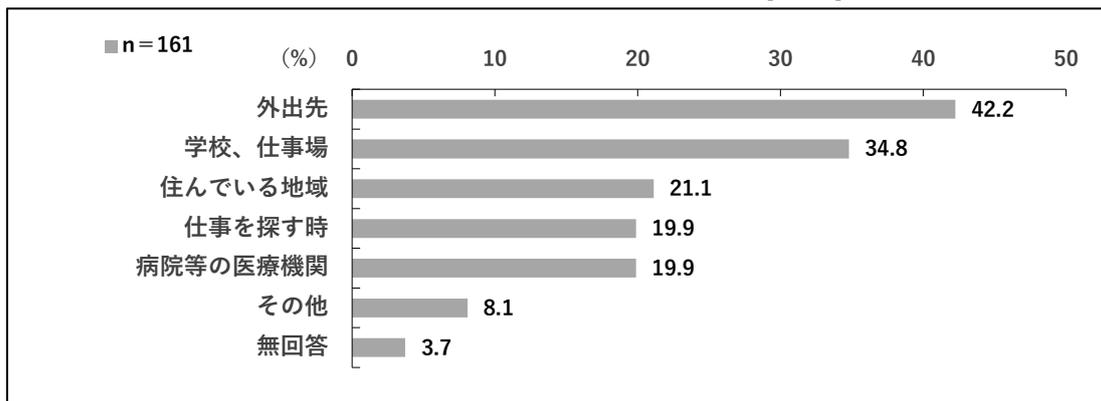
結果概要

「外出先」が第1位。「学校、仕事場」、「住んでいる地域」などが続く。

問 30 で「1. ある」「2. 少しある」と答えた人(161人・全体の25.9%)に、差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所をたずねたところ、「外出先」(42.2%)が第1位、次いで「学校、仕事場」(34.8%)、「住んでいる地域」(21.1%)、「仕事を探す時」(19.9%)、「病院等の医療機関」(19.9%)となっている。

所持している手帳・受給者証で見ると、精神障害者保健福祉手帳では全体で第4位の「仕事を探す時」が第1位(「学校、仕事場」と同率)となっている。

■ 差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所(全体) ■



前回調査比較 「外出先」(38.7%)、「学校、仕事場」(35.5%)、「住んでいる地域」(25.8%)などの順。

■ 差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所

(全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け) ■

		合計	問30-1 差別を受けたり嫌な思いをした場所							無回答	非該当
			学校、仕事場	仕事を探 す時	外出先	病院等の 医療機関	住んでい る地域	その他			
全体		161 100.0%	56 34.8%	32 19.9%	68 42.2%	32 19.9%	34 21.1%	13 8.1%	6 3.7%	460	
性別	男性	75 100.0%	25 33.3%	14 18.7%	29 38.7%	8 10.7%	16 21.3%	4 5.3%	2 2.7%	236	
	女性	85 100.0%	31 36.5%	18 21.2%	38 44.7%	24 28.2%	17 20.0%	9 10.6%	4 4.7%	222	
年齢	18歳未満	16 100.0%	11 68.8%	0 0.0%	7 43.8%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	9	
	18～29歳	7 100.0%	4 57.1%	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14	
	30～49歳	31 100.0%	17 54.8%	11 35.5%	9 29.0%	5 16.1%	9 29.0%	5 16.1%	0 0.0%	43	
	50～64歳	38 100.0%	13 34.2%	12 31.6%	16 42.1%	11 28.9%	7 18.4%	3 7.9%	2 5.3%	56	
	65歳以上	67 100.0%	11 16.4%	6 9.0%	32 47.8%	14 20.9%	17 25.4%	4 6.0%	3 4.5%	336	
所持している 手帳・受給者 証	身体障害者手帳	92 100.0%	19 20.7%	14 15.2%	45 48.9%	19 20.7%	21 22.8%	6 6.5%	6 6.5%	347	
	療育手帳	44 100.0%	25 56.8%	8 18.2%	16 36.4%	5 11.4%	4 9.1%	2 4.5%	1 2.3%	82	
	精神障害者保健福 祉手帳	28 100.0%	12 42.9%	12 42.9%	10 35.7%	9 32.1%	8 28.6%	4 14.3%	0 0.0%	19	
	自立支援医療	53 100.0%	23 43.4%	17 32.1%	18 34.0%	13 24.5%	12 22.6%	4 7.5%	0 0.0%	84	
	いずれも持って いない	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	11	

(5) どのような理由で差別や嫌な思いをしたか

※問 30-1 から問 30-3 は、問 30 で「1. ある」「2. 少しある」と答えた方にお聞きます。
問 30-2 どのような理由で差別や嫌な思いをしましたか。(○は3つまで)

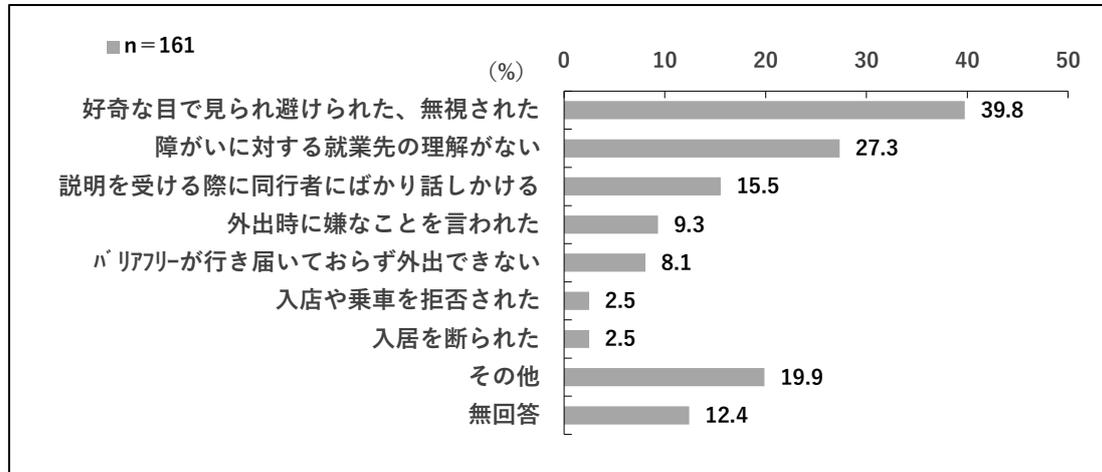
結果概要

「好奇心で見られ避けられた、無視された」が第1位。「障がいに対する就業先の理解がない」、「説明を受ける際に同行者にばかり話しかける」などが続く。

問 30 で「1. ある」「2. 少しある」と答えた人に、どのような理由で差別や嫌な思いをしたかたずねたところ「好奇心で見られ避けられた、無視された」(39.8%) が第1位、次いで、「障がいに対する就業先の理解がない」(27.3%)、「説明を受ける際に同行者にばかり話しかける」(15.5%)、「外出時に嫌なことを言われた」(9.3%)、「バリアフリーが行き届いておらず外出できない」(8.1%)、「入店や乗車を拒否された」(2.5%)、「入居を断られた」(2.5%) などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳、療育手帳、自立支援医療では「好奇心で見られ避けられた、無視された」、精神障害者保健福祉手帳、いずれも持っていないでは「障がいに対する就業先の理解がない」がそれぞれ第1位となっている。

■ どのような理由で差別や嫌な思いをしたか(全体) ■



前回調査比較 「好奇心で見られ避けられた、無視された」(34.2%)、「障がいに対する就業先の理解がない」(26.5%)、「外出時に嫌なことを言われた」(14.2%) などの順。

■ どのような理由で差別や嫌な思いをしたか

(全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け) ■

		合計	問30-2 どのような理由で差別や嫌な思いをしたか							
			入店や乗車を拒否された	入居を断られた	外出時に嫌なことを言われた	障がいに対する就業先の理解がない	説明を受ける際に同行者にばかり話しかける	バリアフリーが行き届いておらず外出できない	好奇心で見られ避けられた、無視された	その他
全体		161 100.0%	4 2.5%	4 2.5%	15 9.3%	44 27.3%	25 15.5%	13 8.1%	64 39.8%	32 19.9%
性別	男性	75 100.0%	1 1.3%	2 2.7%	5 6.7%	18 24.0%	12 16.0%	6 8.0%	28 37.3%	16 21.3%
	女性	85 100.0%	3 3.5%	2 2.4%	10 11.8%	26 30.6%	13 15.3%	7 8.2%	36 42.4%	16 18.8%
年齢	18歳未満	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	11 68.8%	3 18.8%
	18～29歳	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%
	30～49歳	31 100.0%	0 0.0%	3 9.7%	5 16.1%	10 32.3%	3 9.7%	1 3.2%	17 54.8%	7 22.6%
	50～64歳	38 100.0%	2 5.3%	0 0.0%	2 5.3%	20 52.6%	7 18.4%	3 7.9%	13 34.2%	9 23.7%
	65歳以上	67 100.0%	2 3.0%	1 1.5%	6 9.0%	12 17.9%	10 14.9%	9 13.4%	17 25.4%	13 19.4%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	92 100.0%	3 3.3%	1 1.1%	7 7.6%	19 20.7%	19 20.7%	12 13.0%	26 28.3%	20 21.7%
	療育手帳	44 100.0%	0 0.0%	1 2.3%	5 11.4%	7 15.9%	6 13.6%	0 0.0%	28 63.6%	6 13.6%
	精神障害者保健福祉手帳	28 100.0%	1 3.6%	2 7.1%	3 10.7%	16 57.1%	4 14.3%	0 0.0%	14 50.0%	6 21.4%
	自立支援医療	53 100.0%	1 1.9%	1 1.9%	6 11.3%	18 34.0%	7 13.2%	2 3.8%	26 49.1%	12 22.6%
	いずれも持っていない	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	3 33.3%	1 33.3%	1 66.7%	2 0.0%

		合計	問30-2	
			無回答	非該当
全体		161 100.0%	20 12.4%	460
性別	男性	75 100.0%	10 13.3%	236
	女性	85 100.0%	9 10.6%	222
年齢	18歳未満	16 100.0%	2 12.5%	9
	18～29歳	7 100.0%	0 0.0%	14
	30～49歳	31 100.0%	2 6.5%	43
	50～64歳	38 100.0%	3 7.9%	56
	65歳以上	67 100.0%	12 17.9%	336
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	92 100.0%	12 13.0%	347
	療育手帳	44 100.0%	5 11.4%	82
	精神障害者保健福祉手帳	28 100.0%	2 7.1%	19
	自立支援医療	53 100.0%	4 7.5%	84
	いずれも持っていない	3 100.0%	0 0.0%	11

(6) 障害者差別解消法について

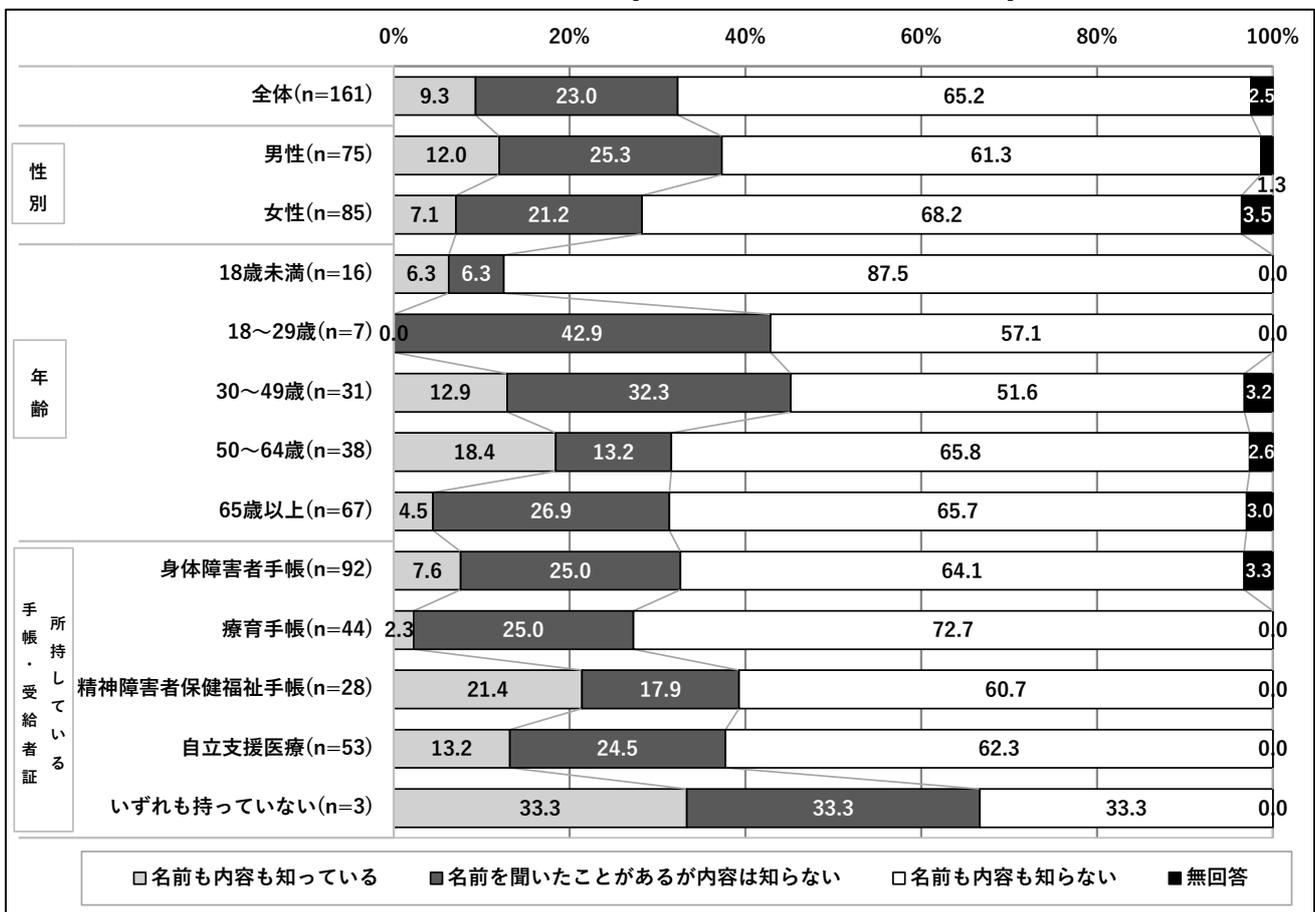
問 30-3 あなたは、障害者差別解消法について知っていますか。(1つに○)

結果概要

「名前も内容も知らない」が6割台相半ばを占める。

問 30 で「1. ある」「2. 少しある」と答えた人に、障害者差別解消法を知っているかたずねたところ、「名前も内容も知らない」が65.2%、「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が23.0%、「名前も内容も知っている」が9.3%となっている。

■ 障害者差別解消法について(全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「名前も内容も知らない」が6割弱 (58.1%)。

(7) 成年後見制度について

問 31 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(1つに○)

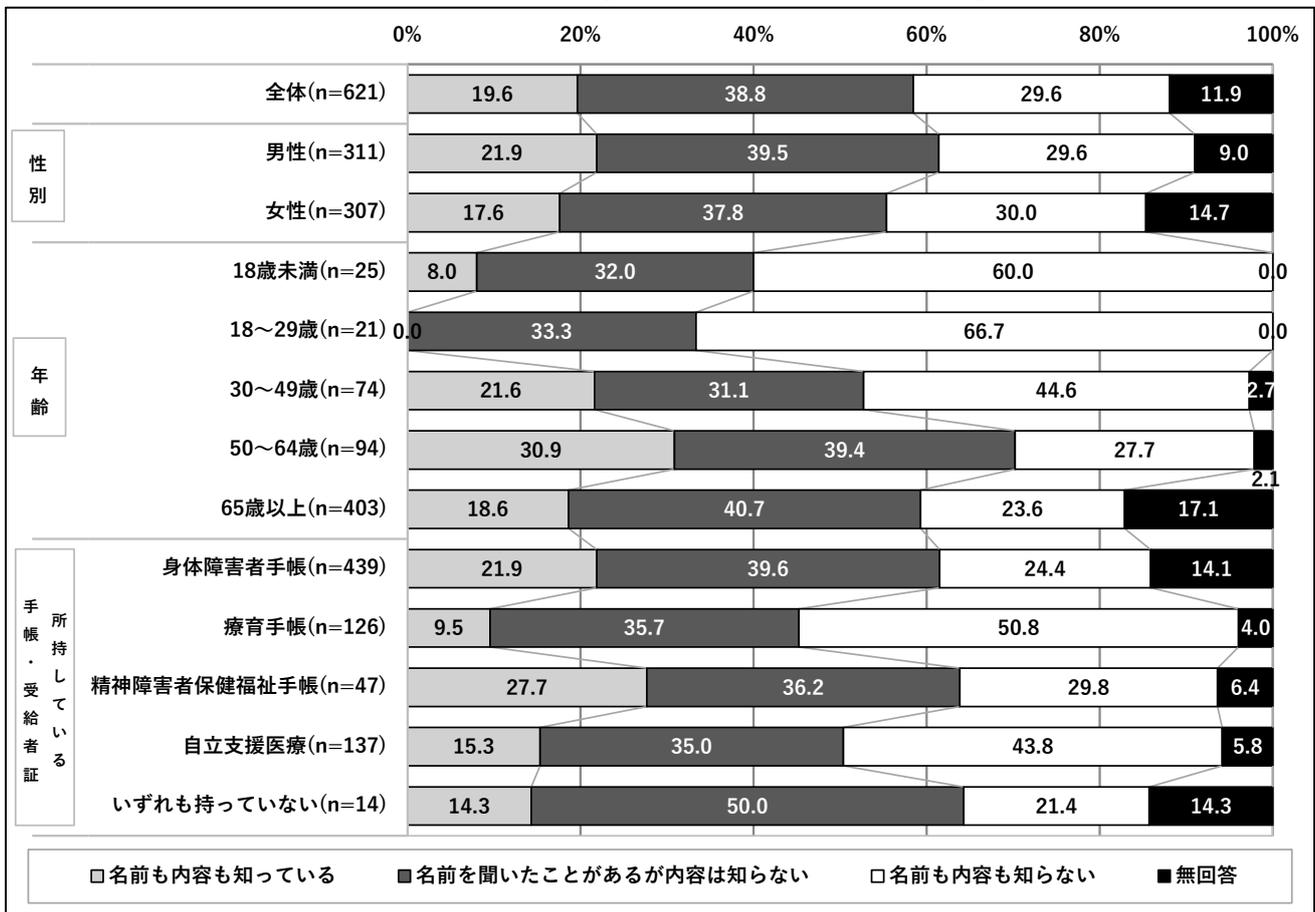
結果概要

「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が4割弱、「名前も内容も知らない」が3割弱を占める。

成年後見制度については、「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が38.8%、「名前も内容も知らない」が29.6%、「名前も内容も知っている」が9.6%となっている。

年齢で見ると、総じて高い年齢層ほど認知度が高い傾向がみられる。

■ 成年後見制度について(全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が3割強(31.8%)、「名前も内容も知らない」が3割弱(28.6%)。

10 安心・安全について

(1) 火事や地震等の緊急時に一人で避難できるか

問 32 あなたは、火事や地震等の緊急時に、一人で避難することができますか。(1つに○)

結果概要

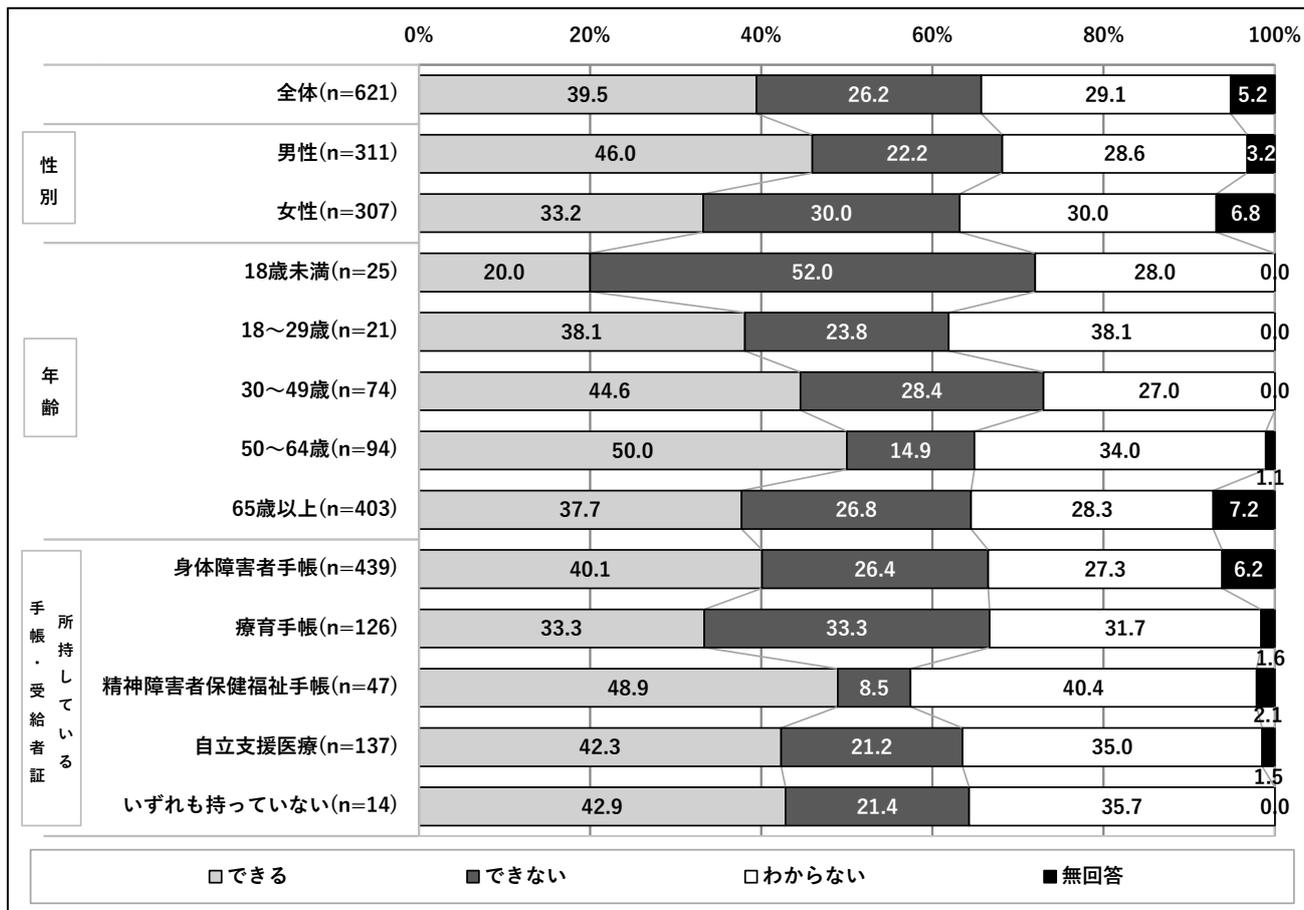
「できる」が約4割、一方、「できない」が3割弱を占める。

火事や地震等の緊急時に一人で避難できるかについては、「できる」が39.5%、「できない」が26.2%となっている。なお、「わからない」は29.1%となっている。

性別でみると、「できる」の割合は、女性よりも男性の方が約13ポイント高くなっている。

所持している手帳・受給者証で「できる」の割合をみると、精神障害者保健福祉手帳で最も高く、療育手帳で最も低くなっている。

■ 火事や地震等の緊急時に一人で避難できるか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「できる」が約4割(40.3%)、「できない」が2割台半ば(25.0%)。

(2) ハザードマップや避難場所の確認をしているか

問 33 あなたは、ハザードマップや避難場所の確認をしていますか。(1つに○)

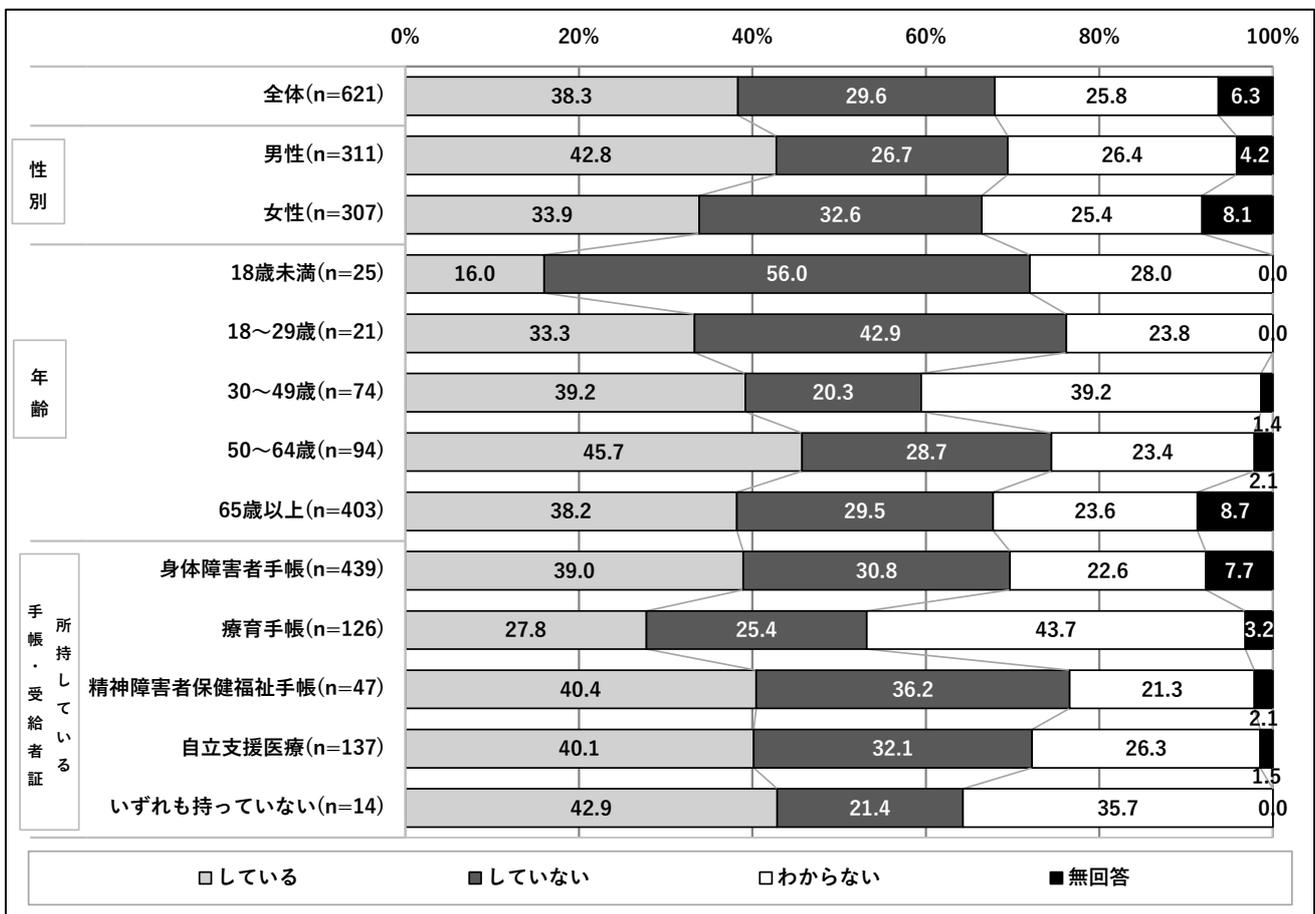
結果概要

「している」が4割弱、一方、「していない」が約3割を占める。

ハザードマップや避難場所の確認をしているかについては、「している」が38.3%、「していない」が29.6%、「わからない」が25.8%となっている。

性別でみると、「している」の割合は女性より男性の方が約9ポイント高くなっている。

■ ハザードマップや避難場所の確認をしているか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「している」が約4割(39.1%)、「していない」が3割弱(26.8%)。

(3) 家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるか

問 34 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(1つに○)

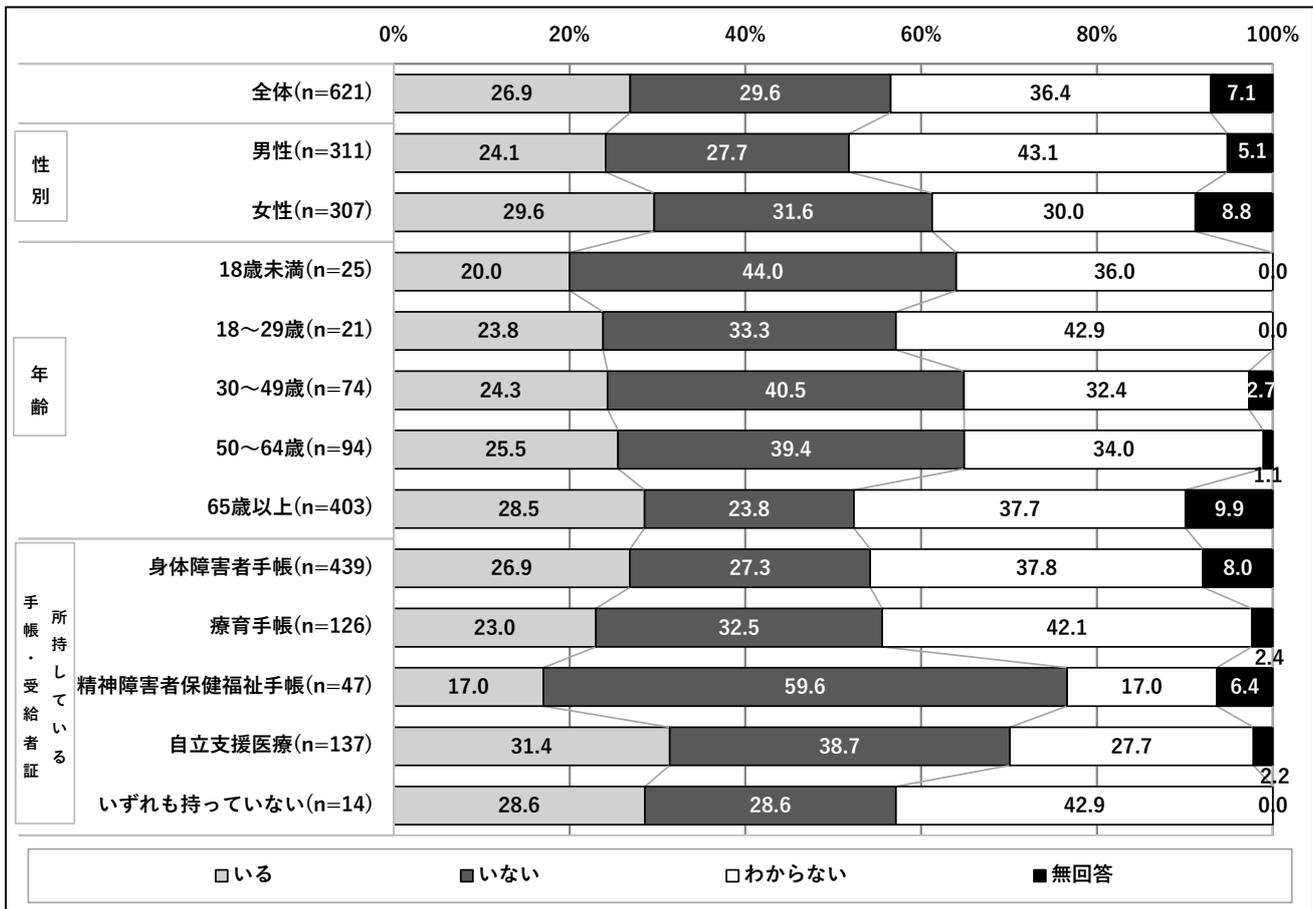
結果概要

「いる」が3割弱、一方、「いない」が約3割を占める。

家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるかについては、「わからない」が36.4%、「いない」が29.6%、「いる」が26.9%となっている。

所持している手帳・受給者証で「いる」の割合をみると、自立支援医療で最も高く、精神障害者保健福祉手帳で最も低くなっている。

■ 家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるか (全体・性別・年齢・障がい種別) ■



前回調査比較 「いる」が3割強 (31.8%)、「いない」が2割台半ば (25.7%)。

(4) 火災や地震等の災害時に困ること

問 35 火災や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

結果概要

「避難場所の設備や生活環境が不安」が第1位。「投薬や治療が受けられない」、「安全なところまで迅速に避難できない」などが続く。

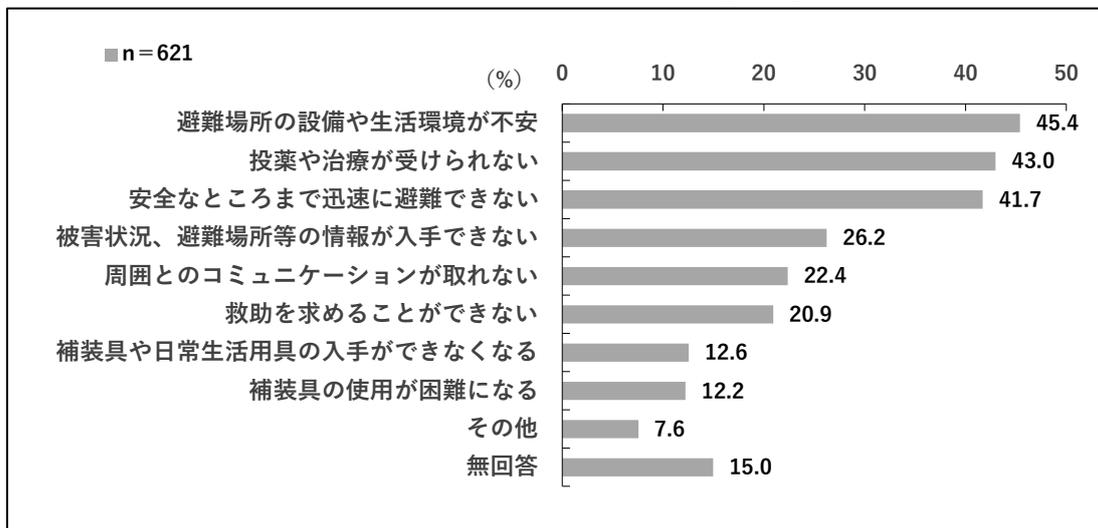
火災や地震等の災害時に困ることは、「避難場所の設備や生活環境が不安」(45.4%)が第1位、次いで「投薬や治療が受けられない」(43.0%)、「安全なところまで迅速に避難できない」(41.7%)、「被害状況、避難場所等の情報が入手できない」(26.2%)、「周囲とのコミュニケーションが取れない」(22.4%)、「救助を求めることができない」(20.9%)、「補装具や日常生活用具の入手ができなくなる」(12.6%)、「補装具の使用が困難になる」(12.2%)となっている。

性別でみると、男性では「投薬や治療が受けられない」、女性では「避難場所の設備や生活環境が不安」が第1位となっている。

年齢でみると、18～49歳では、「避難場所の設備や生活環境が不安」、50歳以上では、「投薬や治療が受けられない」が第1位となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では、「投薬や治療が受けられない」が第1位となっている。

■ 火災や地震等の災害時に困ること(全体) ■



前回調査比較 「避難場所の設備や生活環境が不安」(41.1%)、「投薬や治療が受けられない」(37.0%)、「安全なところまで迅速に避難できない」(36.7%)などの順。

■ 火災や地震等の災害時に困ること（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問35 火災や地震等の災害時に困ること							
			投薬や治療 が受けられ ない	補装具の使 用が困難に なる	補装具や日 常生活用具 の入手がで きなくなる	救助を求め ることがで きない	安全なとこ ろまで迅速 に避難でき ない	被害状況、 避難場所等 の情報が入 手できない	周囲とのコ ミュニケー ションが取 れない	避難場所の 設備や生活 環境が不安
全体		621 100.0%	267 43.0%	76 12.2%	78 12.6%	130 20.9%	259 41.7%	163 26.2%	139 22.4%	282 45.4%
性別	男性	311 100.0%	138 44.4%	46 14.8%	48 15.4%	67 21.5%	126 40.5%	80 25.7%	76 24.4%	132 42.4%
	女性	307 100.0%	129 42.0%	30 9.8%	30 9.8%	62 20.2%	131 42.7%	82 26.7%	62 20.2%	148 48.2%
年齢	18歳未満	25 100.0%	4 16.0%	2 8.0%	2 8.0%	9 36.0%	16 64.0%	9 36.0%	12 48.0%	16 64.0%
	18～29歳	21 100.0%	5 23.8%	1 4.8%	1 4.8%	7 33.3%	6 28.6%	6 28.6%	10 47.6%	11 52.4%
	30～49歳	74 100.0%	33 44.6%	6 8.1%	4 5.4%	21 28.4%	29 39.2%	24 32.4%	31 41.9%	40 54.1%
	50～64歳	94 100.0%	50 53.2%	11 11.7%	11 11.7%	18 19.1%	33 35.1%	25 26.6%	22 23.4%	49 52.1%
	65歳以上	403 100.0%	175 43.4%	56 13.9%	60 14.9%	74 18.4%	174 43.2%	98 24.3%	63 15.6%	165 40.9%
所持している 手帳・受給者 証	身体障害者手帳	439 100.0%	202 46.0%	72 16.4%	74 16.9%	85 19.4%	194 44.2%	116 26.4%	76 17.3%	194 44.2%
	療育手帳	126 100.0%	35 27.8%	4 3.2%	5 4.0%	40 31.7%	52 41.3%	33 26.2%	50 39.7%	68 54.0%
	精神障害者保健福 祉手帳	47 100.0%	30 63.8%	1 2.1%	2 4.3%	9 19.1%	14 29.8%	16 34.0%	18 38.3%	25 53.2%
	自立支援医療	137 100.0%	63 46.0%	11 8.0%	13 9.5%	35 25.5%	49 35.8%	40 29.2%	48 35.0%	64 46.7%
	いずれも持って いない	14 100.0%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	6 42.9%	3 21.4%	2 14.3%	6 42.9%
			合計	問35 その他		無回答				
全体		621 100.0%	47 7.6%	93 15.0%						
性別	男性	311 100.0%	24 7.7%	40 12.9%						
	女性	307 100.0%	23 7.5%	52 16.9%						
年齢	18歳未満	25 100.0%	2 8.0%	1 4.0%						
	18～29歳	21 100.0%	2 9.5%	2 9.5%						
	30～49歳	74 100.0%	13 17.6%	7 9.5%						
	50～64歳	94 100.0%	9 9.6%	11 11.7%						
	65歳以上	403 100.0%	21 5.2%	69 17.1%						
所持している 手帳・受給者 証	身体障害者手帳	439 100.0%	22 5.0%	73 16.6%						
	療育手帳	126 100.0%	21 16.7%	12 9.5%						
	精神障害者保健福 祉手帳	47 100.0%	8 17.0%	1 2.1%						
	自立支援医療	137 100.0%	23 16.8%	14 10.2%						
	いずれも持って いない	14 100.0%	2 14.3%	1 7.1%						

11 市への要望について

(1) 富良野市は生活しやすいか

問 36 富良野市は生活しやすいですか。(1つに○)

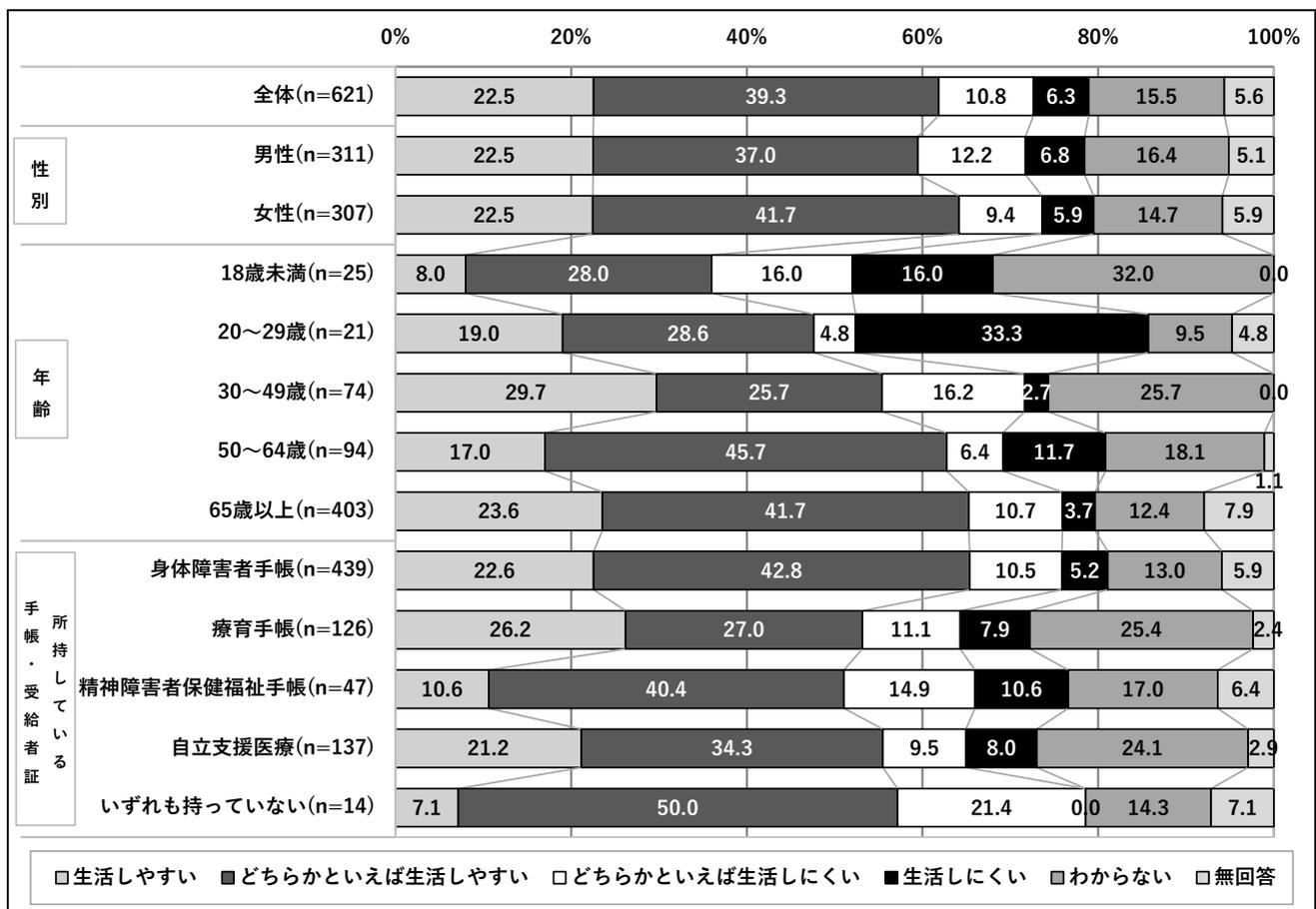
結果概要

“生活しやすい”が6割強、一方、“生活しにくい”が2割弱を占める。

富良野市は生活しやすいかたずねたところ、「どちらかといえば生活しやすい」が39.3%で最も多く、これに「生活しやすい」(22.5%)をあわせた“生活しやすい”が61.8%、一方“生活しにくい”（「どちらかといえば生活しにくい」(10.8%)と「生活しにくい」(6.3%)の合計は17.1%となっている。なお、「わからない」は15.5%となっている。

年齢で見ると、総じて高い年齢層ほど“生活しやすい”の割合が高い傾向がみられる。

■ 富良野市は生活しやすいか（全体・性別・年齢・障がい種別） ■



前回調査比較 “生活しやすい”が6割強（63.8%）、“生活しにくい”が約2割（19.1%）。

(2) 今後市にしてほしいと思うこと

問 37 今後、富良野市にしてほしいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

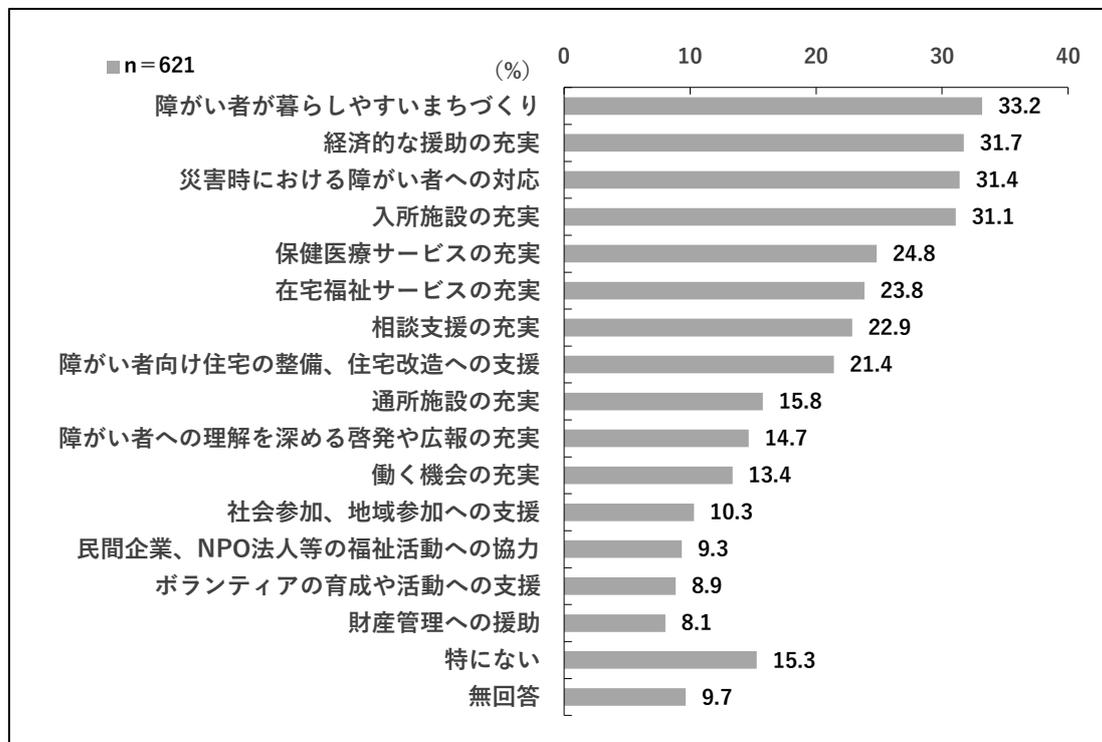
結果概要

「障がい者が暮らしやすいまちづくり」が第1位。「経済的な援助の充実」、「災害時における障がい者への対応」などが続く。

今後市にしてほしいと思うことは、「障がい者が暮らしやすいまちづくり」(33.2%)が第1位、次いで「経済的な援助の充実」(31.7%)、「災害時における障がい者への対応」(31.4%)、「入所施設の充実」(31.1%)、「保健医療サービスの充実」(24.8%)、「在宅福祉サービスの充実」(23.8%)、「相談支援の充実」(22.9%)、「障がい者向け住宅の整備、住宅改造への支援」(21.4%)、「通所施設の充実」(15.8%)、「障がい者への理解を深める啓発や広報の充実」(14.7%)、「働く機会の充実」(13.4%)、「社会参加、地域参加への支援」(10.3%)、「民間企業、NPO法人等の福祉活動への協力」(9.3%)、「ボランティアの育成や活動への支援」(8.9%)、「財産管理への援助」(8.1%)などとなっている。なお、「特にない」は15.3%となっている。

所持している手帳・受給者証でも、ほとんどの層で「障がい者が暮らしやすいまちづくり」が第1位となっているが、身体障害者手帳では「入所施設の充実」が第1位となっている。

■ 今後市にしてほしいと思うこと(全体) ■



前回調査比較 「障がい者が暮らしやすいまちづくり」(34.4%)、「災害時における障がい者への対応」(27.8%)、「保健医療サービスの充実」(26.5%)などの順。

■ 今後市にしてほしいと思うこと（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問37 今後市にしてほしいと思うこと								
			在宅福祉サービスの充実	入所施設の充実	通所施設の充実	保健医療サービスの充実	障がい者向け住宅の整備、住宅改修への支援	障がい者が暮らしやすいまちづくり	働く機会の充実	社会参加、地域参加への支援	相談支援の充実
全体		621 100.0%	148 23.8%	193 31.1%	98 15.8%	154 24.8%	133 21.4%	206 33.2%	83 13.4%	64 10.3%	142 22.9%
性別	男性	311 100.0%	63 20.3%	80 25.7%	49 15.8%	65 20.9%	66 21.2%	98 31.5%	44 14.1%	30 9.6%	66 21.2%
	女性	307 100.0%	85 27.7%	112 36.5%	48 15.6%	89 29.0%	67 21.8%	107 34.9%	39 12.7%	34 11.1%	75 24.4%
年齢	18歳未満	25 100.0%	5 20.0%	8 32.0%	12 48.0%	9 36.0%	8 32.0%	8 32.0%	7 28.0%	5 20.0%	5 20.0%
	18～29歳	21 100.0%	4 19.0%	6 28.6%	3 14.3%	4 19.0%	6 28.6%	8 38.1%	7 33.3%	6 28.6%	8 38.1%
	30～49歳	74 100.0%	9 12.2%	15 20.3%	10 13.5%	9 12.2%	19 25.7%	35 47.3%	20 27.0%	14 18.9%	17 23.0%
	50～64歳	94 100.0%	21 22.3%	28 29.8%	23 24.5%	31 33.0%	31 33.0%	48 51.1%	28 29.8%	14 14.9%	30 31.9%
	65歳以上	403 100.0%	109 27.0%	135 33.5%	49 12.2%	101 25.1%	69 17.1%	106 26.3%	21 5.2%	25 6.2%	81 20.1%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	119 27.1%	154 35.1%	58 13.2%	109 24.8%	94 21.4%	126 28.7%	41 9.3%	33 7.5%	90 20.5%
	療育手帳	126 100.0%	18 14.3%	33 26.2%	25 19.8%	25 19.8%	31 24.6%	53 42.1%	22 17.5%	19 15.1%	26 20.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	9 19.1%	7 14.9%	10 21.3%	17 36.2%	12 25.5%	24 51.1%	18 38.3%	9 19.1%	19 40.4%
	自立支援医療	137 100.0%	28 20.4%	30 21.9%	21 15.3%	32 23.4%	35 25.5%	57 41.6%	25 18.2%	19 13.9%	37 27.0%
	いずれも持っていない	14 100.0%	2 14.3%	3 21.4%	4 28.6%	3 21.4%	0 0.0%	5 35.7%	3 21.4%	2 14.3%	3 21.4%
		合計	問37								
			経済的な援助の充実	障がい者への理解を深める啓発や広報の充実	ボランティアの育成や活動への支援	財産管理への援助	民間企業、NPO法人等の福祉活動への協力	災害時における障がい者への対応	特にない	無回答	
全体		621 100.0%	197 31.7%	91 14.7%	55 8.9%	50 8.1%	58 9.3%	195 31.4%	95 15.3%	60 9.7%	
性別	男性	311 100.0%	101 32.5%	42 13.5%	21 6.8%	22 7.1%	25 8.0%	93 29.9%	52 16.7%	28 9.0%	
	女性	307 100.0%	96 31.3%	48 15.6%	34 11.1%	28 9.1%	33 10.7%	101 32.9%	43 14.0%	30 9.8%	
年齢	18歳未満	25 100.0%	9 36.0%	7 28.0%	4 16.0%	3 12.0%	3 12.0%	11 44.0%	3 12.0%	1 4.0%	
	18～29歳	21 100.0%	7 33.3%	6 28.6%	4 19.0%	3 14.3%	1 4.8%	8 38.1%	5 23.8%	0 0.0%	
	30～49歳	74 100.0%	24 32.4%	25 33.8%	11 14.9%	10 13.5%	10 13.5%	25 33.8%	18 24.3%	2 2.7%	
	50～64歳	94 100.0%	48 51.1%	19 20.2%	12 12.8%	12 12.8%	14 14.9%	34 36.2%	11 11.7%	2 2.1%	
	65歳以上	403 100.0%	109 27.0%	33 8.2%	24 6.0%	22 5.5%	29 7.2%	116 28.8%	58 14.4%	53 13.2%	
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439 100.0%	134 30.5%	50 11.4%	33 7.5%	25 5.7%	33 7.5%	142 32.3%	56 12.8%	51 11.6%	
	療育手帳	126 100.0%	36 28.6%	31 24.6%	16 12.7%	15 11.9%	11 8.7%	36 28.6%	33 26.2%	4 3.2%	
	精神障害者保健福祉手帳	47 100.0%	22 46.8%	13 27.7%	7 14.9%	8 17.0%	8 17.0%	17 36.2%	5 10.6%	3 6.4%	
	自立支援医療	137 100.0%	52 38.0%	24 17.5%	16 11.7%	15 10.9%	16 11.7%	46 33.6%	24 17.5%	6 4.4%	
	いずれも持っていない	14 100.0%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	3 21.4%	3 21.4%	1 7.1%	